

HDDナビゲーション 「NHZN-W60G」

G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版



■この取扱書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」（i～vページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。

そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

	警告 記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。
	注意 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどの恐れがあります。
	アドバイス より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

安全上のご注意



警告

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因となります。



警告

- 本機の取り付け、取り外し、配線の変更はしないでください。
不適切な取り付けや配線の場合、故障や車両火災などの事故につながるおそれがあり危険です。本機の取り付け、取り外しは安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。



警告

- SDメモリーカードは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。
誤って飲み込むと、窒息するおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



警告

- 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。
安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。



注意

- **実際の交通規制を守ってください。**

本機の表示するデジタル地図は、道路の変更、通行止めなどは表示されません。

また、ルート案内で表示されるルートは推奨ルートであり、災害、工事などでも道路状況が変わります。実際の交通規制を必ず守って運転してください。



注意

- **走行中の操作は危険ですので、停車して安全を確認の上、操作してください。**

安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

なお、本機は安全のため、走行中一部の機能が使えなくなります。

走行中は一部の細街路を消去します。



注意

- **HDD（ハードディスク）更新用コネクタのカバーは、地図データの更新時以外は開けないでください。**

ゴミなどが入り故障の原因になります。



注意

- **モニター収納動作中、手などをはさまないように注意してください。**

手などをはさんでケガをしたり、ディスプレイの故障の原因になります。



注意

- **車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。**

車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因になります。



注意

- **画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。**

事故、火災、感電の原因になるおそれがあります。また、煙や異音がでたり、異臭がする場合には、すぐにオーディオ機能の電源をOFFにしてお買い上げの販売店にご相談ください。

注意

- 本機およびHDD（ハードディスクドライブ）を分解したり、調整することは、絶対にさけてください。

本機内部は、精密な構造になっているので、万一不具合が生じた場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。故障の原因になります。

注意

- バッテリーあがりにはご注意ください。

エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動することは避けてください。

バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

注意

- 車内温度は上げすぎたり、下げすぎたりしないでください。

夏期は車内の温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。

冬期は車内の温度が低くなることがありますので、車内の温度を上げてからお使いください。

そのまま使用すると故障の原因になります。

注意

- ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。

故障の原因になります。

注意

- ラジオアンテナにモーターアンテナをご使用のときはアンテナを折らないように注意してください。

本機ではFM多重放送の**VICS**情報を常時受信するため、オーディオの電源をOFFにしてもモーターアンテナは下がりません。モーターアンテナをご使用のときは、ナビゲーションの車両情報設定にてモーターアンテナ車に設定してください。

モーターアンテナ車に設定するとオーディオ機能の電源をOFFにしたときにアンテナが下がります。駐車場など天井の低い場所にはいる前は、必ず、オーディオ機能の電源をOFFにしてアンテナが収納されたことを確認してください。

アンテナを下げずに天井の低い場所にはいると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。



注意

●A/T車の場合

- ・ディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA/Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）
- ・チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

●M/T車の場合

- ・ディスクを取り出す際、1・3・5（R）ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。
- ・チルト位置を設定する際、1・3・5（R）ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。



アドバイス

●現在地の表示について

本機をお買い上げ後、初めてご使用になる時や、長時間バッテリーをはずしておいた場合などには、自車の現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置を修正します。

●結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部のレンズが結露して正常に作動しないことがあります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ正常に作動するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

●画面のムラについて

寒冷時にエンジンスイッチをONにしたあと、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。



アドバイス

●本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動などにより記録されたデータが消失する場合があります。ご購入後、お客様が本機に記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にバックアップをとるなどして保管してください。

●なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

- ①本機の故障、誤作動、または不具合などにより、あるいは本機が電氣的なノイズの影響などを受けたことにより、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータなどが変化・消失した場合。
- ②お客様または第三者が本機の使用を誤ったことにより、ハードディスクドライブ内の地図データや基本プログラム、お客様が本機に記録されたデータなどが変化・消失した場合。
- ③本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータなどが変化・消失した場合。

※なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

- 本書に掲載されている画面は実際の画面と異なる場合があります。また、製品の仕様などの変更により本書の内容と製品が一致しない場合がありますのでご了承ください。
- 取扱書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類によって異なる場合があります。
- 地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。
- 地図データの誤字・脱字・位置ずれなど表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

もくじ

1. はじめに	目的別早見表 1-1 主な特長 1-6 お使いになる前に 1-7 各部の名称とはたらき 1-9 スイッチの意味がわからないときには 1-11 ソフトウェアキーボード 1-12
2. ハンズフリー	お使いになる前に 2-1 ハンズフリーの準備をするには 2-10 電話をかけるには 2-18 電話を受けるには 2-27 通話中に操作するには 2-30 簡易画面で操作するには 2-34 ハンズフリーの設定をするには 2-35 電話帳の編集をするには 2-47 履歴を削除するには 2-61 セキュリティの設定をするには 2-62
3. G-BOOK機能	はじめに 3-1 各種手続きをするには 3-14 ヘルプネット 3-35 G-Security (G セキュリティ) 3-60 オペレーターサービス 3-71 G-BOOKとナビの連携機能 3-77 メインメニュー 3-98 G-BOOKの設定をするには 3-111 Myリクエスト 3-125 G-SOUND 3-131 CDタイトル情報を取得するには 3-144
4. Bluetoothオーディオ	Bluetoothオーディオの操作 4-1
5. 音声操作	音声操作システムについて 5-1 音声操作の使いかた 5-2 音声操作システムの操作例 5-5 音声入力コマンド一覧 5-9
6. ステアリングスイッチ	ステアリングスイッチ 6-1
7. 知っておいてください	こんなメッセージが表示されたとき 7-1 故障とお考えになる前に 7-5 G-BOOKサポートセンターのご案内 7-6 用語さくいん 7-7

1
はじめに

2
ハンズ
フリー

3
G-BOOK
機能

4
Blue
tooth
オーディオ

5
音声操作

6
ステア
リング
スイッチ

7
知って
おいて
ください

目的別早見表

ハンズフリーについて

本機に携帯電話を登録したい

本機に携帯電話を登録するには

→ 2-10ページ

本機と携帯電話をBluetooth接続したい

携帯電話を接続するには

→ 2-12ページ

電話番号を入力して電話をかけたい

ダイヤル発信するには

→ 2-20ページ

電話帳から電話をかけたい

電話帳発信するには

→ 2-21ページ

発信・着信履歴から電話をかけたい

履歴発信するには

→ 2-23ページ

少ない操作で電話をかけたい

ワンタッチ発信するには

→ 2-24ページ

電話をかけるには

→ 5-5ページ

ナビゲーション画面から電話をかけたい

ナビから発信するには

→ 2-25ページ

電話を受けたい

電話を受けるには

→ 2-27ページ

電話帳データを転送したい

携帯電話の電話帳データを転送するには

→ 2-48ページ

ワンタッチダイヤルを登録したい

ワンタッチダイヤルを登録するには

→ 2-58ページ

音声認識で電話番号を呼び出せるようにしたい

音声認識の設定をするには

→ 2-54ページ

電話帳の内容を削除したい

電話帳のデータを削除するには

→ 2-56ページ

発着信履歴を削除したい

履歴を削除するには

→ 2-61ページ

G-BOOK機能を利用する前に	G-BOOKオンラインサービスを利用したい	G-BOOKオンラインサービスについて	→ 3-1ページ
ヘルプネットについて	ヘルプネットの利用を開始したい	サービス開始操作をするには	→ 3-42ページ
	緊急時にヘルプネットを利用して通報したい	緊急通報をするには	→ 3-45ページ
	ヘルプネットの点検をしたい	保守点検をするには	→ 3-49ページ
	ヘルプネットの利用登録を解除したい	利用登録を解除するには	→ 3-54ページ
G-Securityについて	G-Securityを利用したい	G-Securityのご利用に際して	→ 3-60ページ
オペレーターサービスについて	オペレーターサービスを利用したい	オペレーターサービスを購入するには	→ 3-72ページ
ブラウザについて	ブラウザ画面の操作方法を知りたい	ブラウザ画面を操作するには	→ 3-99ページ
	閲覧履歴からコンテンツを表示したい	閲覧履歴からコンテンツを表示するには	→ 3-104ページ
	ブックマークを使いたい	ブックマークを使うには	→ 3-106ページ

通信の設定について

通信を
ロックしたい

通信ロック

→ 3-115ページ

G-BOOK利用登録・
契約を解除したい

利用登録・契約の
解除について

→ 3-32ページ

携帯電話の利用
方式を設定したい

通信設定をするには

→ 3-117ページ

通信を自動切断
させたい

自動通信の設定
をするには

→ 3-119ページ

自動読上げの
設定をしたい

ブラウザの自動読上げ
を設定するには

→ 3-102ページ

ソフトウェア キーボードの設定

単語を登録・
編集したい

単語の編集を
するには

→ 3-120ページ

定型文を
修正したい

定型文を修正
するには

→ 3-123ページ

入力履歴を
削除したい

入力履歴を
削除するには

→ 3-123ページ

予測変換候補の
表示を設定したい

予測変換候補を
表示するには

→ 3-124ページ

Myリクエストについて	Myリクエスト画面の操作方法を知りたい	Myリクエスト画面を操作するには	→ 3-125ページ
	コンテンツをリクエストリストに登録したい	Myリクエストの編集するには	→ 3-130ページ
	コンテンツをリクエストしたい	Myリクエストを使うには	→ 3-127ページ
	地図上のアイコンから情報を表示させたい	情報を見るには	→ 3-128ページ
G-SOUNDについて	楽曲を検索したい	希望の楽曲を検索するには	→ 3-136ページ
	楽曲を試聴したい	楽曲を試聴するには	→ 3-135ページ
	楽曲を購入したい	利用手続きをするには	→ 3-138ページ
	楽曲を削除したい	G-SOUND楽曲を削除するには	→ 3-139ページ
	楽曲をコピーしたい	パッケージをコピーするには	→ 3-142ページ

Bluetoothオーディオについて	ポータブルオーディオを登録したい	ポータブルオーディオを登録するには	→ 4-2ページ
	ポータブルオーディオを接続したい	ポータブルオーディオを接続するには	→ 4-3ページ
	Bluetoothオーディオを聞きたい	Bluetoothオーディオを聞くには	→ 4-7ページ
	聞きたい音楽ファイルを選びたい	聞きたい音楽ファイルを選ぶには	→ 4-7ページ
	聞きたいアルバムを選びたい	アルバムを切り替えるには	→ 4-8ページ
	使用するポータブルオーディオを切り替えたい	ポータブルオーディオを切り替えるには	→ 4-10ページ
	使用するポータブルオーディオの名称やパスキーを変更したい	機器名称およびパスキーを変更するには	→ 4-12ページ
	Bluetooth自動接続の設定をしたい	Bluetooth自動接続を設定するには	→ 4-14ページ
	登録してあるポータブルオーディオの情報を表示したい	詳細情報を表示するには	→ 4-15ページ
音声でG-BOOK機能を操作したい		音声操作の使いかた	→ 5-2ページ

主な特長

ナビゲーション連携機能

ナビゲーションとG-BOOK.comコンテンツを連携させることにより、リアルタイムな情報を提供し、ナビゲーションを更に有効に活用できる機能です。



ハンズフリー機能

Bluetooth携帯電話を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。



オペレーターサービス

電話で依頼するだけで、オペレーターがお客様に代わって、ナビゲーションの目的地の設定やレストラン／駐車場の検索などを行います。



Bluetoothオーディオ

Bluetoothを搭載したポータブルオーディオを接続すると、ポータブルオーディオに収録された音楽を再生することができます。



1
はじめに

主な
特長

お使いになる前に

●悪路走行時について

悪路走行中などで振動が激しい場合、HDD（ハードディスクドライブ）の地図データを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常に戻ります。

●精密機器のため取り扱いに注意

極端な高温や低温の中でのご使用は誤作動や故障の原因になりますので周囲の温度には注意してください。

また本機内部に金属物や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因になりますのでご注意ください。

●ディスクの取り扱いに注意

- ・ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなどの誤動作の原因になる場合があります。特にケースからの出し入れにご注意ください。
- ・ラベル面に紙などをはったり、キズをつけたりしないでください。
- ・ディスクは曲げないでください。

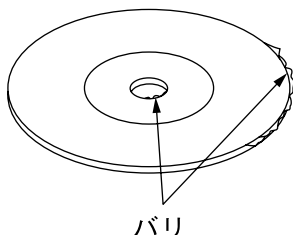
●ディスクの保管上の注意

- ・長時間使用しないときは、汚れ、ゴミ、キズ、そりなどを避けるため、ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- ・ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあるため、次のような場所に置くことは避けてください。
 1. 長時間直射日光のあたる場所。
 2. 湿気やゴミ、ほこりの多い場所。
 3. 暖房器具の熱が直接あたる場所。
 4. 車のシート、ダッシュボードの上。

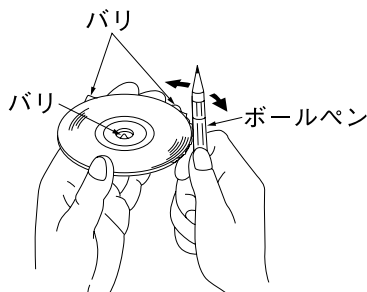
●新しいディスクの使用上の注意

新しいディスクには、ときによりディスクのセンターホールや外周にバリが残っていることがあります。このようなディスクをご使用になるとディスクが正しくセットされず、動作しないことがあります。

このような場合には、あらかじめディスクのセンターホール内側や、外周のバリを細い棒状のもの（例えばボールペンなど）で取り除いてからお使いください。



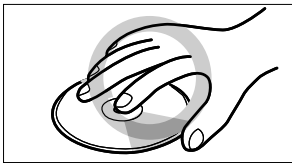
バリについて



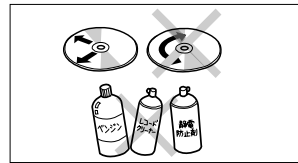
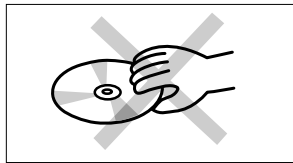
バリの取り除きかた

● ディスクのクリーニングについて

- ・ディスクに汚れやゴミがついたときは、水を含ませたやわらかい布でふいたあと、乾いた布でふいてください。
- ・ディスクをふきとる際には、ディスクの内側中心から外側方向へ軽くふきとってください。
- ・ベンジン、アナログ式レコード盤クリーナー、静電防止剤を使いますと、ディスクを傷めるので使用しないでください。



ディスクの持ち方



ディスクのクリーニング

● お手入れの仕方

<本機の清掃>

- ・ベンジン、シンナー類を使いますと、ケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

<ディスプレイ部の清掃>

- ・画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
- 手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

● HDD（ハードディスクドライブ）のデータについて

- ・本機は、CDの音楽や、画像などをHDD（ハードディスクドライブ）へ記録することができます。お車を転売・廃棄する際は、HDD（ハードディスクドライブ）に記録した個人情報、および第三者の著作物データなどは削除してください。

●本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。

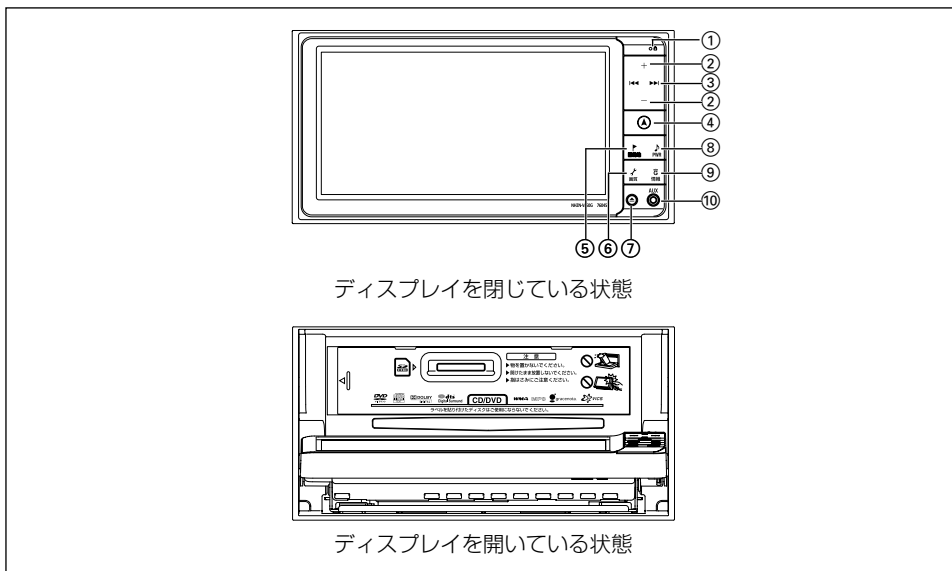
●本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタンを押したり、画面に表示されるタッチスイッチを直接タッチして操作します。

1
はじめに

各部の名称とはたらき



●操作ボタンについて

① インジケータランプ

セキュリティ機能を設定すると、お車を離れた際にランプが点滅して盗難を抑止します。

② VOLボタン

テレビ・オーディオ機能の音量を調整するときに押します。

③ TUNE・TRACKボタン

テレビ・ラジオの放送局の選局、楽曲の選曲やDVDのチャプターを選択するときに押します。

④ 現在地ボタン

ナビゲーションを呼び出し、現在地画面を表示するときに押します。現在地を表示しているときは、現在地の地名を表示します。

⑤ 目的地ボタン

目的地設定画面を呼び出すときに押します。

⑥ 設定・画質ボタン

設定・編集画面を呼び出すときに押します。または、画面の明るさを調整したり、画面モードの切り替えや画面を消すときに押し続けます。

⑦ OPEN (TILT) ボタン

ディスクの差し込みや取り出し、ディスプレイの角度を調整する画面を表示するときに押します。

⑧ AUDIO・PWRボタン

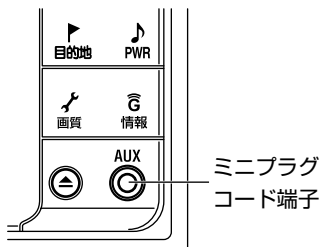
オーディオの操作画面を表示するときに押します。または、オーディオ機能の電源を入れるときや、切るときに押し続けます。

⑨ G・情報ボタン

情報機能、G-BOOK機能、BTナビ機能呼び出すときに押します。

⑩ ミニプラグコード端子

市販のミニプラグコードで、市販のポータブルオーディオなどを接続できます。



●タッチスイッチについて



タッチスイッチ

画面のスイッチにタッチして操作します



- ・タッチスイッチは“ピッ”という音が鳴るまでタッチしてください。
- ・画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- ・スイッチの反応がないときは、一度画面から手をはなしてから再度タッチしてください。
- ・操作できないタッチスイッチは色が反転します。
- ・スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが強調表示されるものもあります。
- ・1つ前の画面に戻すときは **戻る** にタッチします。

<本書でのスイッチ表示>

- ・タッチスイッチにタッチするときは、**○○○○** でスイッチ名称を表示しています。



アドバイス

液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けしないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

スイッチの意味がわからないときには

画面に表示されているスイッチの機能について、使い方や機能などのヒント（説明）を表示することができます。



- (1) **?** が表示されている画面で、**?** にタッチするとヒントモードになります。



アドバイス

画面によっては **?** が表示されないものもあります。



- ヒントが表示されるスイッチに▼マークが付きます。
- ▼マークが付いているスイッチのみヒントを表示することができます。



- (2) ヒントを表示したいスイッチにタッチします。
- タッチしたスイッチのヒントが表示されます。
 - ヒント表示中のスイッチは▼マークが強調表示されます。
 - ヒントが表示されるスイッチが反転している場合もヒントは表示されます。
- (3) ヒントの表示を解除する場合は、**?戻る** にタッチします。
- ヒントモードが解除され(1)の画面に戻ります。
 - **?戻る** はヒントモード中のみ表示されます。



アドバイス

- ヒントモード中に他の画面を表示した場合、ヒントモードは解除されます。
- ヒント表示中に走行を開始するとヒントは消去されます。

ソフトウェアキーボード

1 各スイッチの使い方

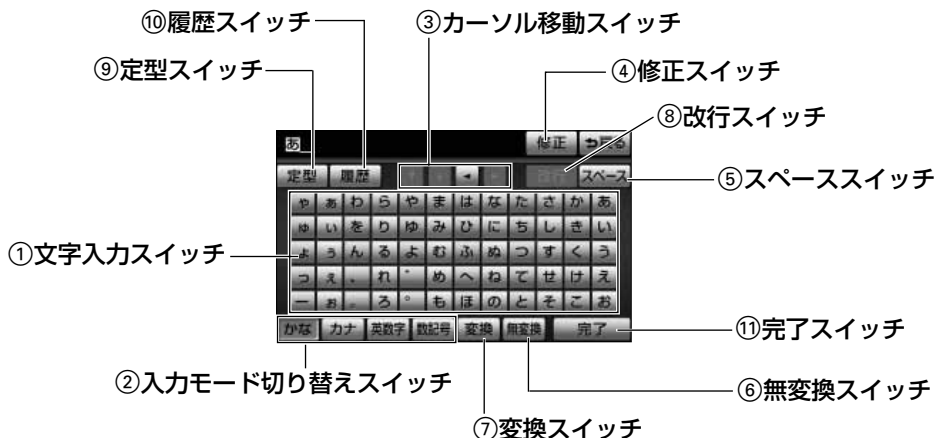
文字入力が必要なコンテンツでは、ソフトウェアキーボードが表示されます。ソフトウェアキーボードが表示される状況により、キーボード画面の意匠が異なったり、入力方法が限定されたりします。

各スイッチの動きは、以下のようになっています。

(特に説明のないスイッチは、各入力時とも共通です。)

なお、ナビゲーションで文字入力するときは、専用のソフトウェアキーボードを使用します。〔ナビゲーション取扱書 詳細版〕の「メモリ地点を登録・修正・消去するには」参照)

●かな・漢字入力時



●カタカナ入力時



●英字入力時



●数字・記号入力時



⑭ ページ切り替えスイッチ ⑮ 戻るスイッチ

●定型文入力時／履歴入力時



⑯ 定型文入力スイッチ／履歴入力スイッチ

① 文字入力スイッチ

各種文字を入力するときにタッチします。

② 入力モード切り替えスイッチ

文字の入力モードを切り替えるときにタッチします。

かな ひらがな、漢字を入力します。

カナ カタカナを入力します。

英数字 アルファベット、数字を入力します。

数記号 数字、記号を入力します。

③ カーソル移動スイッチ

カーソルを移動するときにタッチします。

タッチし続けると、連続してカーソルが移動できます。

未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動できます。

確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。

④ 修正スイッチ

カーソル位置の文字を消去するときにタッチします。

タッチし続けると、すべての文字が消去できます。

⑤ スペーススイッチ

カーソル位置に空白を入力するときにタッチします。

⑥ 無変換スイッチ

ひらがなで入力するときに、文字入力後にタッチします。

⑦ 変換スイッチ

漢字で入力するときに、文字入力後にタッチします。

⑧ 改行スイッチ

改行するときにタッチします。

⑨ 定型スイッチ

定型文を入力するときにタッチします。

⑩ 履歴スイッチ

前回までに入力した文字列の履歴から入力するときにタッチします。

⑪ 完了スイッチ

すべての文字の入力が終わったあとにタッチします。

タッチすると、ソフトウェアキーボードが表示される前の画面に戻り、入力した文字が入力されます。

⑫ 全角／半角入力切り替えスイッチ

入力する文字を、全角または半角に切り替えるときにタッチします。
タッチするたびに、全角入力と半角入力が切り替わります。

⑬ 大文字／小文字入力切り替えスイッチ

入力する文字を、大文字または小文字に切り替えるときにタッチします。
タッチするたびに、大文字入力と小文字入力が切り替わります。

⑭ ページ切り替えスイッチ

ページを切り替えるときにタッチします。

⑮ 戻るスイッチ

ソフトウェアキーボードで入力した文字を入力しないで、キーボードを終了するときにタッチします。

⑯ 定型文入力スイッチ／履歴入力スイッチ

各文字列を入力するときにタッチします。

●漢字変換のしかた

1
はじめに

ソフトウェア
キーボード



(1) かな入力状態で、文字を入力します。

(2) **変換** にタッチします。

(3) 漢字変換候補リストから、希望の候補を選択しタッチします。

全ての文字が変換されたままの状態であれば、**全確定** にタッチします。

●変換範囲が間違っていて選択されている場合は、**◀** または **▶** にタッチして変換範囲を変更すると、漢字変換候補リストが自動的に更新されます。

●漢字を1文字ずつ変換したいときは、P.1-16の「入力したい漢字に変換されないときは」を参照してください。

(4) 複数の文節を変換する場合は、文節が確定すると次の文節に変換範囲が移動します。

全ての文字の変換が終わるまで、(3)の操作を繰り返します。

■入力したい漢字に変換されないときは

漢字変換候補リストに入力したい漢字が表示されないときは、漢字を1つずつ変換してください。



- (1) P.1-15の「漢字変換のしかた」の(3)の画面で **単漢字** にタッチします。

●単漢字変換候補が表示されます。

- (2) 単漢字変換候補リストから、希望の候補を選択しタッチします。

全ての文字が変換されたままの状態であれば、**全確定** にタッチします。



●単漢字変換候補には、音読み、訓読みに対応した単漢字を表示します。

●単漢字変換候補リストが複数ページになる場合は、**▲** または **▼** にタッチしてページを切り替えます。

●単漢字変換範囲が間違っていて選択されている場合は、**◀** または **▶** にタッチして変換範囲を変更すると、単漢字変換候補リストが自動的に更新されます。

●予測変換をするには

G-BOOK 詳細設定の予測変換候補の表示で **する** を選択しているとき、予測変換をすることができます。文字を入力すると、未確定文字の後に続く文字を予測して、読みの先頭部分が一致する予測変換候補を画面左下に表示します。

(1) かな入力状態で、文字を1文字以上入力します。

(2) 表示された予測変換候補であれば、予測変換候補にタッチすると入力されます。

●希望の候補でないときは、▼にタッチすると次の候補が表示されます。



予測変換候補



アドバイス

- 予測変換候補は最大5候補まで表示されます。
- 予測変換候補の表示／非表示を切り替えることができます。
P.3-124の「**予測変換候補を表示するには**」を参照してください。

メモ

1
はじめに

メモ

お使いになる前に

1 ハンズフリーについて

動作確認済のBluetooth携帯電話※（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。また、G-BOOK mX Proモデルの場合、オプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約することで、携帯電話がなくても、通信モジュールを使用してハンズフリー機能が利用できます。

本機に接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店または <http://toyota.jp> でご確認ください。

■対応Bluetooth 仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1 以上（Ver.2.0+EDR以上を推奨）

■対応Profile

- HFP（Hands Free Profile）Ver.1.0 以上
- OPP（Object Push Profile）Ver.1.1
- DUN（Dial-up Networking Profile）Ver.1.1



BluetoothはBluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

BluetoothワードマークとロゴはBluetooth SIG所有であり、ライセンス取得者「パナソニック株式会社」のマーク使用は、許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。
搭載のハンズフリー機器は、技術基準適合認証を受けています。



警告

- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、安全のため、運転者は走行中に電話機の接続や、携帯電話本体のご使用はさけてください。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。



注意

携帯電話は車室内に放置しないでください。（炎天下など、車室内が高温となる場合があります。）

2
ハンズ
フリー

お
使
い
に
な
る
前
に

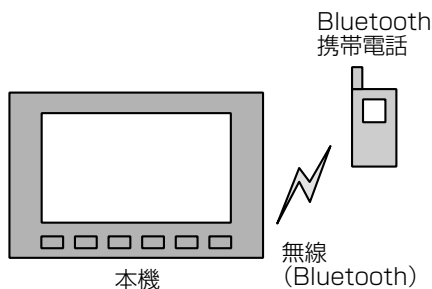
●Bluetooth携帯電話について

Bluetooth携帯電話は、他の機器との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

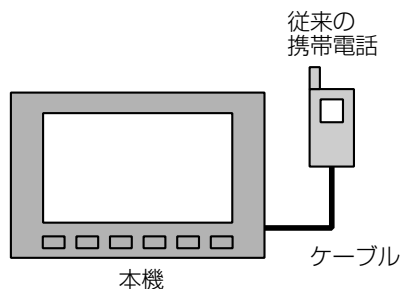
従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。

例えば、胸ポケットに携帯電話を入れたままでも、そのままの状態ハンズフリーがご利用いただけます。

●Bluetooth接続の携帯電話



●有線（ケーブル）接続の携帯電話



※本機では、有線（ケーブル）接続の携帯電話はご利用になれません。



注意

Bluetooth携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。



アドバイス

- Bluetooth携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth携帯電話は、Bluetooth接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

2 ハンズ フリー

お
使
い
に
な
る
前
に

●ハンズフリーが使用できないとき

次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

- ・通話エリア外るとき
- ・回線が混雑しているなど、発信規制中るとき
- ・緊急通報中るとき

また、ハンズフリーを携帯電話で使用するときは、次の場合もハンズフリーを使用することができません。

- ・携帯電話から電話帳データを転送中るとき
- ・携帯電話がダイヤルロックされているとき
- ・データ通信中など、携帯電話が使用中るとき
- ・携帯電話が故障しているとき
- ・携帯電話が本機に接続されていないとき
- ・携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- ・携帯電話の電源がOFFのとき
- ・携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
- ・本機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき
- ・その他、携帯電話自体が使えないとき



アドバイス

- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFF にしてください。(設定については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。)
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- 接続する携帯電話によっては、動作や音量が異なることがあります。
- 通話中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、割込通話（キャッチホン）や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除してからお使いください。
- ヘルプネットをご利用の場合は、次のような制限があります。
 - ・ヘルプネット動作中はハンズフリーを使用できません。
 - また、ヘルプネットを携帯電話でご利用の場合、ヘルプネット動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
 - ・着信中、応答保留中または通話中画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了されて、ハンズフリー画面が解除されます。

2
ハンズ
フリー

お
使
い
に
な
る
前
に

●マイクについて

- ・通話時に、音声認識用マイクを使用します。(P.5-1 参照)

●ハンズフリー操作について

- ・本機の画面に表示されるタッチスイッチを操作することにより、ハンズフリーのさまざまな機能が利用できます。
- また、音声入力ボタン (P.5-1 参照) を使用すると音声操作で電話をかけることができ、ステアリングスイッチ装着車ではステアリング部のスイッチを操作して (P.6-1 参照)、電話を受ける、切る、音量を調整するなどハンズフリーの基本的な機能が使用できます。

●音声について

- ・発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。
- ・着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。ただし、状況によっては、片側または他のスピーカーから出力されることがあります。
- ・ハンズフリーで音声や呼出音などが出力されると、オーディオ音声やナビ案内音声などはミュート（消音）されます。



アドバイス

- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。（故障ではありません。）
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。通話相手側にエコーが聞こえることがあります。また、音声は大きくはっきりとお話してください。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなる場合があります。
 - ・悪路走行時
 - ・高速走行時
 - ・窓を開けているとき
 - ・エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - ・エアコンのファンの音が大きいとき
 - ・携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他のBluetooth対応機器（ポータブルオーディオ）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

●掲載画面について

本書で使用している画面は、特に注記のない限り、携帯電話使用時の画面を使用しています。

2 お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「個人情報を初期化するには」参照）

なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどすことはできません。
間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

- 電話帳データ
- 発信履歴および着信履歴
- ワンタッチダイヤル
- Bluetooth電話機の登録情報
- ロックNo.
- ハンズフリー関連の設定・編集項目

3 Bluetooth機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します。）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。

変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。

想定干渉距離は10m以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。



アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

4 各種表示について

●受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、携帯電話を使用する場合、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

●「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にあります。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。

●ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点にも注意してください。

- ・受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
- ・Bluetooth携帯電話未接続時は、「未接続」を表示します。

受信レベル表示



携帯電話使用時

表示	圏外    
レベル	圏外 弱  強

通信モジュール（P.2-1 参照）使用時

表示	圏外    
レベル	圏外 弱  強

●電池残量表示※

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、携帯電話を使用する場合、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

●電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。

●本機には携帯電話の充電機能はありません。

※携帯電話使用時

電池残量表示



表示	   
残量	無 少 ← → 多

●Bluetooth接続状態表示※

携帯電話のBluetooth接続状態を表示します。

※携帯電話使用時

Bluetooth接続状態表示



●青色表示



Bluetooth接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。

●黄色表示



この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、携帯電話を移動してご使用ください。

●灰色表示



本機と携帯電話が接続されていないか、接続範囲外に離れています。本機と携帯電話を接続するか、表示が消える距離まで本機と携帯電話を近づけてください。



アドバイス

- Bluetooth通信用の車両側アンテナがディスプレイ内に内蔵されています。

次のような場所や状態でBluetooth携帯電話を使用すると、Bluetooth接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth接続ができないことがあります。

- ・携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
(携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)
- ・携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

Bluetooth携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。

- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的にBluetooth接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

ハンズフリーの準備をするには

ハンズフリーを使用する前に、まず使用する通信機器の設定をします。

本機は携帯電話を接続して使用しますが、G-BOOK mX Proモデルで自動車専用ハンズフリー電話をオプション契約した場合は、通信モジュール（P.2-1参照）を使用してハンズフリー機能が利用できます。

- 携帯電話を使用するとき（下記参照）
- 通信モジュールを使用するとき（P.2-16参照）

1 本機に携帯電話を登録するには

携帯電話は、本機に最大5台まで登録することができます。

携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

携帯電話をBluetoothオーディオとして使用するには、別途登録が必要です。（P.4-2参照）

- (1)  を押します。



- (2) **電話** にタッチします。



- (3) **Bluetooth設定** にタッチします。



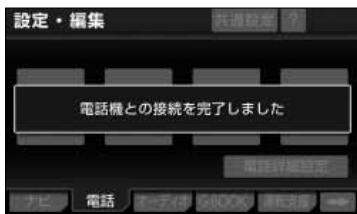
- (4) Bluetooth設定画面で、Bluetooth電話設定の **登録** にタッチします。

- 複数の携帯電話を登録する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。



(5) Bluetooth接続画面が表示されたら、携帯電話からBluetooth登録します。

- 携帯電話側の登録操作は、必ずこのBluetooth接続中画面を表示させて行ってください。
- 中止したいときは、**中止** にタッチします。



(6) 携帯電話本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、パスキーを入力します。

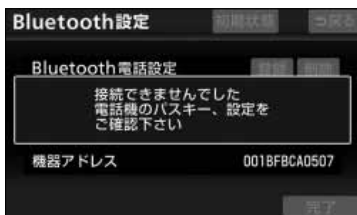
(7) 接続完了のメッセージが表示されます。

- 複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。

■G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で利用するとき

携帯電話の登録後、ご利用の携帯電話に合わせて、使用する携帯電話の設定を行ってください。(P.3-118参照)

■接続失敗画面が表示されたとき



「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



アドバイス

- パスキーとは、Bluetooth携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(P.2-42参照)
- 携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- HFPに対応していない携帯電話は、本機に登録ができません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPPのみのサービスは利用できません。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- Bluetoothオーディオ再生中に携帯電話を登録する場合、Bluetoothオーディオの音声が入切れることがあります。
- 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機の登録が完了しない場合があります。その場合、携帯電話側からBluetoothの接続を行ってください。

2 携帯電話を接続するには

Bluetooth携帯電話の本機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。
なお、携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。



アドバイス

- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACCまたはONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。(設定については、携帯電話の取扱書をご覧ください。)
- ハンズフリーを使用する場合、他のBluetooth対応機器（ポータブルオーディオ）を使用しているときは、次のようになります。
 - ・携帯電話のBluetooth接続が切断されることがあります。
 - ・ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
 - ・ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。
- Bluetoothオーディオ再生中に接続動作を行った場合、音声が入切れることがあります。
- Bluetoothオーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中にBluetoothオーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。(P.2-15参照)

■携帯電話を自動で接続するには

電話詳細設定で自動電話機接続を **する** に設定した場合、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにするたびに、本機は選択されている携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

- (1)  を押します。
- (2) **電話** にタッチします。
- (3) **電話詳細設定** にタッチします。



- (4) 自動電話機接続の **する**、または **しない** にタッチします。
 - 通常は **する** を選択した状態で使用してください。
 - 携帯電話はBluetooth接続可能な状態にしておいてください。
- (5) **完了** にタッチします。

●Bluetooth接続確認案内

電話詳細設定画面のACC ON時のBluetooth接続確認案内（P.2-46参照）で **する** を選択しているときは、Bluetooth接続されると、接続完了の案内が画面上部に表示されます。

ハンズフリーを携帯電話で使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth接続確認案内



Bluetooth接続されたかどうかは、Bluetooth接続状態表示でも確認できます。（P.2-9参照）



アドバイス

接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにした後、初めて携帯電話とBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。

接続失敗の表示がされてもその後接続できれば、接続完了の表示が1回のみ表示されます。

（ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。）

●自動接続できなかった場合

自動接続は約60秒行います。自動接続を開始して約15秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示され、同内容の音声案内が流れます。60秒以内に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行って下さい。

■携帯電話を手動で接続・切断するには

自動接続に失敗したときや自動電話機接続を **OFF** に設定しているときに、手動でBluetooth接続することができます。また、Bluetooth接続中に、手動で切断することができます。

- (1)  を押します。
 - **G-BOOK** または **BTナビ** が選択されているときは **情報** にタッチします。
- (2) **電話** にタッチします。
- (3) ダイヤル画面で **ハンズフリー** にタッチします。
 - タッチすることにより接続・切断を繰り返します。
 - 接続中は作動表示灯が点灯します。

作動表示灯



ダイヤル画面

作動表示灯



ワンタッチダイヤル画面



アドバイス

- 携帯電話を手動で接続するときは、Bluetooth接続可能な状態にしてください。
- 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

3 Bluetooth 接続の再接続について

エンジンスイッチがACCまたはONのときに、一度接続が成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。この場合、接続完了しても表示はありません。



アドバイス

再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手で接続操作を行ってください。
(P.2-15参照)

●Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

手でBluetooth接続を切断したときや携帯電話側からBluetooth接続をOFFにしたときなど、一度接続が成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

- ・ 手で接続する (P.2-15参照)
- ・ 改めて携帯電話を選択する (P.2-37参照)

4 通信モジュールを選択するには

G-BOOK mX Proモデルで自動車専用ハンズフリー電話をオプション契約した場合は、通信モジュール (P.2-1 参照) を使用してハンズフリー機能を利用することができます。通信モジュールでのハンズフリーと携帯電話のハンズフリー両方をご利用の場合、電話機選択で選択された機器が接続されます。

- (1)  を押します。
- (2) **電話** にタッチします。



(3) **電話機選択** にタッチします。



(4) 電話機選択画面で **通信モジュール** にタッチします。

(5) **完了** にタッチします。

- 携帯電話をBluetooth接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

電話をかけるには

本機では様々な方法で電話番号を呼び出し、電話をかけることができます。

1 ダイヤル画面を表示するには



ダイヤル画面

(1)  を押します。

- **G-BOOK** または **BTナビ** が選択されているときは **情報** にタッチします。

(2) **電話** にタッチします。

- ダイヤル画面が表示されます。
走行中に操作した場合は、ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

■ダイヤル発信 (P.2-20参照)

電話番号を入力して電話をかけます。

■電話帳発信 (P.2-21参照)

本機の電話帳から電話をかけます。

■履歴発信 (P.2-23参照)

発信履歴または着信履歴から電話をかけます。

■ワンタッチ発信 (P.2-24参照)

ワンタッチダイヤルから電話をかけます。

その他、次の方法で電話をかけることもできます。

■音声認識発信 (P.5-5参照)

音声認識で電話をかけます。

■ナビからの発信 (P.2-25参照)

ナビまたはG-BOOKのデータから電話をかけます。

■携帯電話本体からの発信 (P.2-26参照)

携帯電話本体から電話をかけます。



アドバイス

- ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
 - ・Bluetooth携帯電話は、本機に携帯電話を登録してBluetooth接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(P.2-10 参照)
 - ・携帯電話はBluetooth機能を使用できる状態にしてご使用ください。
携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。
 - ・Bluetooth接続状態表示が灰色の場合は、ハンズフリーはご使用になれません。
- ハンズフリー**の作動表示灯が点灯していない場合は、ハンズフリーはご使用になれません。
- 走行中は安全のため画面に電話番号などが表示されず、一部の操作ができなくなります。
ただし、電話帳に登録されている電話番号のときは、電話帳に登録されている名称が表示されます。
- 電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。
- ハンズフリーで使用する携帯電話でデータ通信中に電話をかけようとした場合は、メッセージが表示されます。データ通信を終了しても良い場合は、**はい**にタッチしてください。データ通信を終了したくない場合は、**いいえ**にタッチし、データ通信が終了してから、再度電話をかけてください。

2 ダイアル発信するには

電話番号を入力して電話をかけることができます。

ダイアル画面を表示しているときに走行を開始すると、10キーが灰色になり、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。



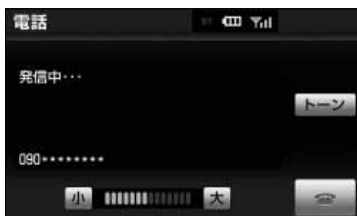
(1) ダイアル画面（P.2-18参照）で、1桁ずつタッチして電話番号を入力します。

- **修正** にタッチすると、最後の1桁が消去できます。
タッチし続けると、最後から1桁ずつ順に消去できます。

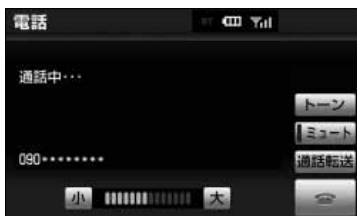
(2)  にタッチします。

(3) 発信できると、発信中画面が表示されます。

- 発信音が鳴った後、呼出音が鳴ります。



(4) 相手が電話に出ると、通話中画面が表示されます。この画面で通話ができます。



アドバイス

- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
 - ・ 発信音や呼出音が鳴らず、無音になることがあります。
 - ・ 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
 - ・ 通信事業者のサービスにより発信中画面で10キー入力する必要がある場合、10キー入力をしていてもトーン信号を送れないことがあります。10キー入力については、P.2-31の「10キー入力するには」を参照してください。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、Bluetoothオーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

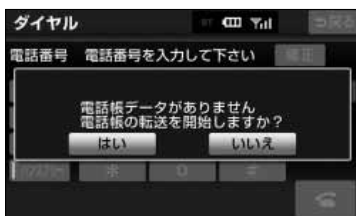
3 電話帳発信するには

あらかじめ電話番号を本機の電話帳に登録しておくことにより（P.2-47参照）、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。



(1) ダイヤル画面（P.2-18参照）で **電話帳** にタッチします。

- 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、電話帳編集画面（P.2-47参照）が表示されます。



音声認識マーク

ショートカットスイッチ

(2) 必要に応じて、**電話帳選択** にタッチして、電話帳を切り替えます。

- ショートカットスイッチは、**その他** にタッチすると英数字ショートカット、**50音** にタッチすると50音ショートカットに切り替わります。
- 英数字ショートカットを表示しているときは、任意のアルファベットが選択できます。

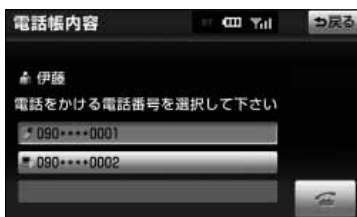
(例) **ABC** に2回タッチすると、Bで始まるデータのリストが先頭に表示されます。

0-9 に2回タッチすると、1で始まるデータのリストが先頭に表示されます。



アドバイス

音声認識の設定をしてあるデータは、名称の前に音声認識マークが表示されます。



- (3) 希望の通話相手にタッチします。
- (4) 電話番号が2件以上登録してあるときは、希望の電話番号を選択しタッチします。
- (5)  にタッチします。

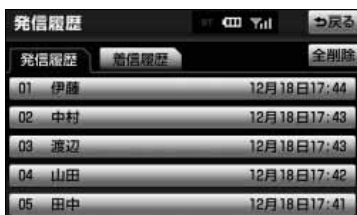
4 履歴発信するには

過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大5件記憶しています。それぞれの履歴は5件以上になると、古い履歴から自動で削除されます。履歴に登録されている電話番号を呼び出して電話をかけることができます。



- (1) ダイヤル画面 (P.2-18参照) で **履歴** にタッチします。

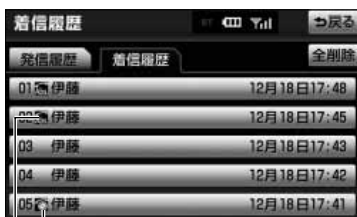
発信履歴画面



- (2) 必要に応じて、**発信履歴** または **着信履歴** にタッチして、履歴の表示を切り替えます。

- (3) 希望の通話相手にタッチします。

着信履歴画面



着信拒否アイコン

不在着信アイコン



- (4)  にタッチします。



アドバイス

- 着信履歴画面では、不在着信および着信拒否の電話番号の場合、それぞれアイコンが表示されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - ・本機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されます。
 - ・同一電話番号から発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - ・本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されます。
 - ・不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
 - ・相手先電話番号の情報がない場合は、着信履歴に「通知不可」と表示されます。
- 携帯電話から位置情報を転送して表示した地図（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「携帯電話で地図を表示するには」参照）で、**情報** にタッチして発信した場合、発信履歴に登録されなかったり、違う名称で登録されたりすることがあります。
- 履歴を削除したいときは、P.2-61の「履歴を削除するには」を参照してください。

2
ハンズ
フリー

電話を
かける
には

5 ワンタッチ発信するには

電話帳に登録してある任意の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくことにより（P.2-58参照）、簡単な操作で電話をかけることができます。
また、ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。



- (1) ダイヤル画面（P.2-18参照）で、
ワンタッチダイヤル にタッチします。



- (2) 希望の電話番号にタッチすると、発信されます。
- ページを切り替えるときは、**ワンタッチ1**、**ワンタッチ2**、**ワンタッチ3** のいずれかにタッチします。

■走行中に電話をかけるとき

走行中にダイヤル画面を呼び出すと、ワンタッチダイヤル画面になり、ワンタッチで発信することができます。



アドバイス

走行中にワンタッチ発信する場合、タッチスイッチに電話番号は表示されません。

2
ハンズ
フリー

電話を
かける
には

6 ナビから発信するには

ナビ画面で  または **電話をかける** が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。



- (1)  または **電話をかける** が表示されている画面を表示します。
- (2)  または **電話をかける** にタッチします。

■ダイヤル画面の **交通・ナビ** から発信するには



- (1) ダイヤル画面（P.2-18参照）で **交通・ナビ** にタッチすると、ナビの交通・ナビ関連画面が表示され、電話をかけることができます。「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「電話帳を見るには」を参照してください。

7 携帯電話本体から発信するには※

本機にBluetooth接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

※携帯電話使用時

●ハンズフリー画面を表示するには

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth接続中であれば、次のいずれかの操作をする
と、ハンズフリー画面が表示されます。

通話中、次のいずれかの方法で調整します。

- ・情報・G・BTナビ画面（情報）（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「情報画面につ
いて」参照）で **電話** にタッチする。
- ・ステアリングスイッチ（P.6-1 参照）装着車の場合は、「オフフック」スイッチを押す。
この場合、**通話転送** 以外のタッチスイッチが灰色になり、操作できません。タッチス
イッチを使用したいときは、通話転送の操作をしてください。（P.2-32参照）



警告

安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。



アドバイス

- 携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
 - ・携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
 - ・単独で通話中の携帯電話が本機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。
- 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

8 発信を中断するには

発信中画面で **電話** にタッチすると、発信を中断できます。

- 携帯電話本体で電話を切った場合も、発信を中断します。
- 発信が中断されると、ハンズフリー画面が解除されます。

電話を受けるには

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易画面表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。(P.2-34参照)

1 電話を受けるには



- (1) 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知します。
- (2)  にタッチします。
 - 通話中画面が表示されます。
 - 通話終了後は、ハンズフリー画面が解除されます。



アドバイス

- 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。

携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

 - ・ ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
 - ・ 携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
 - ・ 着信音については、
 - ① 車両のスピーカーから聞こえる
 - ② 携帯電話から聞こえる
 - ③ 両方から聞こえる
 など、機種によって異なります。また、携帯電話の着信音が鳴らないときは、本機に登録されている着信音が鳴ることがあります。
 - ・ 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
 - ・ 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
 - ・ 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
 - ・ 電話詳細設定画面で自動着信応答を **する** に設定しておく、自動で電話を受けることができます。(P.2-46参照)
 - ・ Bluetoothオーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

2 着信中画面で操作するには

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

■電話を保留するには（応答保留）

(1) 着信中、 にタッチします。

- 応答が保留されます。
- 応答保留中、**小** または **大** にタッチすると音量を調整できます。
- 応答保留中、 にタッチすると、電話を切つて、ハンズフリー画面が解除されます。

(2)  にタッチします。

- 応答保留が解除され、通話できるようになります。



アドバイス

ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。

- ・携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- ・携帯電話の機種によっては、本機の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- ・Bluetooth接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

●通話を転送するには※

Bluetooth携帯電話では、応答保留中でも **通話転送** にタッチすると、通話を転送することができます。(P.2-32参照)

※携帯電話使用時

■着信音量を調整するには

着信中、次のいずれかの方法で調整します。

- 着信中画面で、**小** または **大** にタッチする。
- ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。
(ステアリングスイッチ装着車の場合)



アドバイス

ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

■着信拒否するには

- (1) 着信中画面で、**拒否** にタッチし続けると、着信拒否します。

- 携帯電話使用時は、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。
着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されません。



通話中に操作するには

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易画面表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。(P.2-34参照)

1 通話中画面で操作するには



通話中画面

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- | | |
|-----------|--------|
| ●受話音量の調整 | 下記参照 |
| ●通話の終了 | P.2-31 |
| ●10キー入力 | P.2-31 |
| ●送話音のミュート | P.2-32 |
| ●通話の転送 | P.2-32 |



アドバイス

ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。

携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

- ・単独で通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままでは通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
- ・ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にする、またはエンジンをかけると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチがACCまたはONであれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(P.2-32参照)

■受話音量を調整するには

通話中、次のいずれかの方法で調整します。

- 通話中画面で、**小** または **大** にタッチします。
- ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。
(ステアリングスイッチ装着車の場合)



■通話を終了するには



- (1) 通話中画面で  にタッチすると、通話を終了します。

- 携帯電話使用時は、携帯電話本体で電話を切った場合も、通話は終了します。通話が終了すると、ハンズフリー画面が解除されます。

■10キー入力するには



トーン入力画面

- (1) 通話中画面で、**トーン** にタッチします。
- (2) 数字を1番号ずつタッチして入力します。
- (3)  にタッチすると、通話を終了します。



アドバイス

走行中は、10キーが反転し、操作できません。

■送話音をミュート（消音）するには

お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。（この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。）

（1）通話中画面で **ミュート** にタッチします。

- ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- ミュートを解除したいときは、再度 **ミュート** にタッチします。



作動表示灯

■通話を転送するには※

Bluetooth携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。

ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

※携帯電話使用時

●画面で操作するには

通話中画面または応答保留中画面で、**通話転送** にタッチします。

- ・ 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

●携帯電話本体で操作するには

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- ・携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、タッチスイッチおよびステアリングスイッチ※(P.6-1 参照)での操作ができます。
- ・携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

※ステアリングスイッチ装着車のみ



アドバイス

画面で通話転送の操作をした場合、転送に失敗して音声聞こえなくなることがあります。

簡易画面で操作するには

1 簡易画面で操作するには

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。画面に電話番号および名称は表示されませんが、通常通り操作することができます。電話が切れる、または電話を切ると、表示は解除されます。



電話詳細設定の着信割り込み表示（P.2-45参照）で「簡易」を選択しているときに表示されます。

2
ハンズ
フリー

簡易画面で操作するには

ハンズフリーの設定をするには

ここでは、ハンズフリーの各種設定方法について説明しています。
お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

1 設定・編集画面（電話）を表示するには

(1)  を押します。

(2) **電話** にタッチします。

● 設定・編集画面（電話）が表示されます。



設定・編集画面（電話）

タッチスイッチ	機能	ページ
音量設定	ハンズフリーの各音量の設定	2-36
電話機選択	使用する携帯電話または通信モジュールの選択	2-37
	電話機詳細情報の表示・変更	2-39
電話帳編集	電話帳の転送・登録・編集・削除	2-47
	ワンタッチダイヤルの登録・削除	2-58、2-59
Bluetooth設定	使用する携帯電話の登録	2-10
	携帯電話の登録削除	2-43
	Bluetooth設定の変更	2-42
電話詳細設定	セキュリティの設定	2-62
	自動着信応答の設定	2-46
	ACC ON時のBluetooth接続確認案内の設定	2-46
	着信割り込み表示の設定	2-45
	自動電話機接続の設定	2-12

2 音量を設定するには



- (1) 設定・編集画面（電話）（P.2-35参照）で
音量設定 にタッチします。

- (2) 音量設定画面で各設定をします。

● 音量調整

下記参照

● 高速時の自動音量切替

下記参照

- (3) 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

■音量を設定するには

- (1) 音量設定画面で、各音量の**小**、または**大**にタッチして調整します。

受話音量：通話相手の音声の音量が調整できます。

着信音量：着信音の音量が調整できます。

■高速走行時の自動音量切替を設定するには

- (1) 音量設定画面で、**高速時の自動音量切替** にタッチするたびに、ON（自動で上がる）とOFF（上がらない）が切り替わります。

● ONにしたときは、作動表示灯が点灯します。



作動表示灯

2
ハンズ
フリー

ハンズフリーの設定をするには



アドバイス

- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 着信音音量は、着信中画面でも調整できます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。
- 高速時の自動音量切替をONにすると、車速が約80km/h以上になると、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。(車速が約70km/h以下になると、もとの音量に復帰します。)
- **初期状態** にタッチすると、音量設定の項目が初期設定の状態にもどります。

3 使用する通信機器を選択するには

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。複数の携帯電話を使用するときや通信モジュール(P.2-1参照)を使用するときは、必要に応じて携帯電話を選択する必要があります。

携帯電話は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で利用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。



(1) 設定・編集画面(電話)(P.2-35参照)で

電話機選択 にタッチします。

(2) 携帯電話を使用するときは、携帯電話をBluetooth接続可能状態にしておきます。

Bluetoothマーク

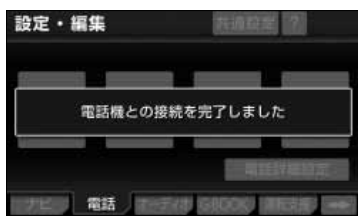


(3) 使用する携帯電話または通信モジュールを選択しタッチします。



(4) **完了** にタッチします。

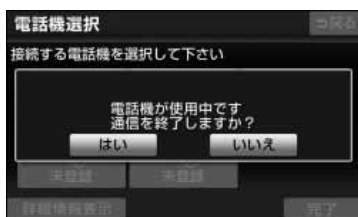
- 通信モジュールを選択した場合は、これで使用できます。
- 他の携帯電話がBluetooth接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**はい** にタッチします。



(5) 接続完了のメッセージが表示されます。

■G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で利用するとき

携帯電話の利用方式が変更になる場合は、携帯電話の選択後、使用する携帯電話の設定を行ってください。(P.3-118参照)



■データ通信中のとき

データ通信中に電話機選択をすると、メッセージが表示されます。通信を終了するときは **はい**、終了しないときは **いいえ** にタッチします。

- **いいえ** にタッチした場合は、データ通信終了後、再度 (3) からやり直します。



アドバイス

- Bluetooth接続中の携帯電話は、(3) の画面でBluetoothマークが表示されます。
- 携帯電話の登録については、P.2-10の「**本機に携帯電話を登録するには**」を参照してください。
- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、電話機選択はできません。
- Bluetoothオーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が続切れることがあります。

4 電話機詳細情報を表示するには

電話機詳細情報は、本機に登録されている携帯電話または通信モジュール（P.2-1 参照）に関する情報の表示と設定をすることができます。

情報は、次の項目が表示されます。

- 機器名称 : 本機に表示される携帯電話または通信モジュールの名称です。携帯電話の場合は、任意の名称に変更することができます。
- 機器アドレス : 機器固有のアドレスで、変更することはできません。通信モジュールの場合は、表示されません。
- 自局電話番号 : 携帯電話または通信モジュールの電話番号です。



- (1) 電話機選択画面（P.2-37参照）で、詳細情報を表示したい携帯電話または通信モジュールを選択しタッチします。

- (2) **詳細情報表示** にタッチします。



- (3) 電話機詳細情報画面で各設定をします。

- 機器名称の変更（携帯電話使用時） P.2-40
- 自動着信拒否の設定（通信モジュール使用時） P.2-41



- (4) 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

■機器名称を変更するには※

本機に表示される携帯電話の名称を、任意の名称に変更することができます。全角で最大10文字、半角で最大20文字まで入力できます。

なお、本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

※携帯電話使用時



(1) 電話機詳細情報画面で **変更** にタッチします。



(2) 機器名称をソフトウェアキーボード（P.1-12参照）で入力します。

■自動で着信拒否するには

電話機選択で通信モジュール（P.2-1参照）を選択している場合は、自動着信拒否の設定をすることができます。自動着信拒否を**する**に設定すると、通信モジュールの電話番号に電話がかかってきたとき、自動で着信拒否します。ただし、ヘルプネットの呼び返し待機状態の間のみ、一時的に自動着信拒否を解除します。

ハンズフリーを通信モジュールで使用しているとき、電話に出たくない場合に使用します。

(1) 電話機選択画面（P.2-37参照）で **通信モジュール** にタッチします。

(2) **詳細情報表示** にタッチします。

● 電話機詳細情報画面が表示されます。

(3) 自動着信拒否の **する** にタッチします。

● 解除するときは **しない** にタッチします。



(4) **完了** にタッチします。

5 Bluetooth設定を変更するには

Bluetooth設定は、本機に関するBluetooth設定情報の表示と設定の変更をすることができます。情報は、次の項目が表示されます。

- 機器名称 : Bluetoothネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。
- パスキー : 携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4～8桁の任意の数字に変更することができます。
- 機器アドレス : 本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称やパスキーを他のBluetooth機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。



- (1) 設定・編集画面（電話）(P.2-35参照) で **Bluetooth設定** にタッチします。



- (2) Bluetooth設定画面が表示されます。機器名称やパスキーを変更する場合は、この画面でそれぞれの **変更** にタッチします。



- (3) 機器名称はソフトウェアキーボード (P.1-12参照) で入力します。

- 半角で最大20文字まで入力できます。
- 文字を修正するときは、**修正** にタッチします。



(4) パスキーはパスキー変更画面で入力します。4～8桁の範囲で任意の数字を入力し、**完了** にタッチします。

- 数字を修正するときは、**修正** にタッチします。



(5) 設定が終わったら、**完了** にタッチします。



アドバイス

- **初期状態** にタッチすると、Bluetooth設定の項目が初期設定の状態にもどります。
- 機器名称を変更した場合、Bluetoothオーディオ設定の機器名称 (P.4-12参照) も同時に変更されます。
パスキーについては、それぞれ別の数字を設定することができます。

6 Bluetooth電話機の登録を削除するには

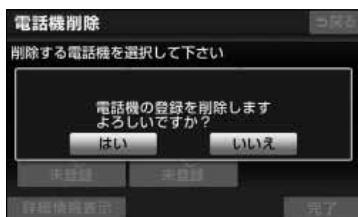


(1) Bluetooth設定画面 (P.2-42参照) で、Bluetooth電話設定の **削除** にタッチします。

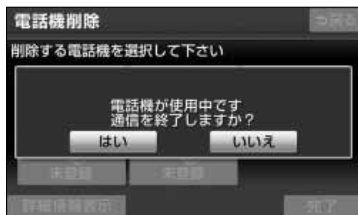


(2) 削除する携帯電話を選択しタッチします。

(3) **完了** にタッチします。



(4) **はい** にタッチします。



■データ通信中のとき

データ通信中に携帯電話の登録を削除すると、メッセージが表示されます。通信を終了するときは **はい**、終了しないときは **いいえ** にタッチします。

● **いいえ** にタッチした場合は、データ通信終了後、再度 (2) からやり直します。



アドバイス

緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

7 電話詳細設定をするには



(1) 設定・編集画面（電話）(P.2-35参照) で **電話詳細設定** にタッチします。



(2) 電話詳細設定画面で各設定をします。

- セキュリティの設定 P.2-62
- 自動着信応答 P.2-46
- ACC ON時のBluetooth接続確認案内 P.2-46
- 着信割り込み表示 下記参照
- 自動電話機接続の設定 P.2-12

(3) 設定が終わったら、**完了** にタッチします。



アドバイス

初期状態 にタッチすると、電話詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。

■着信割り込み表示の設定をするには

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を選択できます。

(1) 電話詳細設定画面で、着信割り込み表示の**全画面**、または**簡易**を選択しタッチします。

全画面：着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、タッチスイッチおよびステアリングスイッチ（ステアリングスイッチ装着車の場合）で操作することができます。

簡易：着信中、通話中および応答保留中に、電話番号および名称を表示しない簡易画面が表示されます。全画面同様、タッチスイッチおよびステアリングスイッチ（ステアリングスイッチ装着車の場合）で操作することができます。



簡易画面表示

■自動着信応答の設定をするには

自動着信応答を設定しておくで、電話がかかってきたときに、あらかじめ設定した待ち時間を経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話することができます。



- (1) 電話詳細設定画面で、自動着信応答の **する** にタッチします。
- (2) **—**、または **+** にタッチして、自動応答するまでの待ち時間を1～60秒の間で設定します。

● 設定を解除するときは **しない** にタッチします。

■ACC ON時のBluetooth接続確認案内の設定をするには※

エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACCまたはONにしたとき、携帯電話とのBluetooth接続確認結果を案内するかしないかを選択できます。

※携帯電話使用時



- (1) 電話詳細設定画面で、ACC ON時のBluetooth接続確認案内の **する**、または **しない** にタッチします。

電話帳の編集をするには

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

- ・携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する（P.2-48）
- ・本機の電話帳に新規登録する（P.2-51）
- ・発信履歴または着信履歴から登録する（P.2-52）

また、登録したデータは、本機で編集することができます。

この電話帳は1名につき最大3件の電話番号が登録でき、最大1000名分のデータが登録できます。

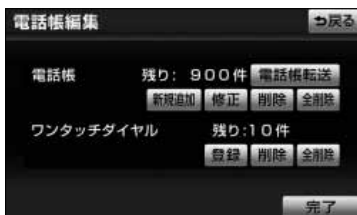
また、各データは電話帳でまとめることができ、最大5つ電話帳が使用できます。



アドバイス

低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。

1 電話帳編集画面を表示するには



電話帳編集画面

(1) 設定・編集画面（電話）（P.2-35参照）で

電話帳編集 にタッチします。

- 電話帳編集画面が表示されます。

電話帳編集画面から、以下の操作を行うことができます。

- 電話帳データの転送 P.2-48
- 新規データの追加 P.2-51
- 電話帳データの修正 P.2-55
- 電話帳データの削除 P.2-56
- ワンタッチダイヤルの登録 P.2-58
- ワンタッチダイヤルの削除 P.2-59

2 携帯電話の電話帳データを転送するには※

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。本機の電話帳は、1名につき最大3件の電話番号が登録でき、最大1000名分のデータが登録できます。

転送するときは、エンジンをかけた状態で行ってください。

この機能は、OPPに対応していない携帯電話では使用できません。

また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。

詳しくは、携帯電話に添付の取扱書を合わせてご覧ください。

※携帯電話使用時

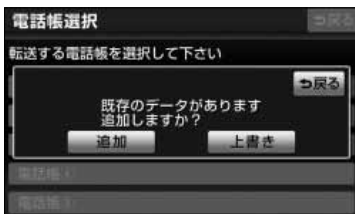
- (1) 電話帳編集画面（P.2-47参照）で、**電話帳転送** にタッチします。

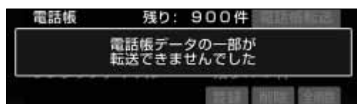
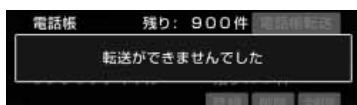
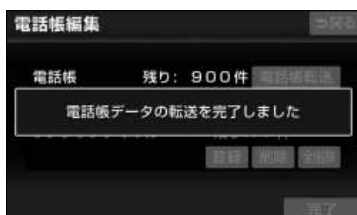
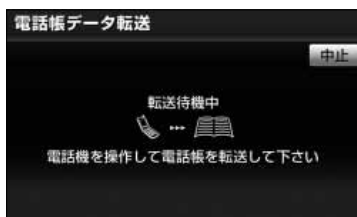
- (2) 電話帳選択画面で、電話帳データを転送したい電話帳を選択しタッチします。



- (3) 選択した電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法の確認メッセージが表示されます。

既存のデータに上書きするときは**上書き**、既存のデータに追加するときは**追加**にタッチします。





(4) 電話帳データ転送画面が表示されたら、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。

- 携帯電話側の転送操作は、必ずこの画面を表示させた状態で行ってください。
- 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。
- 転送を中止したいときは、**中止** にタッチします。
- 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話帳編集画面にもどります。
- 転送失敗のメッセージが表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。



アドバイス

- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
 - ・携帯電話の電話帳で1つの名称に4件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
 - ・電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
 - ・通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります。)
 - ・携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
 - ・本機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
- 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。
- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
 - ・転送には10分程度かかる場合があります。
 - ・電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
 - ・電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。
着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
 - ・電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
 - ・電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンをかけて、再度転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
 - ・本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
 - ・何らかの原因で転送が中断されたとき
- 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- 電話帳データ転送中は、Bluetoothオーディオの接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります。)

3 電話帳に新規データを追加するには

本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

電話帳には、1名のデータにつき、次の項目が登録できます。

- 名称、名称読み、電話番号（最大3件）、電話番号アイコン（各電話番号に1つずつ）、登録先電話帳、音声認識、認識読み



- (1) 電話帳編集画面（P.2-47参照）で **新規追加** にタッチします。



電話帳編集画面（詳細）（1ページ目）

- (2) 電話帳編集画面（詳細）で、各項目のスイッチにタッチして編集します。

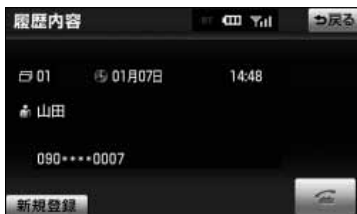
- 名称 P.2-52
- 名称読み P.2-52
- 電話番号 P.2-53
- 電話帳 P.2-54
- 音声認識 P.2-54
- 認識読み P.2-52



電話帳編集画面（詳細）（2ページ目）

- (3) すべての項目の編集が終わったら、**完了** にタッチします。

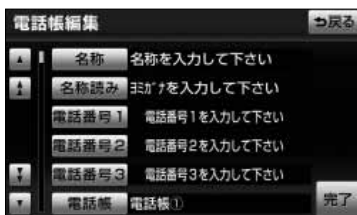
履歴内容画面（P.2-23参照）からも、電話帳編集画面を呼び出して、電話帳を編集することができます。



- (1) 履歴内容画面で、**新規登録** にタッチします。

■名称、名称読み、認識読みの編集をするには

名称、名称読みは省略することができますが、その場合、電話帳画面には電話番号が表示されます。認識読みは、音声認識発信をしたいときは必須入力項目です。なお、名称読みが入力されていないと、音声認識の対象にすることはできません。



- (1) 電話帳編集画面（詳細）で、編集する項目のスイッチ（**名称**、**名称読み**、**認識読み**）にタッチします。

- 認識読みは、音声認識の設定（P.2-54参照）がされているときのみに編集することができます。



- (2) ソフトウェアキーボード（P.1-12参照）で入力します。

名称： 全角で最大12文字、半角で最大24文字まで

名称読み：半角で最大24文字まで

認識読み：半角で最大24文字まで

■電話番号を編集するには

電話番号は、電話番号1、2、3にそれぞれ1件ずつ登録でき、1名につき最大3件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

- (1) 電話帳編集画面（詳細）で、**電話番号1**、**電話番号2**、または**電話番号3**にタッチします。
- (2) 電話番号画面で電話番号を入力し、**完了**にタッチします。
- (3) アイコン選択画面で、アイコンを選択しタッチします。



■電話帳の選択をするには

電話帳を設定しておくことで、電話帳選択画面で電話帳単位で表示できるので、通話相手を素早く検索することができます。

電話帳は、**電話帳①** ～ **電話帳⑤** の5つの中から選択できます。

- (1) 電話帳編集画面（詳細）で **電話帳** にタッチします。
- (2) 電話帳選択画面で、電話帳を選択しタッチします。



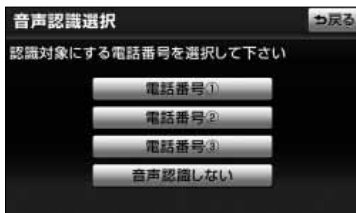
■音声認識の設定をするには

各データに対して、音声認識の対象にするかしないかを設定できます。

音声認識の対象に設定すると、各データの認識読みにより音声認識発信（P.5-5参照）ができます。音声認識の対象にできるのは、最大500件です。

- (1) 電話帳編集画面（詳細）で **音声認識** にタッチします。
- (2) 音声認識選択画面で、**電話番号①**、**電話番号②**、または **電話番号③** にタッチして、音声認識の対象にする電話番号を選択します。

- 音声認識の対象からはずすときは、**音声認識しない** にタッチします。





(3) 音声認識読み確認画面で、音声認識で使用する読みを確認します。

- 読みを修正したいときは、**認識読み修正** にタッチして修正します。

(4) **完了** にタッチします。



アドバイス

- 電話帳の名称読みが登録されていないと、音声認識の対象に設定することができません。音声認識発信で利用したい場合は、電話帳の名称読みを必ず登録しておいてください。
- 音声認識の対象に設定した電話番号を削除する、または電話帳の名称読みを削除すると、そのデータは音声認識の対象でなくなります。

4 電話帳のデータを修正するには

登録済みの電話帳データを修正することができます。

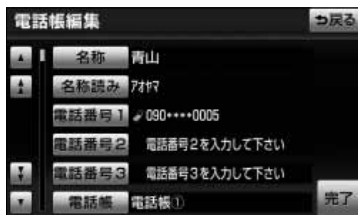


(1) 電話帳編集画面 (P.2-47参照) で、電話帳の **修正** にタッチします。



(2) 修正したいデータにタッチします。

- **電話帳選択** にタッチすると、電話帳を選択することができます。



(3) 電話帳編集画面（詳細）で、各項目のスイッチにタッチして編集します。

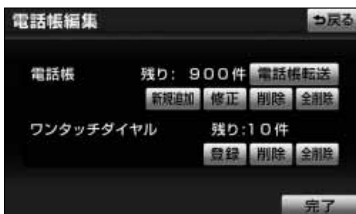
- 名称 P.2-52
- 名称読み P.2-52
- 電話番号 P.2-53
- 電話帳 P.2-54
- 音声認識 P.2-54
- 認識読み P.2-52

(4) すべての項目の編集が終わったら、**完了** にタッチします。

5 電話帳のデータを削除するには

電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

■電話帳のデータを個別に削除するには

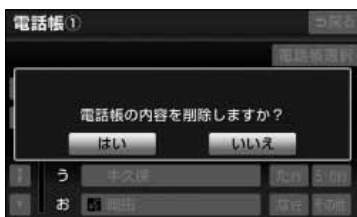


(1) 電話帳編集画面（P.2-47参照）で、電話帳の **削除** にタッチします。



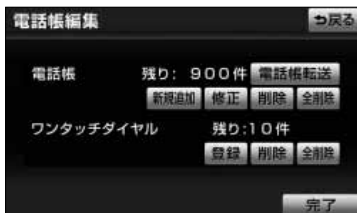
(2) 削除したいデータにタッチします。

- **電話帳選択** にタッチすると、電話帳を選択することができます。



(3) **はい** にタッチします。

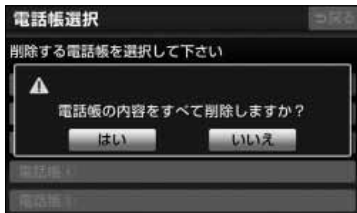
■電話帳のデータをすべて削除するには



(1) 電話帳編集画面（P.2-47参照）で、電話帳の **全削除** にタッチします。



(2) 電話帳選択画面で、削除する電話帳にタッチします。



(3) **はい** にタッチします。



アドバイス

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「個人情報を初期化するには」参照）

6 ワンタッチダイヤルを登録するには

電話帳に登録してある任意の電話番号を、最大17件までワンタッチダイヤルに登録することができます。音声認識で発信したい番号は、**ワンタッチ1**（1ページ目）に登録してください。

ワンタッチ1（1ページ目）の6件目には、自動的に最新の発信履歴（リダイヤル）が登録されます。

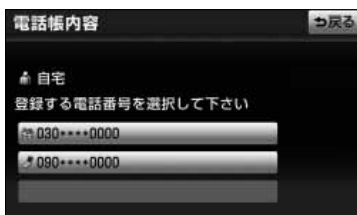


(1) 電話帳編集画面（P.2-47参照）で、ワンタッチダイヤルの**登録**にタッチします。



(2) 電話帳画面で、登録したいデータにタッチします。

- **電話帳選択** にタッチすると、電話帳を選択することができます。



(3) 電話帳内容画面で、登録したい電話番号にタッチします。



(4) 登録先選択画面で、登録したいスイッチを選択しタッチします。

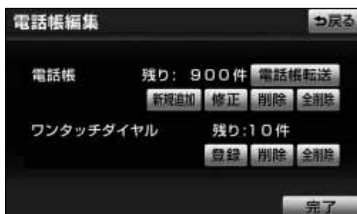


- (5) 登録済スイッチを選択したときは、置き換え確認のメッセージが表示されます。置き換えしてもよいときは **はい** にタッチします。

7 ワンタッチダイヤルを削除するには

ワンタッチダイヤルの01～17は、個別に選択して削除できます。全削除すると、17件すべてが削除できます。

■ワンタッチダイヤルを個別に削除するには



- (1) 電話帳編集画面（P.2-47参照）でワンタッチダイヤルの **削除** にタッチします。

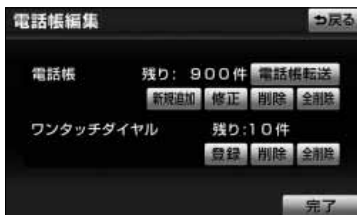


- (2) 削除したいワンタッチダイヤルのスイッチにタッチします。

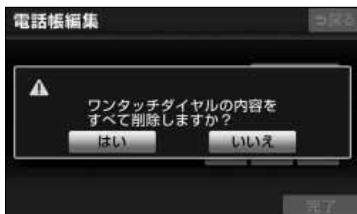


- (3) **はい** にタッチします。

■ワンタッチダイヤルをすべて削除するには



(1) 電話帳編集画面（P.2-47参照）でワンタッチダイヤルの **全削除** にタッチします。



(2) **はい** にタッチします。

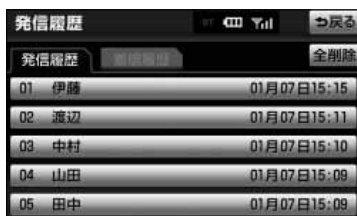


アドバイス

- ワンタッチダイヤルの01～17は、対応する電話帳のデータが削除されると、同時に削除されます。
- ワンタッチダイヤルのリダイヤルは、発信履歴をすべて削除した場合に削除されます。

履歴を削除するには

発信履歴および着信履歴のデータは、全削除ができます。



(1) 発信履歴画面または着信履歴画面 (P.2-23参照) で、**全削除** にタッチします。



(2) **はい** にタッチします。



アドバイス

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「個人情報を初期化するには」参照)

セキュリティの設定をするには

1 セキュリティについて

セキュリティを設定すると、電話帳に関するハンズフリーの一部機能を使用できなくなることができます。

ホテルで車を預けるときなど、他人に登録してあるデータを見られたくないときにご利用になると便利です。なお、セキュリティの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。

セキュリティを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。

2 ロックNo.を変更するには

セキュリティの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。

ロックNo.は4桁の数字で、初期設定は「0000」になっています。

セキュリティを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。

なお、ロックNo.を変更するときは、他人にわかりにくい番号にしておいてください。



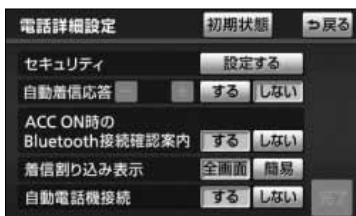
注意

ロックNo.を変更するときは、ロックNo.を忘れないように管理してください。ロックNo.を忘れると、販売店でもセキュリティ設定を解除することができません。

万一ロックNo.を忘れてしまった場合は、セキュリティ設定の初期化を行ってください。(P.2-66参照) ただし、セキュリティ設定の初期化を行うと、電話帳データも削除されます。

2
ハンズ
フリー

セ
キ
ユ
リ
テ
ィ
の
設
定
を
す
る
に
は



- (1) 電話詳細設定画面 (P.2-44参照) でセキュリティの **設定する** にタッチします。



- (2) セキュリティ設定画面でロックNo.変更の **変更** にタッチします。



(3) 現在のロックNo.を入力します。

- 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1 番号ずつ消去されます。

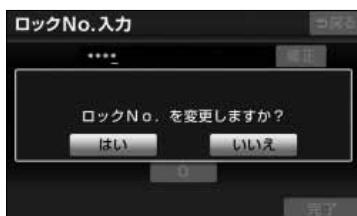


(4) **完了** にタッチします。



(5) 新しいロックNo.を入力します。

(6) **完了** にタッチします。



(7) **はい** にタッチします。



(8) **完了** にタッチします。

3 電話帳・発着信履歴制限をするには

電話帳・発着信履歴制限を設定すると、次の機能を使用できなくなることができます。

- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・登録・修正・削除、電話帳発信
- ワンタッチダイヤル画面の表示、ワンタッチダイヤルの登録・削除、ワンタッチダイヤル発信
- 発信時および着信時の相手先名称の表示
- 発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- 電話機詳細情報画面の表示
- ロックNo.の変更



- (1) セキュリティ設定画面（P.2-62参照）で電話帳・発着信履歴制限の **する** にタッチし、**完了** にタッチします。



- (2) ロックNo.入力画面が表示されます。ロックNo.を入力し、**完了** にタッチします。

■設定を解除するには

- (1) セキュリティ設定画面で電話帳・発着信履歴制限の **しない** にタッチし、ロックNo.を入力します。

4 通信モジュールの発信制限をするには

電話機選択で通信モジュール（P.2-37参照）を選択している場合は、通信モジュールの発信制限を設定すると、次の機能を使用できなくなることができます。

- ダイヤル発信
- 電話帳発信
- 履歴発信
- ワンタッチ発信
- 音声認識発信
- ナビからの発信
- 電話機選択（携帯電話から通信モジュールへの変更をすることができなくなります。）



(1) セキュリティ設定画面（P.2-62参照）で通信モジュールの発信制限の **する** にタッチし、**完了** にタッチします。

(2) ロックNo.入力画面が表示されます。ロックNo.を入力し、**完了** にタッチします。

■設定を解除するには

(1) セキュリティ設定画面で通信モジュールの発信制限の **しない** にタッチし、ロックNo.を入力します。

5 セキュリティ設定を初期化するには

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。



注意

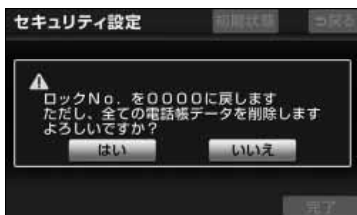
初期状態にもどすと、すべての電話帳データおよび発信履歴、着信履歴のデータも削除されます。

2
ハンズ
フリー

セキュリティの設定をするには



- (1) セキュリティ設定画面（P.2-62参照）で
初期状態 にタッチします。



- (2) **はい** にタッチします。



- (3) **完了** にタッチします。

はじめに

1 G-BOOKオンラインサービスについて

本機では、接続する通信機器により2つのサービスが利用できます。

- 携帯電話で利用 : G-BOOK mX
- 通信モジュール（DCM）で利用 : G-BOOK mX Pro

※G-BOOKオンラインサービスは、トヨタメディアサービス株式会社が提供するサービスです。

●サービス内容について

利用できるサービスは次のようになっています。サービスメニューの詳細、有料オプションの価格は、パソコンや携帯電話のG-BOOKサイト（<http://g-book.com/>）でご確認ください。

主なサービス／機能		G-BOOK mX		G-BOOK mX Pro※1	ページ
		Web登録を して利用			
通信機器		Bluetooth携帯電話		通信モジュール (DCM)	—
ヘルプネット		×	○※2	○	3-35
G-Security		×	×	○	3-60
マップオンデマンド		○	○	○	※3
ルート探索（プローブ情報付）		○	○	○	3-85
渋滞予測		○	○	○	3-79
オペレーターサービス		×	△	○	3-71
メインメニュー G-BOOK.com コンテンツ	無料コンテンツ	○※4 ※5	○※5	○※5	3-98
	有料コンテンツ	×	△	△	
G-SOUND	無料カプセル	○	○	○	3-131
	有料カプセル、 単曲（試聴／購入）	×	△	△	
CDタイトル情報取得		○	○	○	3-144
ドライブプラン		○※6	○	○	3-89
自動車専用ハンズフリー電話		×	×	△	—

○……………利用できます

△……………有料オプション（コンテンツ購入が必要です。）

×……………利用できません

※1 初年度無料期間中は、G-BOOK利用申し込み前でも一部のサービスはご利用いただけますが、すべてのサービスのご利用にはG-BOOK利用申し込みが必要です。

初年度無料期間：初年度登録日より初回の12カ月点検月の末日までとなります。初年度無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。

2年目以降の利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（<http://g-book.com/>）でご確認ください。

※2 G-BOOK利用開始日より3年間ご利用いただけます。

なお、4年目以降およびG-BOOK利用登録解除・ヘルプネット利用登録解除後の再利用登録は、2年ごとに利用登録料が必要です。料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（<http://g-book.com/>）でご確認ください。

※3 「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「地図データの更新について」を参照してください。

※4 一部コンテンツはWeb登録が必要です。

※5 利用可能なコンテンツは一部異なります。

※6 利用には、GAZOOの会員登録が必要です。（P.3-20参照）

2 情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）

情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）から、G-BOOKオンラインサービスの各コンテンツを利用することができます。



- (1)  を押します。
- 情報 または BTナビ が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

タッチスイッチ	機能	ページ
HELPNET	ヘルプネットの緊急通報を行います。	3-45
メインメニュー	メインメニュー画面を表示します。	3-98
G-SOUND	G-SOUND画面を表示します。	3-134
Myリクエスト	Myリクエスト画面を表示します。	3-125
オペレーター	オペレーターサービスに接続します。	3-71
情報確認	オペレーターサービスで取得した情報を確認します。	3-76
ドライブプラン	パソコンや携帯電話で設定したルートをダウンロードします。	3-89
地図更新	地図更新画面を表示します。	※

※「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「地図データの更新について」を参照してください。



アドバイス

- 情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）では、契約状態などにより、画面に表示されるスイッチが異なります。
- **HELPNET** は、サービス開始操作※、または手動保守点検実施後に表示されます。（P.3-50参照）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

3 安全上の注意

G-BOOKオンラインサービスをご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。



警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。
なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

●走行中の操作、表示規制について

走行中にG-BOOKオンラインサービスをご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはブラウザのコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。

このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

4 掲載画面について

本書で使用している画面は、携帯電話使用時の画面を使用して説明しています。

通信モジュール（P.3-1参照）使用時については、特に注記のない限り、携帯電話使用時と同様の操作になります。また、表示内容はサンプル表示となっております。

なお、全体に関わる注意点として、携帯電話使用時の画面に表示される **切断** については、通信モジュール使用時は表示されません。

5 お車を手放す際は

お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、利用登録・契約の解除をお願いします。（P.3-32参照）

6 G-BOOKオンラインサービスコンテンツについて

詳しくは、G-BOOKサイト（<http://g-book.com/>）をご覧ください。

7 通信機器について

G-BOOKオンラインサービスは、Bluetooth携帯電話※または通信モジュール（DCM）（P.3-1 参照）を利用して、データ通信やハンズフリー通話を行います。
接続する通信機器により、データ通信やハンズフリー通話に利用する機器は、次のように選択されます。

※ 本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店または
G-BOOKサイト（<http://g-book.com/>）でご確認ください。

サービス	通信機器	データ通信／ ヘルプネットの音声通話	ハンズフリー通話
G-BOOK mX	携帯電話のみ	携帯電話	携帯電話
G-BOOK mX Pro	通信モジュールのみ	通信モジュール	通信モジュール （自動車専用ハンズフリー電話契約時のみ）
	携帯電話 & 通信モジュール	通信モジュール	ハンズフリーの電話機選択で選択した通信機器 （通信モジュールは、自動車専用ハンズフリー電話契約時のみ選択可）

●Bluetooth携帯電話を使用するときの留意事項

Bluetooth携帯電話を使用してデータ通信するときは、次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- ・Bluetooth携帯電話でデータ通信を行うときは、あらかじめ本機に携帯電話を登録しておかないと使用できません。Bluetooth携帯電話を使用するときは、まず最初に、ご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(P.2-10参照)
- ・Bluetooth携帯電話の機種によっては、受信レベル表示を行うことができないことがあります。
- ・Bluetooth携帯電話でデータ通信を利用される場合、携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約1分間は、電話を受けることや応答保留などができないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くことになります。割込着信の設定変更または契約変更については、ご利用の携帯電話に添付の取扱書などでご確認ください。
- ・Bluetooth携帯電話でデータ通信する場合は、操作しない状態が一定時間継続すると、G-BOOKセンターとのデータ通信を自動で切断します。自動で切断するまでの時間は、携帯電話の機種によって異なります。
- ・Bluetooth携帯電話の機種や状態によっては、エンジン始動後にデータ通信を行うことができる状態になるまでに時間がかかることがあります。
この場合は、しばらく待ってから再度操作を行ってください。
- ・Bluetooth携帯電話の機種によっては、携帯電話が待ち受け状態でないとデータ通信ができないことがあります。



アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

●通信モジュールについて

通信モジュール（P.3-1 参照）は通信アンテナを使用します。
通信アンテナの位置は、お買い上げの販売店にご確認ください。
データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。



警告

植え込み型心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器をお使いの方は、通信アンテナから22cm以内にこれらの医療用電気機器が近づくような姿勢をとらないようにしてください。上記以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-BOOKオンラインサービスをお使いになる前に、医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。
データ通信に伴う電波により、医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。



アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

■ライセンス契約など

この製品は下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、Qualcomm社よりライセンスされています。

4,901,307 5,056,109 5,101,501
 5,109,390 5,228,054 5,267,261
 5,267,262 5,337,338 5,414,796
 5,416,797 5,490,165 5,504,773
 5,506,865 5,511,073 5,535,239
 5,544,196 5,568,483 5,600,754
 5,657,420 5,659,569 5,710,784
 5,778,338

BREW™およびBREW™に関連する商標は、Qualcomm社の商標または登録商標です。
 The word BREW is a®registered trademark of QUALCOMM Incorporated.
 The BREW Logo, which includes the interlocking circles design, is a trademark (TM) of QUALCOMM Incorporated.

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部について、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはなりません。

本製品を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはなりません。
 U.S.law and international agreements currently prohibit export of this device's browser and security technology to the following countries-Cuba, Iran,Iraq,Libya,North Korea,Sudan and Syria.(Other restrictions regarding this device may apply.)

8 データ通信時の留意事項

G-BOOKオンラインサービスは、データ取得時に通信を行います。

次の点をご理解の上、正しくお使いください。

●携帯電話使用時の留意事項

- ・通信にはお手持ちの携帯電話の電波を使用します。通信可能なエリアについては、携帯電話各社のサービスエリア図などを参照してください。
- ・お手持ちの携帯電話に添付の取扱書の注意事項もよくお読みください。



アドバイス

- Bluetooth携帯電話でデータ通信を利用される場合、携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約1分間は、電話を受けることや応答保留などできないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くことになります。
 - 割込着信の設定変更または契約変更については、ご利用の携帯電話に添付の取扱書などでご確認ください。
 - 通信料金はおお客様のご負担になります。
 - データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態、接続している携帯電話の機種によって異なります。
 - G-BOOKオンラインサービスを利用中に携帯電話と本機の接続を切断すると、機種によってはデータ通信や音声通話を継続したままになることがあります。
- G-BOOKオンラインサービス利用後に携帯電話と本機の接続を切断したら、携帯電話の状態を必ず確認してください。
- G-BOOKオンラインサービスを利用中に、エンジンをかけなおすなどのエンジンスイッチの操作を行うと、接続している携帯電話の機種によっては、ハンズフリーの着信中画面になることがあります。
- この場合は、タッチスイッチを操作するなどして、ハンズフリー画面を解除する操作を行ってください。
- (P.2-28参照)

●通信モジュール（P.3-1参照）使用時の留意事項

- ・通信方式は、KDDI株式会社のCDMA方式のau携帯電話と同一です。
CDMA 1X WINサービスエリアでは、最大2.4Mbpsデータ通信サービスがご利用いただけます。それ以外のCDMA 1Xサービスエリアでは、最大144kbpsデータ通信サービスとなります。同社サービスエリア図を参照してください。
なお、通信状況は様々な要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- ・次のような通信環境では、データ通信できません。
 - ・トンネルの中にいるとき
 - ・地下駐車場にいるとき
 - ・山奥などの通信圏外にいるとき
 - ・回線が混雑しているなど、発信規制中のとき

G-BOOKオンラインサービスはデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。

- ・この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、G-BOOKオンラインサービスが使用できなくなります。
（その場合には事前にご連絡します。）



アドバイス

- データ通信に関する通信料金はG-BOOK利用料金に含まれています。
- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

●通信機器共通留意事項

タイトル



バー

3
G-BOOK
機能

通信中マーク



・ヘルプネット（P.3-35参照）での緊急通報中は、G-BOOKセンターに接続できません。

・画面上部（タイトル）に、ネットワーク接続中は「接続中」、コンテンツ読み込み中は「しばらくお待ち下さい」が表示されます。

また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。

（走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、“ピッ”という音でもお知らせします。）

・通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、現在地画面などに通信中マークが表示されます。

はじめに



アドバイス

- 受信レベル表示が「圏外」と表示されている場合でも、本機はデータ取得動作を行います。一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間は本機の通信状態によって異なります。
- GPS信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、またはバッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS信号が受信できる場所（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「自転車位置精度について」参照）に車を移動し、を押して地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

GPSマーク



3
G-BOOK
機能

はじめに

●受信レベルについて

受信レベル



画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

- ・携帯電話接続時に表示される受信レベルは、携帯電話本体の受信レベル表示と一致しないことがあります。
- ・使用する携帯電話がBluetooth接続されていないときは、「未接続」が表示されます。

携帯電話使用時

表示	圏外	Y	Y	Y	Y
レベル	圏外	弱	←	→	強

通信モジュール（P.3-1 参照）使用時

表示	圏外	DCM	DCM	DCM	DCM
レベル	圏外	弱	←	→	強



アドバイス

Bluetooth携帯電話の機種によっては、受信レベル表示を行うことができないことがあります。

各種手続きをするには

1 利用手続きについて

G-BOOKオンラインサービスの利用開始は、ご利用になるサービス（G-BOOK mX/G-BOOK mX Pro）により異なります。

P.3-15の「**利用手続きの手順**」にしたがって実施してください。



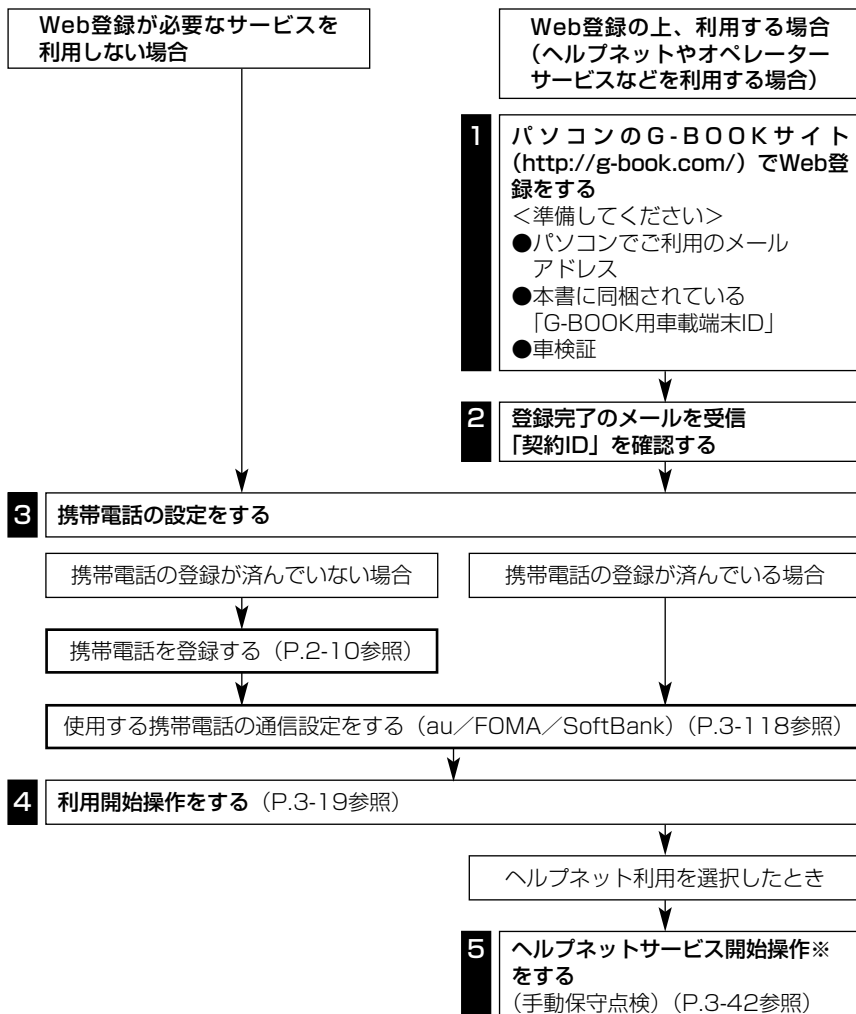
アドバイス

- 手続きを行うときは、次の点に注意して、手続きが中断しないようにしてください。中断すると、最初からやり直さなければなりません。
 - ・ 通信が途中で切れないように、受信感度が良い場所で行ってください。
 - ・ 手続きの途中で、中止や切断の操作をしないでください。また、エンジンをかけなおすなどのエンジンスイッチの操作をしないでください。
 - ・ 携帯電話で接続する場合は、携帯電話を着信拒否に設定するなど、ハンズフリーで着信できないようにしてください。
- パソコンのG-BOOKサイト（<http://g-book.com/>）でWeb登録をする場合、GAZOO会員IDがあれば、G-BOOK契約IDとして使えます。
- 車両1台につき1つの契約IDが必要です。同じ契約IDを複数の車両で利用することはできません。

2 利用手続きの手順

利用手続きとそれに伴う各種設定は、ご利用になるサービスなどにより異なります。
下図にしたがって、手続きを行ってください。

●G-BOOK mX（携帯電話接続）をご利用の場合

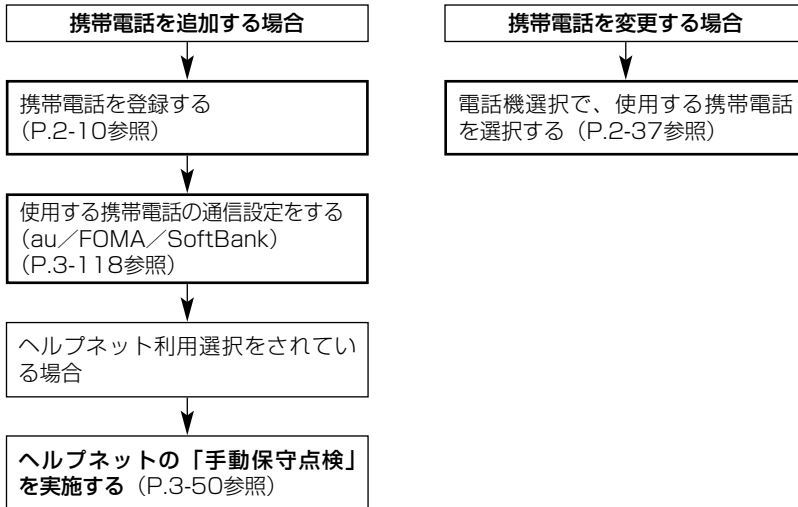


※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

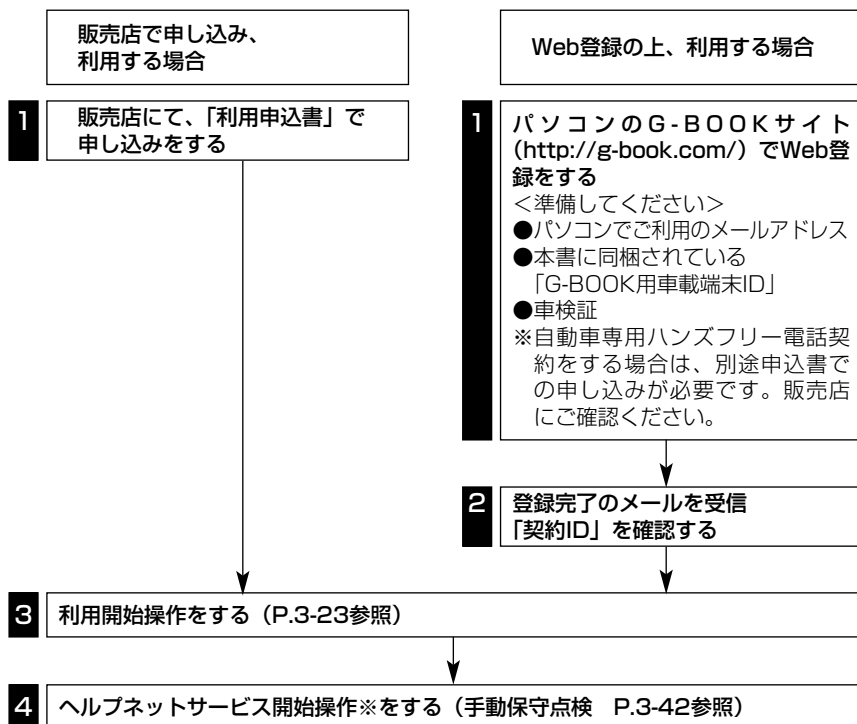
●携帯電話を追加・変更する場合※

利用手続き後、データ通信に利用する携帯電話の追加や変更をする場合は、次の手続きを行ってください。

※G-BOOK mX利用時



●G-BOOK mX Pro（通信モジュール接続）をご利用の場合



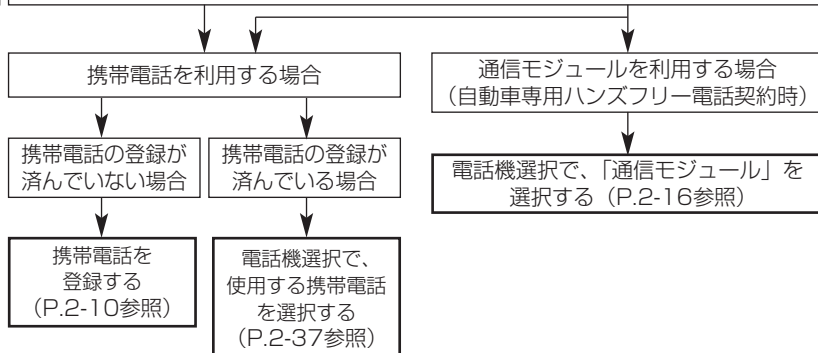
3
G-BOOK
機能

各種手続きをするには

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

ハンズフリー通話を
利用する場合

5 ハンズフリー通話機器を選択する



- 初年度無料期間中は、G-BOOK利用申し込み前でも一部のサービスはご利用いただけますが、すべてのサービスのご利用にはG-BOOK利用申し込みが必要です。

初年度無料期間：初年度登録日より初回の12カ月点検月の末日までとなります。初年度無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。2年目以降の利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。

3
G-BOOK
機能

各種
手続
きをする
には

3 利用開始操作をするには

利用開始操作は、ご利用のサービスにより操作手順が異なります。

該当のページをご覧くださいの上、手続きを行ってください。

利用開始操作は、可能な限り見晴しの良い場所で行ってください。

- ・ G-BOOK mXでWeb登録をしない場合（下記参照）
- ・ G-BOOK mXでWeb登録をした場合（P.3-21）
- ・ G-BOOK mX Proの場合（P.3-23）

■G-BOOK mXでWeb登録をしない場合

- (1)  を押します。
● **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。
- (2) **メインメニュー** にタッチします。
- (3) **G-BOOK.com** にタッチします。
● 画面が異なる場合は、前ユーザーの解約手続きが完了していません。G-BOOKサポートセンターにご連絡ください。



G-BOOKサポートセンター

全国共通・フリーダイヤル 0120-104-370

受付時間 9:00～18:00
(年中無休)



- (4) **利用開始する** にタッチします。
- (5) 画面の指示にしたがって操作します。
- (6) 利用開始操作完了画面が表示されたら、**次へ** にタッチします。

- PC・携帯連携をご利用になる場合は、PC・携帯連携の利用手続きを行ってください。(下記参照)

■PC・携帯連携とは

GAZOO会員登録をした上で、PC・携帯連携の利用手続きをすると、パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで編集したデータを、本機で利用することができます。

●GAZOO会員登録について

PC・携帯連携をご利用いただくには、GAZOO会員である必要があります。

GAZOO会員の登録は、G-BOOKサイト (<http://g-book.com/>) で行ってください。

PC・携帯連携の利用手続きでは、GAZOO会員IDとパスワードの入力が必要です。

■PC・携帯連携を利用する

- (1) 情報・G・BTナビ画面 (G-BOOK) (P.3-3参照) で **メインメニュー** にタッチします。
- (2) **G-BOOK.com** にタッチします。
- (3) **ユーザー** にタッチします。

- 表示されているメニューは一例です。





- (4) **PC・携帯連携を利用する** にタッチします。
- (5) 注意事項を確認し、画面の指示にしたがって操作します。
- (6) GAZOO会員IDとパスワードを入力し、**決定** にタッチします。
 - IDおよびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボード (P.1-12 参照) で入力します。
- (7) 登録内容を確認し、画面の指示にしたがって操作します。
- (8) 手続き完了画面が表示されたら、利用が可能になります。



アドバイス

- 車両 1 台につき 1 つの契約IDが必要です。同じ契約IDを複数の車両で利用することはできません。
- 6ヶ月以上ご利用のない場合、再びGAZOO会員IDとパスワードを入力していただく必要があります。

■G-BOOK mXでWeb登録をした場合

- (1) **情報** を押します。
 - **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。
- (2) **メインメニュー** にタッチします。



- (3) **G-BOOK.com** にタッチします。

- 画面が異なる場合は、前ユーザーの解約手続きが完了していません。G-BOOKサポートセンターにご連絡ください。

G-BOOKサポートセンター

全国共通・フリーダイヤル 0120-104-370

受付時間 9:00～18:00

(年中無休)



- (4) **利用開始する (Web登録済の方)** にタッチします。



- (5) 契約ID照会画面が表示されます。

IDとパスワードを入力し、**決定** にタッチします。

- IDおよびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボード (P.1-12 参照) で入力します。

- (6) 登録内容を確認し、画面の指示にしたがって操作します。

- (7) G-BOOK利用手続き完了画面が表示されます。

- ヘルプネット利用を選択された場合は、**はい** にタッチし、ヘルプネットのサービス開始操作※ (P.3-42参照) を行います。
- サービス開始操作※が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

3
G-BOOK
機能

各種
手続
きを
する
には

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

■G-BOOK mX Proの場合

- (1)  を押します。
- **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

- (2) **メインメニュー** にタッチします。



- (3) **G-BOOK.com** にタッチします。

- 画面が異なる場合は、前ユーザーの解約手続きが完了していません。G-BOOKサポートセンターにご連絡ください。
- 中古車の場合、**G-BOOK.com** にタッチしたあとに、通信初期設定画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

G-BOOKサポートセンター

全国共通・フリーダイヤル 0120-104-370

受付時間 9:00～18:00

(年中無休)

- (4) 申し込み方法により、次の画面が表示されます。
- 申込書で申し込みの方は、本人確認の画面が表示されます。画面の指示にしたがって操作します。
 - Web登録で申し込みの方は、契約ID照会画面が表示されます。IDとパスワードを入力し、**決定** にタッチします。

- (5) サービス内容などを確認し、画面の指示にしたがって操作します。

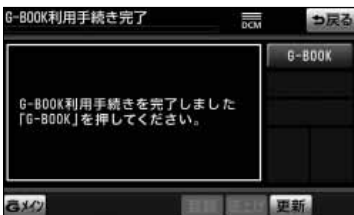
- G暗証番号の設定をしていない方は、G暗証番号の設定が表示されます。画面の指示にしたがって操作します。

- (6) G-BOOK利用手続き完了後、ヘルプネットのサービス開始案内画面が表示されたら **はい** にタッチします。

- (7) ヘルプネットセンターの音声案内にしたがって、現在地とマイク音声を確認します。

- (8) G-BOOK利用手続き完了画面が表示されます。内容を確認し、手続きを終了します。

- サービス開始操作※が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

4 ユーザー画面について

登録内容の確認・変更やG暗証番号の変更、支払方法の設定などを行なえます。

■ユーザー画面を表示するには

- (1)  を押します。
 - **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。
- (2) **メインメニュー** にタッチします。
- (3) **G-BOOK.com** にタッチします。
- (4) **ユーザー** にタッチします。
 - 表示されているメニューは一例です。



■ユーザー画面を使うには

ユーザー画面で行なえるメニューは、次のようなものがあります。

状況に応じて、次の各スイッチにタッチし、画面の指示にしたがって操作してください。

① 会員情報／利用契約変更・解約

●利用登録・契約の解除

G-BOOK mXの利用登録・契約の解除、またはG-BOOKmX Proの解約手続きをするときに使用します。

② コンテンツ購入履歴／解約

有料コンテンツの解約をするときに使用します。

●コンテンツ契約内容の確認

契約中コンテンツの確認および解約ができます。

③ ドライブプランのデータコピー

他のIDで作成したドライブプランデータ(Myルート、Gメモリ)を、現在利用中のIDへコピーできます。

5 Web登録が必要なサービスを利用したくなったとき※

G-BOOK mXをWeb登録なしで利用開始したお客様で、有料コンテンツなどのWeb登録が必要なサービスを利用したい場合は、次の手順で再度、利用開始操作を行ってください。

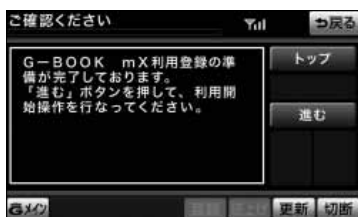
※G-BOOK mX利用時

■Web登録するには

有料コンテンツのご利用には、まずパソコンのG-BOOKサイト（<http://g-book.com/>）でWeb登録が必要です。

G-BOOKセンターから登録完了のメールを受信したら、本機から利用開始操作をします。

- (1)  を押します。
 - **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。
- (2) **メインメニュー** にタッチします。
- (3) **G-BOOK.com** にタッチします。
- (4) G-BOOK mX利用登録準備完了の案内が表示されます。
 - 進む** にタッチします。



アドバイス

利用登録準備完了の案内が表示されない場合は、Web登録手続きがG-BOOKセンター側で完了していません。しばらくしてから再度操作してください。



- (5) 契約ID照会画面が表示されます。
IDとパスワードを入力し、**決定** にタッチします。

● IDおよびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボード（P.1-12参照）で入力します。

- (6) 登録内容を確認し、画面の指示にしたがって操作します。

6 サポートアドレスについて

サポートアドレスは、G-Securityやロードアシスト24などのサービス利用にあたって、お客様に連絡が必要になった場合の連絡先です。G-BOOK利用申込書またはWeb登録で入力いただいた緊急連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。連絡先に変更があった場合は下記操作で変更してください。

3
G-BOOK
機能

各種
手続
き
を
す
る
に
は

■サポートアドレスを確認・変更するには

サポートアドレスの確認・変更は、G-BOOK.com画面で行います。

- (1) メインメニュー画面（P.3-98参照）で
G-BOOK.com にタッチします。



- (2) **サポートアドレスの登録・変更** にタッチします。

● 表示されているメニューは一例です。
この画面に表示されていないときは、**ユーザー** にタッチし、ユーザーページにて操作してください。

- (3) 表示される電話番号を確認した後、**メール** にタッチします。

● 電話番号を変更するときは、変更する電話番号にタッチし、入力します。

(4) Eメールアドレスを確認します。

- Eメールアドレスを変更するときは、変更するEメールアドレスにタッチし、入力します。

7 継続方法を変更するには※

G-BOOK mX Proは、年単位で契約更新となります。

契約の更新日が近づくと、トヨタメディアサービス（株）より案内を送付します。

※G-BOOK mX Pro利用時

3
G-BOOK
機能

各種
手続
き
を
す
る
に
は

- (1)  を押します。
 - **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。
- (2) **メインメニュー** にタッチします。
- (3) **G-BOOK.com** にタッチします。
- (4) **ユーザー** にタッチします。
- (5) **会員情報／利用契約変更・解約** にタッチします。



- (6) **利用契約の確認・変更** にタッチします。



(7) **利用契約内容の変更** にタッチします。

(8) G暗証番号入力画面が表示されます。G暗証番号を入力し、**決定** にタッチします。



(9) 利用契約の変更画面が表示されます。

- 自動継続に変更したい場合は、**G-BOOK利用継続処理** にタッチします。

- 自動継続を停止※したい場合は、**自動継続停止** にタッチします。

※ 自動継続を停止すると、現在の契約期間の満了日をもって、解約となります。



アドバイス

自動継続に設定すると、次年度の契約を自動で更新できます。

契約の更新をし忘れて、ヘルプネットなどが解除されてしまうのを防ぐことができます。

パソコンのG-BOOKサイトでも継続手続きの変更ができます。

(10) G-BOOK利用契約の確認画面が表示されます。
内容を確認し、**決定** にタッチします。

8 ポップアップ機能について

G-BOOKセンターに接続すると、お客様のご利用状況により、ヘルプネット開通案内や次年度継続案内などのメッセージが表示されます。

お客様の必要に応じて、画面の指示にしたがって操作してください。

詳しくは、P.7-1の「**こんなメッセージが表示されたとき**」を参照してください。

9 有料コンテンツのご利用について

G-BOOK mXの場合、有料コンテンツの利用にはWeb登録が必要です。

●有料コンテンツの購入・解約

G-BOOK有料コンテンツの購入・解約には、次の手続きが必要になります。
また、利用料金はコンテンツ毎に異なります。

■有料コンテンツの購入手続きをするには

有料コンテンツを購入する際、コンテンツ購入手続き案内が表示される場合には、当該コンテンツの購入がされておりません。

画面の指示にしたがって、「規約への同意」「購入方法と支払い方法の確認」「G暗証番号の入力」を実行し、ご利用ください。

■有料コンテンツの解約手続きをするには

- (1) メインメニュー画面 (P.3-98参照) で
G-BOOK.com にタッチします。



- (2) **ユーザー** にタッチします。

● 表示されているメニューは一例です。

- (3) **コンテンツ購入履歴／解約** にタッチします。

- (4) **コンテンツ契約内容の確認** にタッチします。

- (5) 申し込み時、または利用手続き時に登録した「G暗証番号」を入力の上、解約してください。



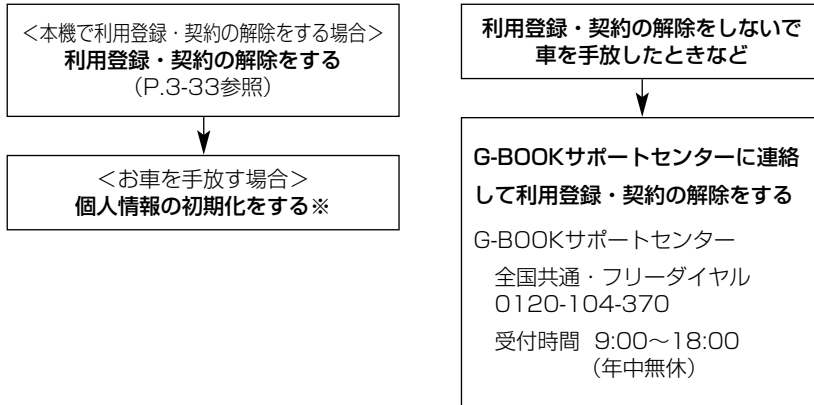


アドバイス

「G暗証番号」は、有料コンテンツを購入するときや、一部のサービスを本機や携帯電話から利用するときに入力していただく4桁の番号です。

10 利用登録・契約の解除について

お車を手放すときなど、G-BOOKオンラインサービスの利用登録・契約の解除をするときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。



3
G-BOOK
機能

各種
手続
き
を
す
る
に
は

※ 「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「個人情報を初期化するには」を参照してください。



アドバイス

- 本機に保存した情報は、本機で利用登録・契約の解除をしたときのみ消去できます。
お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、本機で利用登録・契約の解除および初期化を必ず行ってください。
- G-BOOK契約IDは、利用登録・契約の解除後、GAZOO会員IDとして利用できます。

■利用登録・契約の解除をするには

G-BOOKオンラインサービスの利用登録・契約の解除をするときは、次の手順で実施してください。

- (1)  を押します。
- (2) **G-BOOK** にタッチします。
- (3) **G-BOOK詳細設定** にタッチします。



- (4) 契約解除の **解除する** にタッチします。
- (5) 画面の指示にしたがって操作します。



アドバイス

- ユーザー画面からでも利用登録・契約の解除ができます。
- G-BOOKオンラインサービスが利用できないようにするには、「非アクセス登録」をしてください。(P.3-34参照)

●お車を手放すとき

利用登録・契約の解除をただけでは、本機に保存したお客様の情報は消去されません。お車を手放すときは、次の操作も合わせて必ず実施してください。

●個人情報の初期化

（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「個人情報を初期化するには」参照）

11 非アクセス登録をするには

G-BOOKオンラインサービスが不要というお客様は、G-BOOKサポートセンターに電話をしてください。

オペレーターに「非アクセス登録」を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。申請書を提出していただくと、利用開始操作ができないように設定します。

※G-BOOKオンラインサービスを利用中のお客様は、事前に利用登録・契約の解除を行ってください。

●再びG-BOOKオンラインサービスの利用をご希望の際は、G-BOOKサポートセンターに電話をしてください。「非アクセス登録」の解除を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。

G-BOOKサポートセンター

全国共通・フリーコール 0800-123-0016

受付時間 9:00～18:00

(年中無休)

3
G-BOOK
機能

各種
手続
き
を
す
る
に
は

ヘルプネット

1 ヘルプネットについて

ヘルプネットは、急病などの緊急事態発生時に、ヘルプネットスイッチにタッチするだけでヘルプネットセンターに接続し、車内からの通報を補助するシステムです。

ヘルプネットセンターに電話が接続されるとオペレーターが応答し、ドライバーあるいは他の乗員から状況を確認して、通報位置に適した警察または消防にお客様の状況を通報します。

本システムは、エンジンスイッチがACCまたはONのときに作動します。

●G-BOOK mXの場合、G-BOOK利用開始日より3年間で利用いただけます。

なお、4年目以降およびG-BOOK利用登録解除・ヘルプネット利用登録解除後の再利用登録は、2年ごとに利用登録料が必要です。料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。

ご利用には、Web登録が必要です。

●サービス開始と利用登録の解除について

ヘルプネットは、本機でG-BOOKオンラインサービスを利用開始の上、サービス開始操作※が完了すると利用することができます。(P.3-42参照)

利用登録の更新については、トヨタメディアサービス（株）より、更新月前に案内があります。

ヘルプネットの利用登録の解除は、G-BOOKオンラインサービスの利用登録・契約の解除と同時に実施されます。また、G-BOOK mXの場合は、ヘルプネットのみの利用登録の解除を本機から行うことができます。(P.3-54参照)

●ヘルプネットは（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。



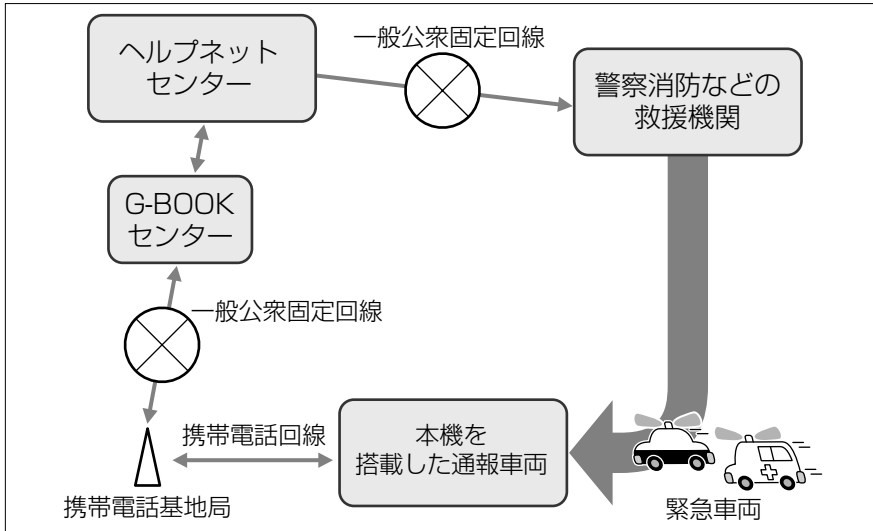
注意

ヘルプネットは警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行えません。

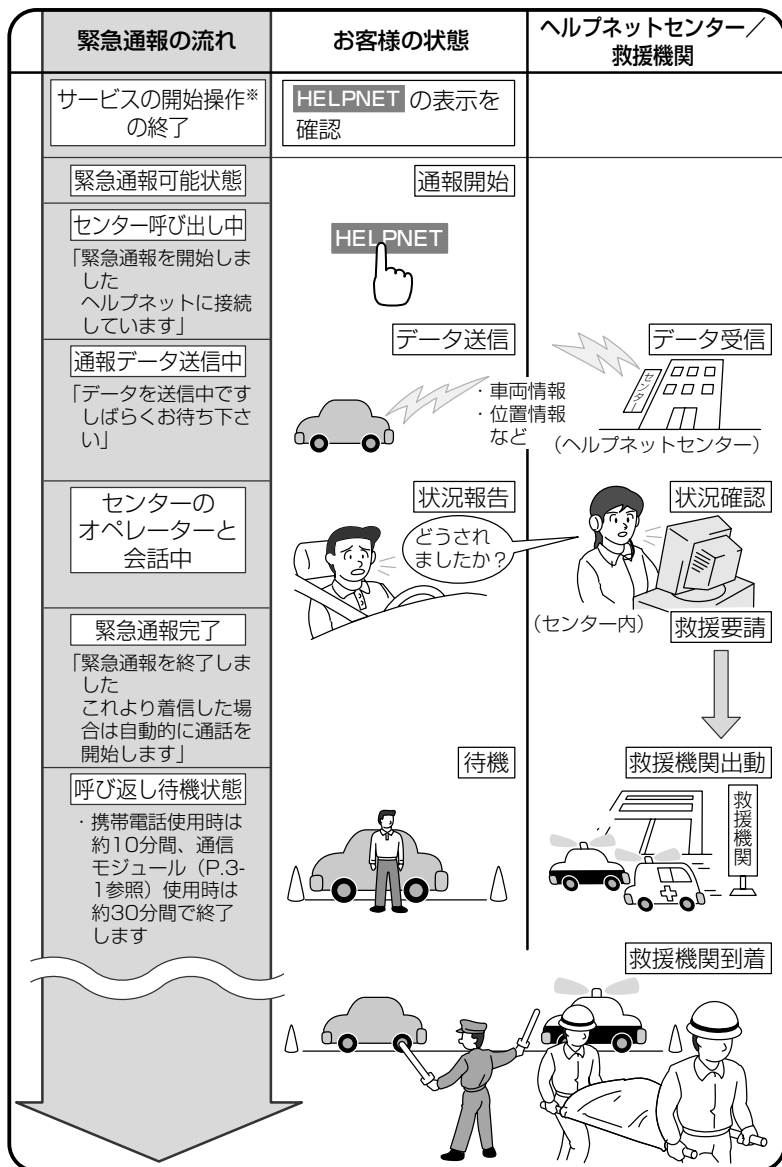
※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

●緊急通報のしくみ

本機の画面に表示される **HELPNET** にタッチすると、ヘルプネットセンターに通報し、専門のオペレーターが応答します。

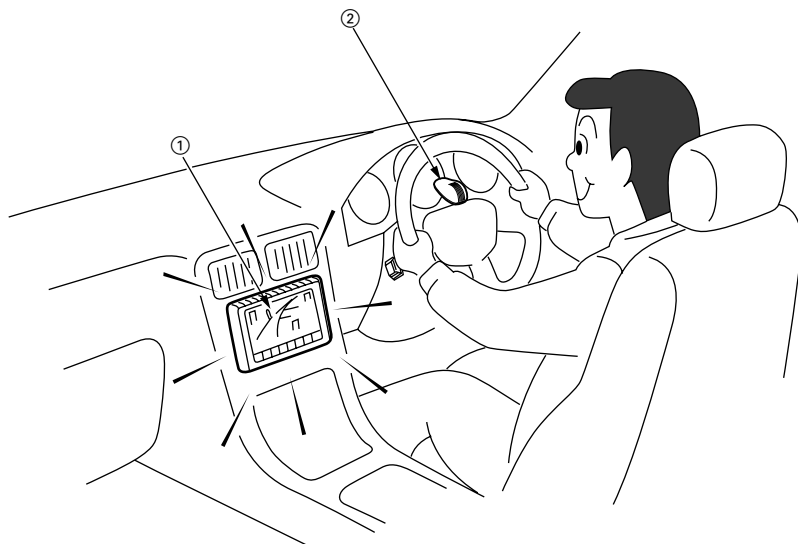


■緊急通報の主な流れ



※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

2 各部の名称とはたらき



3
G-BOOK
機能

ヘルプ
ネット

	名称	機能
①	本機	緊急通報時や手動保守点検時に使用します。
②	マイク	緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用します。



注意

本機が故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。本機に液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。本機が故障したときは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

3 安全のために



警告

- 安全運転を心がけてください。
本機は、急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じる時は、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- サービス開始操作※は契約者本人が行い、情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）に **HELPNET** が表示されていることを必ず確認してください。
- 本機は衝撃などによって、作動しなくなる場合があります。
このような場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- バッテリーの電圧低下または接続が断れたとき、ヘルプネットセンターと通信できない場合があります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - ・携帯電話サービスエリア外でご使用の場合
 - ・機器（本機、携帯電話回線に接続する機器、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線）に異常または損傷があり、故障している場合
 - ・G-BOOKオンラインサービスの利用登録がされていない、または利用登録期限が切れている場合
 - ・ヘルプネットの利用登録がされていない、または利用登録が更新されていない場合
 - ・サービス開始操作※を実施していないため、本機が緊急通報可能状態になっていない場合
- ヘルプネットを携帯電話で使用する時、次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - ・携帯電話と本機がBluetooth接続されていない場合
 - ・携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している場合
 - ・携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない場合
 - ・携帯電話が故障している場合
 - ・携帯電話の料金を滞納している場合
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。
通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

**警告**

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。詳しくは、P.3-55の「**携帯電話について**」を参照してください。
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機のBluetooth接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。
走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。
- 本機はエアバッグと連動していないため、エアバッグが作動しても通報されません。
このような場合には、**HELPNET** による緊急通報をしてください。
- G-BOOKオンラインサービス、またはヘルプネットの利用登録を解除しても、G-BOOK画面に **HELPNET** が表示されているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。
- 煙が出る、変な匂いがするなどの異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。



注意

- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがある場合には、すぐにお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機の取り外しを行うと、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなる可能性があります。取り外しが必要な場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
- 次の温度範囲以外では、緊急通報や携帯電話が正常に動作しない場合があります。そのときは、最寄りの公衆電話を使用してください。
動作温度範囲：-20℃～+60℃
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物については、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合および車外に避難するときは、パーキングブレーキを確実に作動させ、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしてください。
この場合、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした時点で、緊急通報は終了します。
なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機のBluetooth接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、電話料金を滞納していると、緊急通報できません。電話料金の滞納にはくれぐれもご注意ください。



アドバイス

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、ヘルプネットによる緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信の通信料金や通話時の通話料は、お客様のご負担となります。
- いたずらなどが原因で救急車両などの出動が起きた場合、該当費用に関しての請求や関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないようにしてください。

4 サービス開始操作※をするには

ヘルプネットは、サービス開始操作※を完了してはじめて利用できるようになります。利用開始操作完了後、次の手順でサービス開始操作※および本機が正常に動作するか確認してください。この確認が行われないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

(1) 可能な限り見晴らしの良い場所に車を移動します。

- ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

(2) 「手動保守点検」(P.3-50参照)を行い、次の点を確認します。

- 手動保守点検で、通信が正常に開始することを確認します。
- 通報位置が正しいことをヘルプネットセンターとの通話で確認します。
- 通話ができることを確認します。

(3) 手動保守点検後、情報・G・BTナビ画面(G-BOOK)に **HELPNET** が表示されます。

- 情報・G・BTナビ画面(G-BOOK)に **HELPNET** が表示されない場合は、再度、手動保守点検を実施してください。
- 手動保守点検が正常に終了しなくても **HELPNET** が表示される場合があります。この場合、緊急通報できないことがあるため、お買い上げの販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。



警告

- 通話が正常に終了したか否かの確認画面で **いいえ** にタッチする、または  などを押して他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 次のように、本機が正常に動作しない場合、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
 - ・発呼しない。
 - ・通報位置とヘルプネットセンターでの位置表示が間違っている。
 - ・通話できない。
- サービス開始操作※は途中で中断せず、最後まで完了してください。
途中で中断した場合は、基本的に **HELPNET** は表示されませんが、**HELPNET** が表示された場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- サービス開始操作※時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあります。手動保守点検時に本機が正常に動作しない場合や、**HELPNET** は表示されたが通話できない場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 手動保守点検後、**HELPNET** が表示されない場合、緊急通報は動作しません。
HELPNET の表示が正常に行われない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
 - ・本システムで動作確認済みの携帯電話を使用してください。動作確認済みでない携帯電話をご使用になられると、緊急通報が動作しないおそれがあり危険です。また、携帯電話本体の破損など故障の原因となる場合があります。
 - ・ヘルプネットを使用する前に、携帯電話の登録 (P.2-10参照)および使用する携帯電話の設定 (P.3-118参照)を行ってください。
 - ・本機に携帯電話をBluetooth接続する際は、必ず携帯電話の電池残量を確認してください。携帯電話の電池が空になると携帯電話が動作しないため、緊急通報も動作しません。なお、本機には携帯電話の充電機能はありません。
 - ・電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。詳しくは、P.3-55の「携帯電話について」を参照してください。
 - ・携帯電話と本機がBluetooth接続されていることを確認してください。接続されていないと、緊急通報は動作しません。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。



アドバイス

- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー通話などが利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACCまたはONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話の照明をOFFに設定してください。（設定については携帯電話の取扱書をご覧ください。）

5 緊急通報をするには

緊急通報は、急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターに通報するときに使用します。

エンジンスイッチがACCまたはONのとき、情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）で **HELPNET** にタッチすると緊急通報を開始します。

この操作をすれば、あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがっていただければ、緊急通報は完了します。

ここでは、緊急通報の流れを一通り説明します。実際に使用するときにあわてないために、流れを覚えておいてください。

ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機がBluetooth接続されていることを確認してください。



警告

- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - ・ 携帯電話サービスエリア外では緊急通報動作が開始しても、緊急通報できません。
 - ・ 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットセンターへ接続中に、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。緊急通報が中止されます。エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしてしまった場合、緊急通報はできていないので、再度エンジンスイッチをACCまたはONにして通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機をBluetooth接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

- (1)  を押します。

- **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。



- (2) **HELPNET** にタッチします。



- (3) ヘルプネットセンターに接続を開始し、緊急通報を開始します。

- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- 緊急通報を中止するときは **中止** にタッチします。



- (4) ヘルプネットセンターとデータ通信を行い、車両の位置などを送信します。



- (5) データ通信完了後、通話モードに切り替わります。



(6) オペレーターと通話します。

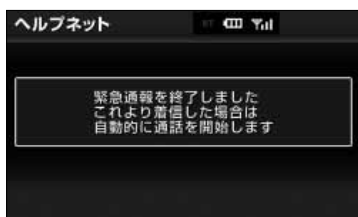
- ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察または消防などへの通報の要・不要を伝えてください。
- 通話音量を調整するときは次のいずれかの操作をします。
 - **小** または **大** にタッチする。
 - ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。(ステアリングスイッチ装着車の場合)



アドバイス

- 緊急通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の応答が取れたときに関係機関に通報します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、通話中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。(ヘルプネットを通信モジュール (P.3-1 参照) で使用する場合は、緊急通報は中止されます。)

(7) 警察または消防への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察または消防に接続します。



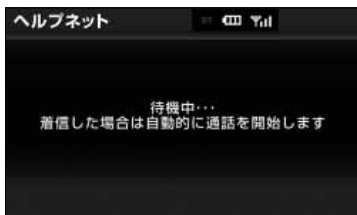
(8) 通話を終了します。

- ヘルプネットセンターが電話回線の切断を行います。



アドバイス

通話中にステアリングスイッチを操作して電話を切ることができます。(ステアリングスイッチ装着車の場合)



(9) 通話終了後、しばらくの間（携帯電話使用時は約10分間、通信モジュール（P.3-1参照）使用時は約30分間）は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になります。

- この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。



警告

呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。

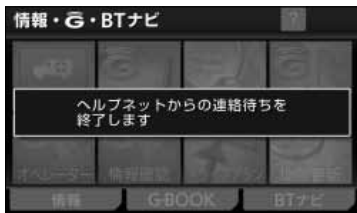
なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機のBluetooth接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。

また、通話中の場合は、Bluetooth接続の切断により、通話も切断されることがあります。



アドバイス

- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、呼び返し待機中に携帯電話本体で電話を受けると、その時点でヘルプネット画面は解除されます。
- 呼び返し待機中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOKオンラインサービスは利用できません。



(10) 呼び返し待機状態が終了します。

- ヘルプネット画面が解除されます。



アドバイス

- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。
音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始時から通話終了までの間は、本機の音声自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOKオンラインサービスは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。

6 保守点検をするには

保守点検は、自動または手動で車内からヘルプネットセンターに接続し、動作確認や契約状態の確認などを行うときに使用します。

保守点検は、次の2種類があります。

自動保守点検（下記参照）

手動保守点検（P.3-50参照）

●自動保守点検

自動保守点検は、本機が定期的に自動で実施する保守点検です。お客様が利用登録されているかの確認を、ヘルプネットセンターがするために実施されます。

自動保守点検を行うための特別な操作は、とくに必要ありません。

自動保守点検は、次の要領で行われます。

■点検時期

（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。

■点検時間

自動保守点検は、開始後1～2分で終了します。

**警告**

ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機をBluetooth接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

**注意**

自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまった場合は、次にエンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

**アドバイス**

自動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOKオンラインサービスは利用できません。この場合、自動保守点検が終了してからご利用ください。

3
G-BOOK
機能

ヘルプ
ネット

●手動保守点検

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

G-BOOK mXの場合、使用する携帯電話を追加・変更したときは、必ず手動保守点検と動作確認を行ってください。

手動保守点検は、次の保守点検を実施します。

●本機の保守点検（本機修理点検や車両修理後の保守点検）

●ヘルプネットセンターに利用登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）

ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機がBluetooth接続されていることを確認してください。

**警告**

- 手動保守点検の途中で、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしてしまった場合は、再度手動保守点検をやり直してください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機をBluetooth接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

GPSマーク



- (1) 現在地画面でGPSの受信（GPSマークが表示されること）を確認します。

- (2)  を押します。

- **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

- (3) **メインメニュー** にタッチします。

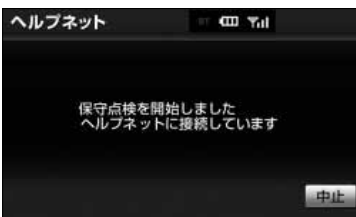


- (4) **保守点検** に約10秒以上タッチし続けます。



- (5) ヘルプネットセンターに接続を開始します。

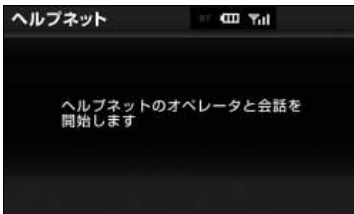
- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- 中止するときは **中止** にタッチします。





(6) ヘルプネットセンターに接続すると、次の確認をするため、最初にデータ通信を行います。

- 車両の現在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに利用登録されているかどうか

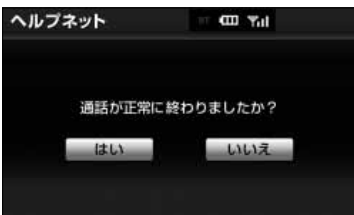


(7) データ通信完了後、通話モードに切り替わります。



(8) マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話します。

- ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。
自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。
“ピー”と鳴ったら、お客様の名前を話してください。
自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。
- 通話音量を調整したいときは、次のいずれかの操作をします。
 - **小** または **大** にタッチする。
 - ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。(ステアリングスイッチ装着車の場合)



- (9) サービス開始操作※時は、通話が正常に終了したら **はい** にタッチします。



警告

手順 (9) で表示された画面で **いいえ** にタッチする、または  などを押して他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



- (10) メッセージが表示され、保守点検を終了します。



- (11)  を押して、情報・G・BTナビ画面 (G-BOOK) に **HELPNET** が表示されていることを確認します。

- **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。



警告

サービス開始操作※で手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。

途中で中断した場合は、基本的に **HELPNET** は表示されませんが、**HELPNET** が表示された場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

**注意**

- 手動保守点検は、正確に位置情報を送れることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPSを受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、エンジンスイッチを一度OFF（LOCK）にし、手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されない場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

**アドバイス**

- 手動保守点検開始時から通話終了までの間は、本機の音声自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOKオンラインサービスは利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。

3
G-BOOK
機能

7 利用登録を解除するには※

G-BOOK mXをご利用の方で、ヘルプネットのみ利用登録を解除したい場合は、次の手順で手続きを行ってください。

なお、ヘルプネット利用登録解除後に再利用登録をする場合は、2年ごとに利用登録料が必要です。料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（<http://g-book.com/>）でご確認ください。

※G-BOOK mX利用時

- (1)  を押します。
 - **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。
- (2) **メインメニュー** にタッチします。
- (3) **G-BOOK.com** にタッチします。
- (4) **ヘルプネットの利用登録と解除** にタッチします。
 - 表示されているメニューは一例です。



ヘル
プ
ネ
ット



(5) **利用登録内容の確認・解除** にタッチします。

(6) 画面の指示にしたがって操作します。

8 携帯電話について

警告

●緊急通報の妨げになる電話機能は利用しないでください。（機能を解除する方法については、携帯電話の取扱書をご覧ください。）

- (1) ダイヤルロック
- (2) 発信を制限もしくは禁止する機能
- (3) ドライブモード
- (4) 着信拒否、着信制限
- (5) 着信転送
- (6) 留守番電話
- (7) 発信者電話番号非通知
- (8) 着信を制限もしくは禁止する機能

※ (1)(2)の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターに電話をかけることができないため、緊急通報が動作せず、危険です。

(3)～(8)の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターからの呼び返しができず、救援困難となる可能性があり危険です。

また、各通信事業者が独自に設定している付加サービス（キャッチホン、三者通話、セレクション、マルチナンバーなど）によっては、緊急通報が正常に動作しない場合があります。

●ヘルプネットはG-BOOKオンラインサービスの通信設定を利用します。

ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話を追加したときは、必ず使用する携帯電話の設定（P.3-118参照）を行ってから、手動保守点検を実施して正常に動作することを確認してください。



アドバイス

ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の通信機能はヘルプネットに優先的に使用されます。このため、次のような場合は携帯電話を使用できません。

- ・携帯電話を使用中の場合でも、緊急通報が開始されると携帯電話の使用を中止します。
- ・緊急通報中は、携帯電話を使用できません。
- ・自動保守点検、手動保守点検のいずれかが先行して通信機能を使用している場合、携帯電話は使用できません。

9 緊急通報できない場合について

次のような場合には、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障があることがあります。

●G-BOOK利用登録・契約の不成立または消滅

- ・未登録の場合
- ・利用登録・契約を解除した場合

●ヘルプネット利用登録の不成立または消滅

- ・サービス開始操作※を完了していない場合
- ・利用登録を解除した場合

●本機または車両関連機器の異常による通信不能

- ・本機（通信モジュール、マイク、スピーカー、接続電気回路など）の故障
- ・バッテリーの電圧低下など、車両関連機器の故障・消耗など
- ・車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、本機または車両関連機器の損傷

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

●緊急通報センターシステムの位置評定エラー

- ・GPSのシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などでGPSでの位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きい場合



アドバイス

ヘルプネットは、本機のGPSから位置情報を取得しています。GPSについては、「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「自車位置精度について」を参照してください。

●ヘルプネットセンター／G-BOOKセンターシステムの異常による通信不能

- ・センターシステムの故障など
- ・センターの火災などによる、センターシステムの損傷

●ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- ・本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置する場合
- ・携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信が不能の場合
- ・携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑した場合など、通話利用もしくは通話時間の制限が行われ、結果としてヘルプネットによる通信ができない場合
- ・通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができない場合
- ・本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止された場合

●緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- ・センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要がある場合
- ・大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中した場合

●その他

- ・ヘルプネットを携帯電話で使用する時、次のような理由で携帯電話が使用できない場合
 - ・携帯電話と本機がBluetooth接続されていない
 - ・携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している
 - ・携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない
 - ・携帯電話が故障している
 - ・携帯電話の料金を滞納しているなど
- ・緊急通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができない場合（緊急通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

10 故障とお考えになる前に

本機が正常に動作しなくなったときは、次の表にしたがって確認してください。
それでも動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、万一異常が起きたら、必ずお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



警告

緊急事態の発生時に通報できない場合は、最寄の公衆電話などから通報してください。

症状	メッセージが表示される場合	処置方法
保守点検 が表示されない	利用開始操作が完了していない。	利用開始操作を実施してください。 (P.3-19参照)
HELPNET が表示されない	サービス開始操作※1が完了していない。	サービス開始操作を実施してください。 (P.3-42参照) ※1
緊急通報できない	動作確認済みの携帯電話を使用していますか？※2	お買い上げの販売店にご確認ください。
	使用する携帯電話の設定をしましたか。※2	使用する携帯電話の設定をしてください。 (P.3-118参照)
	携帯電話で、緊急通報の妨げになる電話機能 を利用していませんか？※2	携帯電話およびネットワークサービスの 発信や着信を制限もしくは禁止する機能を 解除してください。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守 点検を実施してください。(P.3-50参照)
	携帯電話のサービスエリア外で使用していま せんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良好な 場所に移動して、手動保守点検を実施してく ださい。(P.3-50参照)

※1 サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

※2 携帯電話使用時

G-Security (G セキュリティ)

G-Security※は、ドアのこじ開けなどオートアラームの作動を検知した場合、異常をメールや電話でお知らせします。また、車両盗難時はお客様の要請により、車両の位置を追跡し、警備員を現場に派遣します。

※G-BOOK mX Pro利用時

1 G-Securityのご利用に際して

G-Securityを利用するには、次の機器の装着が必要です。

- ・本機
- ・通信モジュール (P.3-1参照)
- ・G-BOOK対応オートアラーム：アラーム通知サービス利用時に必要です。

上記の必要機器を車両に装着された上で、G-BOOK mX Proに申し込みいただくと、次のようなサービスをご利用いただけます。

■アラーム通知 (G-BOOK対応オートアラーム装着車のみ) (P.3-66参照)

お車のオートアラーム作動を検知した場合、お客様へメールと電話でお知らせします。

■エンジン始動通知 (P.3-67参照)

エンジンの始動を検知し、メールでお知らせします。

■車両の位置確認 (P.3-67参照)

お客様の要請により、盗難車の位置を追跡します。

■警備員の派遣 (P.3-67参照)

車両盗難や車上荒らしの際、お客様の要請により、警備員を派遣します。

詳しくは、パソコンや携帯電話のG - BOOKサイト (<http://g-book.com/>) をご覧ください。



アドバイス

G-Securityでは車両の位置情報を使用します。本機が起動していない状態で車両が移動された場合、または電波の届かない場所に車両が移動された場合は、位置情報の変化を確認できません。

Eメールによる通知については遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。

また、G-BOOK利用契約を解除した場合、Eメールによる通知は送信されません。

2 初期設定の確認・変更をするには

アラーム通知（G-BOOK対応オートアラーム装着車のみ）、エンジン始動通知の設定の確認・変更ができます。

●通知設定の一覧（—— は初期値を示します）

サービス名	通知方法	設定	
アラーム通知	電話	<u>設定中</u>	解除中
	Eメール	<u>設定中</u>	解除中
エンジン始動通知	Eメール	設定中	<u>解除中</u>

設定中……………通知します。
解除中……………通知されません。

●サポートアドレス（電話番号／Eメールアドレス）の登録がない場合は、通知されません。（P.3-64参照）

■解除中から設定中へ切り替えるには

- (1)  を押します。
- **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。
- (2) **メインメニュー** にタッチします。





- (3) **セキュリティ** にタッチします。



- (4) 設定したい項目にタッチします。

- 設定の説明画面が表示されるときは内容を確認し、**確認** にタッチします。
- スイッチが **設定中** にかわり、通知設定が切り替わります。

■設定中から解除中へ切り替えるには

- (1) **情報** を押します。
- **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。



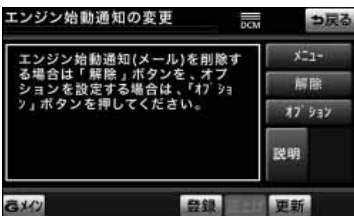
- (2) **メインメニュー** にタッチします。



- (3) **セキュリティ** にタッチします。



(4) 解除したい項目にタッチします。



(5) エンジン始動通知を解除するときは **解除** にタッチします。

- アラーム通知を解除するときは (6) の操作を行います。

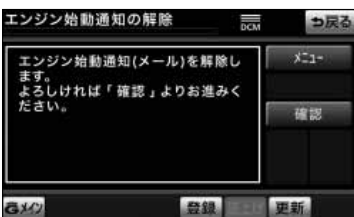


(6) G暗証番号またはパスワードを入力します。

- G暗証番号を登録しているときはG暗証番号表示窓スイッチにタッチします。
- G暗証番号を登録していないときはパスワード表示窓スイッチにタッチします。
- ソフトウェアキーボード (P.1-12参照) で入力します。



(7) **解除** にタッチします。



(8) **確認** にタッチします。

- 設定が **解除中** にかわり、通知設定が切り替わります。

3 サポートアドレスについて

サポートアドレスは、車両の異常を検知した場合に、お客様にご連絡する際必要となる大切な連絡先です。

G-BOOK利用申込書またはWeb登録で入力いただいた電話番号とEメールアドレスが、あらかじめ登録されています。

連絡先に変更があった場合は下記操作で変更してください。

■サポートアドレスを確認・追加・変更するには

- (1)  を押します。
 - **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。



- (2) **メインメニュー** にタッチします。



- (3) **セキュリティ** にタッチします。



- (4) **通知先の設定** にタッチします。



電話番号登録画面

(5) 追加・変更したい項目にタッチします。

- Eメールアドレスを追加・変更するときは **メール** にタッチします。



Eメールアドレス登録画面

- 電話番号を追加・変更するときは **TEL** にタッチします。

(6) 編集画面で入力し **決定** にタッチします。

(7) **完了** にタッチします。



アドバイス

予備メールには、携帯電話またはパソコンのメールアドレスを登録できます。

4 アラーム通知（G-BOOK対応オートアラーム装着車のみ）するには

ドアのこじ開け、車内侵入などのオートアラーム作動※を検知した場合、サポートアドレスに登録してあるEメールアドレスや電話番号に通知します。

※詳しくは、別冊の取扱書をご覧ください。

アラーム通知の設定・解除を行うことができます。（P.3-61参照）

●車外に出た後、ドア・トランクまたはバックドア・ボンネットを閉め、全てのドアをロックした後、30秒以上経過すると自動的にオートアラームが設定されます。

●アラーム通知はサポートアドレスに連絡されます。

●アラーム通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。

さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。（P.3-71参照）

●バッテリーがあがった場合、アラーム通知は行われません。

●車両の室内温度が非常に高いとき、アラーム通知の送信が行われないことがあります。

●通信環境の整わない状況等によりアラーム通知の送信が行われない場合、送信が完了するまで継続されます。

●アラーム通知が未送信状態で、アラームが複数回作動した場合は、最新のアラームを通知します。

●ヘルプネット通報中は、通報が終わるまで、アラーム通知は行われません。

●G-BOOK利用契約を解除した場合、アラーム通知は送信されません。

5 エンジン始動を通知するには

エンジン始動を検知し、ご指定のEメールアドレスに通知します。

また、車両から離れるとき、携帯電話などから設定しておく、第三者によるエンジン始動が分かります。

エンジン始動通知の設定・解除を行うことができます。(P.3-61参照)

- エンジン始動通知はサポートアドレスに連絡されます。
- エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。
さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。(P.3-71参照)
- エンジン始動通知の連絡を受けた後、エンジンスイッチがOFF (LOCK) になったとき、ふたたび通知させることができます。
- エンジン始動通知の連絡を受けた後、10分間隔でふたたび通知させることができます。(24時間経過後、自動解除されます。)

6 車両の位置を確認するには

お客様の要請により、オペレーターが盗難車両の位置を追跡します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。(P.3-71参照)

オペレーターサービス専用電話番号

0561-57-6818
(365日24時間対応)

7 警備員を派遣するには

お車が盗難にあたり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。(P.3-71参照)

オペレーターサービス専用電話番号

0561-57-6818
(365日24時間対応)

- 警備員が出勤してから1時間以内は無料です。1時間を超える場合は、オペレーターから延長するかどうかの確認を行います。延長した場合の利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。
- 警備員は盗難車両の確保はいたしません。追跡調査のみ行います。

8 携帯電話で操作するには

G-Securityの設定・変更は、携帯電話のG-BOOKサイトから行うこともできます。G-Securityの携帯電話での操作について簡単に説明します。

- 携帯電話本体の操作方法は、機種により異なります。
- 画面の内容は変更することがあります。
- G-BOOKのトップページのURLをブックマークとして登録することをお勧めします。
- 表示画面は、携帯電話の機種により異なります。

- (1) G-BOOKトップページへアクセスします。
(<http://g-book.com/>)
- (2) ログインします。(P.3-69参照)
- (3) [G-Security] を選択します。



9 G暗証番号ログインの登録をするには

携帯電話のG-BOOKサイトでG暗証番号ログインの登録を行うと、サイトに簡単にログインできます。

- (1) G-BOOKのトップページへアクセスします。



QRコード※1

- (2) [G暗証番号ログインの登録] を選択します。
- (3) 「携帯電話情報を送信しますか? ※2」の [はい] を選択します。
- (4) IDとパスワードを入力します。
- (5) [送信] を選択します。
- (6) G暗証番号を入力します。※3
- (7) [登録する] を選択します。
- (8) [G-BOOKトップメニュー] を選択します。
- (9) 操作が完了します。

※1 QRコードからアクセスできない場合は、URL (<http://g-book.com/>) からアクセスしてください。

※2 一部機種のみ表示 (メッセージは機種により異なります。)

※3 すでに登録しているときはスキップします。

10 パソコンで操作するには

G-Securityの設定・変更は、パソコンのG-BOOKサイトから行うこともできます。G-Securityのパソコンでの操作について簡単に説明します。

- パソコン本体の操作方法は、機種により異なります。
- 画面の内容は変更することがあります。
- G-BOOKのトップページのURLをブックマークとして登録することをお勧めします。
- 表示画面は、パソコンの機種により異なります。

- (1) G-BOOKのトップページへアクセスします。
(<http://g-book.com/>)
- (2) [ログイン] を選択します。
- (3) IDとパスワードを入力してログインします。
- (4) [G-BOOK設定] を選択します。
- (5) [セキュリティ設定] を選択して、[更新] にて設定・変更を行います。
- (6) 操作が完了します。

オペレーターサービス

1 オペレーターサービスについて

オペレーターサービスは、電話で依頼するだけで、オペレーターがお客様に代わって、ナビゲーションの目的地設定やレストラン／駐車場の検索などを行うサービスです。

■オペレーターサービスメニュー

ドライブサポート.....●ナビの目的地設定 ●施設情報の案内／交通情報の案内
 ●駐車場の案内 ●ニュース／天気予報の配信
 ●電話番号の案内 ●夜間・休日診療機関の案内
 セキュリティサービス.....●オートアラームの作動連絡 ●盗難車両の位置追跡
 (G-BOOK mx Pro契約が必要) ●警備員の派遣手配
 トラブルサポート.....●ロードアシスト24への取次ぎ

	G-BOOK mX	G-BOOK mX Pro
申込	Web登録が必要(有料オプション) 利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコン サイト (http://g-book.com/) でご確認ください。	不要
ハンズフリー	必要	不要
通話料	お客様負担	無料※

※ 携帯電話・固定電話からの通話料は、お客様のご負担になります。

利用料金や詳しいサービス内容については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。



アドバイス

- 本機の時刻データが更新されていないと、オペレーターサービスを利用できません。
 この場合は、GPS信号が受信できる場所に車を移動し、を押して地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。
- ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、オペレーターサービスを利用できません。
- オペレーターサービス中は、ヘルプネット以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、オペレーターサービスを終了してからご使用ください。
- マルチナンバーなど、ひとつの携帯電話に複数の番号が付与されるサービスをご利用の場合、オペレーターサービスが正常に動作しないことがあります。
- 通信モジュールをご利用の場合、電話機選択で携帯電話が選択されていても、オペレーターサービス中は一時的にBluetooth接続が切断されます。

2 オペレーターサービスを購入するには※

利用するには、事前にWeb登録をした上で、コンテンツの購入手続きをします。

※G-BOOK mX利用時

(1)  を押します。

- **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。



(2) **オペレーター** にタッチします。

(3) 画面の指示にしたがって、購入手続きをします。



アドバイス

G-BOOK mX Proをご利用の場合は、オペレーターへの発信のみ可能です。着信やオペレーター以外への発信はできません。※

本機からご利用の場合は通話料は必要ありませんが、携帯電話、自宅やオフィスの電話からご利用の場合、通話料はお客様のご負担になります。

詳しくは、P.3-75の「携帯電話・固定電話から利用する」をご覧ください。

※自動車専用ハンズフリー電話を契約した場合は、着信やオペレーター以外への発信も可能です。

3 オペレーターサービスを使うには

車内よりオペレーターサービスを利用する場合の使用例を紹介します。

- (1)  を押します。

- **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。



- (2) **オペレーター** にタッチします。



- (3) オペレーターに接続します。

- 中止するときには **切断**（携帯電話使用時）、または **中止**（通信モジュール使用時）にタッチします。



- (4) オペレーターと通話します。

- 「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容をオペレーターにお伝えください。



(5) オペレーターとの通話が終了します。

- 自動的に回線が切断されます。



(6) 画面の指示にしたがって操作します。

- 「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、G-BOOKセンターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。

■携帯電話・固定電話から利用するには

いつもご利用の携帯電話、自宅やオフィスの電話からも利用できます。

- (1) オペレーターに電話をかけます。

オペレーターサービス専用電話番号 0561-57-6818 (365日24時間対応)
--

- (2) 利用したい内容を伝えます。

- ドライブサポート
- トラブルサポート

- (3) 本機に情報の送信を依頼した場合は、手動で受信します。

- 携帯電話や固定電話から利用すると、次回エンジンスイッチをACCまたはONにしたときに、情報の受信をお知らせするメッセージが本機に表示されます。画面の指示にしたがって、操作してください。表示されない場合は、手動で情報を取得してください。(P.3-76参照)

**アドバイス**

- ご利用の際は、お申し込み時にサポートアドレスとして登録した番号から、発信者番号通知でかけていただくと、スムーズにご利用いただけます。
- ご本人であることをオペレーターが確認させていただく場合があります。
- 通話料はお客様のご負担になります。

4 手動で情報を取得するには

自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

- (1)  を押します。
 - **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。
- (2) **情報確認** にタッチします。
- (3) メッセージが表示されたら、**はい** にタッチします。



■メッセージが表示されないとき

- (1) **受信一覧** にタッチします。
 - 過去に依頼した情報が表示されます。

G-BOOKとナビの連携機能

1 ナビ連携機能について

ナビ連携機能は、ナビゲーションとG-BOOKセンターを通信でつなぐことにより、リアルタイムな情報を提供し、ナビゲーションを更に有効に活用できる機能です。ナビ連携機能には、次の機能があります。

■渋滞予測（P.3-79参照）

渋滞予測情報を表示します。

■Gルート探索（プローブ情報付）（P.3-85参照）

VICSとプローブコミュニケーション交通情報で最適ルートを案内します。

■Gメモリ地点（P.3-87参照）※

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したGメモリを、本機でGメモリ地点として利用します。

■ドライブプラン（P.3-89参照）※

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで作成したドライブプランを本機で利用します。

■Gで設定（P.3-90参照）※

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで作成したドライブプランや、Gメモリを本機で利用します。

■施設情報表示（P.3-94参照）

施設の情報を表示します。

■G情報マーク表示（P.3-94参照）

G情報マークを表示します。

■G情報マーク連動サービス（P.3-96参照）

G情報マーク連動サービスを利用します。

※G-BOOK mXをWeb登録しないでご利用の場合は、PC・携帯連携の利用手続きが必要です。（P.3-20参照）

●プローブコミュニケーション交通情報について

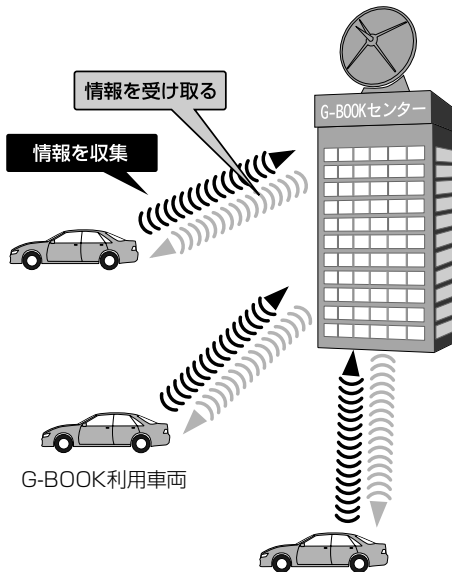
プローブコミュニケーション交通情報とは、G-BOOK利用車両の走行情報をG-BOOKセンターで集約し、G-BOOK利用車両に配信するリアルタイムな交通情報です。G-BOOK利用車両が増えるにつれて、従来の交通情報に比べ、幅広いエリアのリアルタイムな交通情報を提供できるようになります。この情報は、次の機能・サービスに利用されています。

●VICS情報の表示（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「VICSを使うには」参照）

●ルート探索（P.3-85参照）

●到着予想時刻（P.3-83参照）

また、ここで得られた交通情報は、独自の統計処理により地図データベースに格納されており、統計情報として地図上に表示することができます。



2 渋滞予測情報を見るには

G-BOOKセンターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることもできます。今後の旅行の計画を立てるときに利用すると便利です。



渋滞予測情報画面

渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表 示	名 称	内 容
 (赤色)	渋滞	渋滞の区間を示しています。
 (橙色)	混雑	混雑の区間を示しています。
 (黒色)	通行止め区間	通行止めの区間を示しています。
 (灰色)	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。
交通情報提供区間の距離が短い場合は、矢じりを表示しません。

●渋滞予測情報を提供する路線について

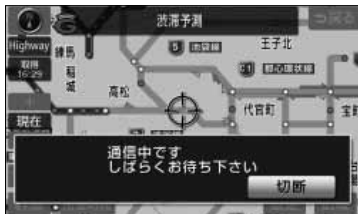
- 都市間高速道路
- 都市高速道路
- 主な有料道路
- 一部の一般道路

松永道路、名阪道路、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど

※情報提供路線は随時更新されます。

■渋滞予測情報を表示するには

- (1)  を押します。
 - **G-BOOK** または **BTナビ** が選択されているときは **情報** にタッチします。
- (2) **渋滞予測** にタッチします。
- (3) G-BOOKセンターに接続し、渋滞予測情報を取得します。
 - 情報の表示および読み上げを行います。
 - 中止するときには **切断**（携帯電話使用時）、または **中止**（通信モジュール使用時）にタッチします。



アドバイス

- 渋滞予測情報の読み上げは、ブラウザの自動読み上げ設定（P.3-102参照）に関係なく、常に読み上げられます。
- 以前に取得した渋滞予測情報が本機に保存されているときは、G-BOOKセンターに接続しないことがあります。
- 極端に遠い距離の渋滞予測情報（到着予想時刻を含む）は、表示されないことがあります。

■渋滞予測時間を変更するには

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

(1) 渋滞予測情報画面で次のいずれかにタッチしてください。



- +** ……渋滞予測時間を進める
- ……渋滞予測時間をもどす
- 現在** ……現在の渋滞状況を表示する



アドバイス

- G-BOOKセンターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。
- 渋滞予測時間を変更したとき、その時間の渋滞予測情報を取得していないときは、G-BOOKセンターに接続して渋滞予測情報を取得します。

■渋滞増減予測を表示するには

渋滞予測画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。

また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。渋滞増減予測アイコンのON（表示する）／OFF（表示しない）を選択できます。

- (1) 情報・G・BTナビ画面（情報）（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「情報画面について」参照）で **渋滞予測** にタッチします。



- (2) **設定** にタッチします。



作動表示灯

- (3) **渋滞増減予測表示** にタッチします。

- アイコン表示がONのときは、作動表示灯が点灯します。
- アイコンを表示しないときは、再度 **渋滞増減予測表示** にタッチします。

アイコン



(4) 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンにタッチします。

- 渋滞情報を読み上げます。

アイコン	内 容
	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。



アドバイス

- 渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によっては、表示されないものもあります。
- 渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

■ 渋滞予測地図の縮尺を切り替えるには

渋滞予測画面の地図は、通常の地図と同様に地図の縮尺を切り替えることができます。



到着予想時刻

(1) **広域** または **詳細** にタッチします。

- ルートが設定されているときは、もっとも詳細な縮尺に切り替えると、地図上にIC毎の到着予想時刻が表示されます。



アドバイス

もっとも詳細な縮尺で表示される到着予想時刻は、3時間先以降は到着予想時刻設定（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「ナビ詳細設定を行うには」参照）で設定した車速から計算されます。そのため、渋滞予測情報から計算される到着予想時刻にくらべると、誤差が広がることがあります。

■区間所要時間予測を表示するには

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要時間予測を行います。

ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。



区間所要時間予測表示

(1) 情報・G・BTナビ画面（情報）（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「情報画面について」参照）で **渋滞予測** にタッチします。

(2) **所要時間** にタッチします。

● G-BOOKセンターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。

(3) 区間所要時間予測表示を解除するときは、**終了** または **戻る** にタッチします。



アドバイス

- 区間所要時間予測表示は、出口ICまでの距離が遠い場合、出口ICまで表示されないことがあります。
- 渋滞予測画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される内容は、それぞれ独自で処理するため異なる表示をすることがあります。

3 Gルート探索（プローブ情報付）をするには

G-BOOKセンターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探査し、ご案内します。全ルート図表示画面と再探索画面で使うことができます。



アドバイス

- 渋滞予測は突発で起こる現象（事故など）および規制などは予測しておりません。
- 旅行時間データが提供されていない路線については、Gルート探索を実行してもルートが変わりません。
- Gルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。
- 広域の渋滞予測情報は、再探索に利用する他に、現在地周辺の渋滞情報を表示するために利用されます。

3
G-BOOK
機能

G-BOOKとナビの連携機能

■全ルート図表示画面からGルート探索するには

ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面から、Gルート探索することができます。



(1) ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で **Gルート** にタッチします。

- G-BOOKセンターに接続し、Gルート探索を行います。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。
- 通常のルート探索をしたルートにもどすときは **元ルート** にタッチします。



アドバイス

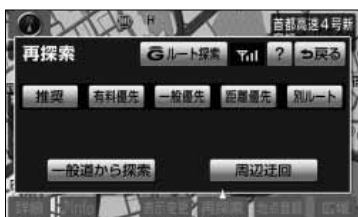
- 目的地案内開始後は、全ルート図表示画面からGルート探索させることはできません。
この場合、**再探索** - **Gルート探索** の順にタッチすると、Gルート探索することができます。
- 広域の渋滞予測情報が本機に保存されていれば、**元ルート** にタッチしたあとに **Gルート** にタッチしても、G-BOOKセンターに接続されません。
- Gルート探索後にIC指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。

■再探索でGルート探索するには

再探索するとき、Gルート探索することができます。



(1) 現在地画面で **再探索** にタッチします。



(2) **Gルート探索** にタッチします。

- G-BOOKセンターに接続し、Gルート探索を行います。
- Gルート探索情報の取得を中止するときは **再探索** ー **取得中止** の順にタッチします。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。

■Gルート情報の取得を自動継続するには

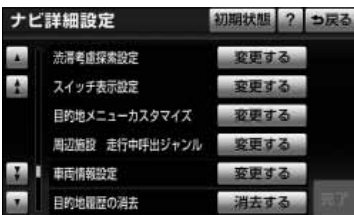
Gルート情報（広域の渋滞予測情報）の取得を自動継続に設定すると、次のタイミングで自動で取得できます。

- 定期的にG-BOOKセンターに接続
- JCT手前や高速道路に乗る手前などでG-BOOKセンターに接続

Gルート情報の取得方法について、自動継続のON（する）／OFF（しない）を選択できます。

設定はナビ詳細画面から行います。（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「ナビ詳細設定を行うには」参照）

(1) ナビ詳細設定画面で **ルート系設定** にタッチします。



(2) 渋滞考慮探索設定の **変更する** にタッチします。



(3) Gルート情報自動継続の **する** にタッチします。

● 解除するときは **しない** にタッチします。



アドバイス

携帯電話でG-BOOKセンターに接続するときの確認メッセージを表示する／しないは、通信設定の通信接続時の確認の項目（P.3-118参照）で選択することができます。

4 Gメモリ地点の情報を見るには

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したGメモリを、本機のメモリ地点に登録したものを「Gメモリ地点」といいます。一度Gメモリ地点に登録すると、G-BOOKセンターに接続しなくても、Gメモリを呼び出すことができます。

■Gメモリ地点を登録するには

Gメモリを本機に登録するときは、次のいずれかの方法で行ってください。

●本機から登録するには

- (1) 本機でG-BOOK.comコンテンツを表示し、詳細情報が表示されている画面で**Gメモリ**にタッチします。
 - パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトのGメモリ、および本機のGメモリ地点に地点情報が登録されます。

●Gで設定を使って登録するには

P.3-93の「Gメモリを一括ダウンロードするには」を参照してください。

■Gメモリ地点を表示するには

Gメモリ地点として登録した地点情報は、メインメニューから呼び出すことができます。



- (1) メインメニュー画面 (P.3-98参照) で **Gメモリ地点情報** にタッチします。



- (2) Gメモリ地点名称にタッチします。
 - Gメモリ地点情報が表示されます。
- (3) ブラウザ画面に切り替わります。
 - G-BOOK.comコンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。



アドバイス

- Gメモリ地点は、ナビゲーションのメモリ地点と同様に、メモリ地点が呼び出せるナビゲーションの画面からも呼び出すことができます。また、名称読みが登録してあれば、音声認識を使用することもできます。
- 同一のGメモリ地点は、上書き登録されます。ただし、音声認識で使用する名称読みが登録してある場合、その情報は保持されます。
- Gメモリ地点は、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。
修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。
ただし、修正できるのは「自宅・特別メモリに種別変更」と「名称読み」に限定されます。詳しくは、「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「メモリ地点を登録・修正・消去するには」を参照してください。

3 G-BOOK 機能

5 ドライブプランを利用するには

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトでドライブプランを作成しておく、本機にダウンロードするだけで経路地および目的地が設定できます。

(1)  を押します。

- **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。



(2) **ドライブプラン** にタッチします。



(3) **Myルート** にタッチします。



(4) 設定したいルートにタッチします。

(5) ドライブプランをダウンロード後、経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始します。



アドバイス

- 目的地が設定されているときにドライブプランで目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。
なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。
- ドライブプランは次のサービスからも利用できます。
 - ・ Myリクエスト (P.3-125参照)
 - ・ Gで設定 (下記参照)

6 Gで設定について

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで作成したドライブプランやGメモリを、本機で利用することができます。



アドバイス

目的地が設定されているときに **Gで設定** で目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。
なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。

3
G-BOOK
機能

G-BOOKとナビの連携機能

■Gで設定画面を表示するには

(1)  を押します。

(2) **Gで設定** にタッチします。



Gで設定画面から、次の機能を利用できます。

- ドライブプラン（Myルート） 下記参照
- Gメモリ P.3-92
- G-BLOG P.3-92
- Gメモリー一括ダウンロード P.3-93

●ドライブプランを利用するには

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトでドライブプランを作成しておくこと、本機にダウンロードするだけで経由地および目的地が設定できます。

(1) Gで設定画面で **ドライブプラン（Myルート）** にタッチします。



(2) 設定したいドライブプランにタッチします。



(3) **はい** にタッチします。

(4) **案内開始** にタッチすると、ルート探索を開始します。



●Gメモリを利用するには

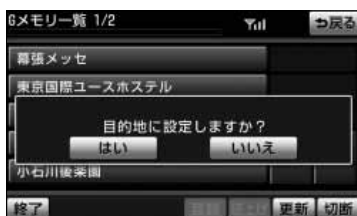
パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したGメモリを呼び出して、ナビの目的地に設定できます。ナビのデータベースに収録されていない地点が利用できるようになります。



- (1) Gで設定画面で **Gメモリ** にタッチします。



- (2) 目的地に設定したいGメモリにタッチします。



- (3) **はい** にタッチします。
(4) 目的地が設定され、ルート探索を開始します。

●G-BLOGを利用するには

GAZOO.comのユーザーが紹介するスポット情報や口コミ情報を検索し、目的地に設定できます。

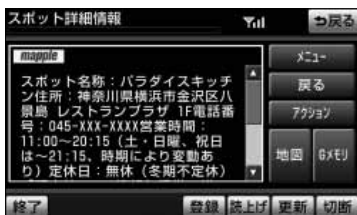


- (1) Gで設定画面で **G-BLOG** にタッチします。



(2) 目的に合わせて検索します。

(3) 画面の指示にしたがって操作します。



(4) スポット詳細情報画面で **地図** にタッチします。



(5) **目的地セット** にタッチします。

(6) 目的地が設定され、ルート探索を開始します。

●Gメモリを一括ダウンロードするには

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したGメモリを一度本機に一括ダウンロードすると、次からはG-BOOKセンターに接続しなくてもナビのメモリ地点（Gメモリ地点）として常にご利用することができます。



(1) Gで設定画面で **Gメモリ一括ダウンロード** にタッチします。

(2) ダウンロード完了の画面が表示されます。

● Gメモリ地点として利用できます。詳しくは、P.3-87の「**Gメモリ地点の情報を見るには**」を参照してください。

7 施設の情報を表示するには

地図上にG-BOOK.comコンテンツから取得したアイコンが表示されているときは、その施設の情報を見ることができます。



(1) アイコンにタッチします。



(2) **情報** にタッチします。

(3) ブラウザ画面に切り替わります。

- 詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

8 G情報マークを表示するには

G情報マーク



G情報マークは、G-BOOK.comコンテンツが提供する地点情報です。

通常は、情報を取得すると自動でG情報マークが地図に表示されます。

G情報マークが表示されていないときは、次の手順で表示することができます。

3
G-BOOK
機能

G-BOOKとナビの連携機能



- (1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。



- (2) **周辺施設** にタッチします。

作動表示灯



- (3) **G情報マーク表示** にタッチします。

- 取得済みのG情報マークが表示されます。
- G情報マーク表示がONのときは、作動表示灯が点灯します。
- G情報マーク表示を解除するときは再度 **G情報マーク表示** にタッチします。
- ナビ詳細設定の周辺施設表示設定（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「ナビ詳細設定を行うには」参照）からも設定することができます。



アドバイス

G情報マーク表示 で表示／非表示を切り替えることができるG情報マークは、次のいずれかになります。

- ・ パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトのGメモリを表示させたG情報マーク
- ・ Myリクエストなどで、G-BOOK.comコンテンツを利用して表示させたG情報マーク

なお、Gメモリ地点のG情報マークは常に表示され、非表示にすることはできません。

9 G情報マークの表示種類について

G-BOOK.comコンテンツで取得したG情報マークには以下の種類があります。G情報マークは、表示／非表示を設定できます。(P.3-94参照)



マーク	内容	
	G-BOOK.comコンテンツから取得した施設や地点情報	
(赤色)	G-駐車場	満車
(橙色)		混雑
(黒色)		空車
(灰色)		満空情報なし
		車両制限の可能性あり
		休止中



アドバイス

G-駐車場のこだわり検索では、設定した優先順位に合わない駐車場を薄い色のマークで表示します。

10 G情報マーク連動サービスについて

G情報マーク連動サービスを利用すると、現在地が近接案内情報を持つ施設などに近づくとき、その施設などの情報を読み上げ、G-BOOKセンターから情報を取得します。ナビ詳細設定のG情報マーク連動サービス※で **する** を選択しているときに利用することができます。

※G-BOOK利用契約をされているときに操作できます。

3
G-BOOK
機能

G-BOOKとナビの
連携機能

●G情報マーク連動サービスを利用するコンテンツ

■G駐車場

オペレーターに目的地周辺の駐車場情報の送信を依頼した場合に、目的地に近づくとき最新の満空情報に自動で更新されます。表示される駐車場のマークについては「G情報マークの表示種類について」(P3-96参照)をご覧ください。



アドバイス

- ナビ詳細設定のG情報マーク連動サービスの設定は、初期状態では「する」が選択されています。
- 近接案内は、G情報マークの地点情報を取得していれば、マークの表示に関係なく行われます。また、マークが表示されていない場合でも、近接案内が行われるとマークが自動で表示されます。
- 近接案内情報の読み上げは、ブラウザの自動読み上げ設定 (P.3-102参照) に関係なく、常に読み上げられます。
- 近接案内情報の読み上げ中の操作は、Myリクエスト (P.3-125参照) と同様です。
- 近接案内中に別の近接案内対象施設に近づいたときは、案内中の近接案内は中止され、次の近接案内に切り替わります。
- 携帯電話で接続するときは、G情報マーク連動サービスで「する」を選択すると、携帯電話が正しく接続されている場合に近接案内が行われます。

■G情報マーク連動サービスの設定をするには

G情報マーク連動サービスは、サービスをON (する) にするか、OFF (しない) にするか選ぶことができます。

設定はナビ詳細設定画面から行います。「[ナビゲーション取扱書 詳細版]」の「ナビ詳細設定を行うには」参照)



(2) G情報マーク連動サービスの「する」にタッチします。

- 解除するときは「しない」にタッチします。

(1) ナビ詳細設定画面で「案内表示設定」にタッチします。

メインメニュー

1 メインメニュー画面の使い方

メインメニューは、G-BOOKオンラインサービスの各コンテンツを利用するメニューです。

- (1)  を押します。

● **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

- (2) **メインメニュー** にタッチします。



3
G-BOOK
機能

メインメニュー

	スイッチ	機能
①	G-BOOK.comスイッチ	G-BOOKセンターに接続し、ブラウザ画面（P.3-99参照）が表示され、G-BOOK.comコンテンツが閲覧できます。
②	Gメモリ地点情報スイッチ	Gメモリ地点情報のリスト画面を表示します。（P.3-88参照）
③	コンテンツスイッチ	該当のサービスにアクセスできます。 表示されるスイッチは、ご利用のサービスにより異なります。
④	ページ切り替えスイッチ	ページを切り替えます。
⑤	開覧履歴スイッチ	開覧履歴画面（P.3-104参照）を表示します。
⑥	ブックマークスイッチ	ブックマーク画面（P.3-106参照）を表示します。
⑦	保守点検スイッチ	ヘルプネットの手動保守点検を実施します。（P.3-50参照）
⑧	切断スイッチ※	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 切断されているときは、スイッチの色が反転し、タッチしても操作できなくなります。

※携帯電話使用時



アドバイス

- Gメモリ地点は、同じ内容がナビのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビのメモリ地点画面で行ってください。（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「メモリ地点を登録・修正・消去するには」参照）
- G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

2 ブラウザ画面を操作するには

ブラウザは、G-BOOKオンラインサービスの各種コンテンツの表示や操作を行います。ブラウザ画面には、コンテンツ閲覧中に表示される画面と、コンテンツ読み上げ中に表示される画面があります。

●閲覧中の操作

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。

各スイッチはブラウザ表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあります。



	スイッチ	機 能
①	Gメイン/終了スイッチ	Gメイン ……メインメニュー画面にもどります。 終了 ……ブラウザ画面を終了し、ブラウザ表示前の画面にもどります。
②	登録スイッチ	表示中のページをブックマークに登録できます。 登録したブックマークを表示するときはP.3-107の「ブックマークしたコンテンツを見るには」を参照してください。

	スイッチ	機 能
③	読上げスイッチ	読み上げを開始します。 読み上げ情報がないときは、スイッチの色が反転し、タッチしても操作できなくなります。
④	更新／中止スイッチ	更新 ……コンテンツの再読み込みをして画面を更新します。 (コンテンツの読み込みが完了、または中断しているときに表示されます。) 中止 ……コンテンツの読み込みを中止します。 (コンテンツの読み込み中に表示されます。)
⑤	切断スイッチ※	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 切断されているときは、スイッチの色が反転し、タッチしても操作できなくなります。
⑥	スクロールスイッチ	表示中のページが画面に収まらないとき、スクロールバーにタッチすると画面が移動します。 タッチし続けると、連続して画面が移動します。 走行中はスクロール操作できません。

※携帯電話使用時

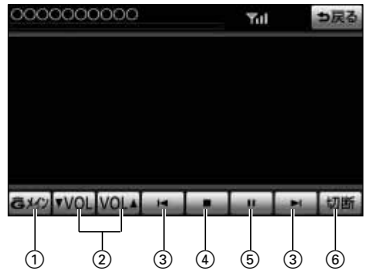


アドバイス

- 読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。(P.3-102参照)
- コンテンツの読み込み中に**中止**にタッチしたり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。
 - ・ **更新** にタッチして、コンテンツを再取得する。
 - ・ **戻る** にタッチしていったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。
- G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

●読み上げ中の操作

読み上げ情報があるコンテンツの読み上げ中は、次の操作ができます。



	スイッチ	機 能
①	Gメインスイッチ	メインメニュー画面にもどります。
②	音量調整スイッチ	コンテンツを読み上げるときの音量が調整できます。 ▼VOL ……音量が小さくなります。 VOL▲ ……音量が大きくなります。
③	前項目／次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更できます。 ◀ ……読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめます。 前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、◀ にタッチしてから約1秒以内に再度タッチしてください。 ▶ ……次の項目の先頭から読み上げをはじめます。
④	停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどります。
⑤	ポーズ／再開スイッチ	⏸ ……コンテンツの読み上げを一時停止します。 (読み上げ中に表示されます。) ▶ ……読み上げていた項目の頭から読み上げを再開します。 (読み上げ一時停止中に表示されます。)
⑥	切断スイッチ※	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 切断されているときは、スイッチの色が反転し、タッチしても操作できません。

※携帯電話使用時



アドバイス

G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

●ブラウザの設定

G-BOOK詳細設定で、次の項目を設定することができます。

- (1)  を押します。
- (2) **G-BOOK** にタッチします。
- (3) **G-BOOK詳細設定** にタッチします。



G-BOOK詳細設定画面

3
G-BOOK
機能

■ブラウザの自動読上げを設定するには

ブラウザで読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをすることができます。ブラウザの自動読上げの **する** にタッチすると、設定されます。

●解除するときは **しない** にタッチします。

■読上げ速度を設定するには

読み上げが聞き取りづらいとき、読み上げの速度を設定することができます。

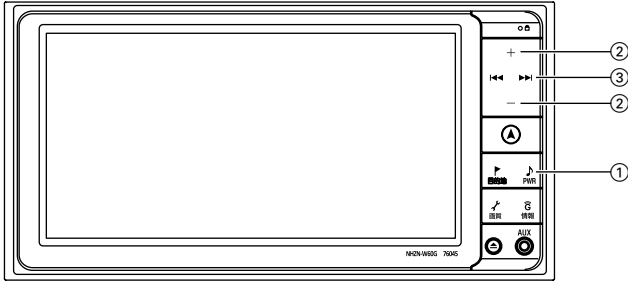
標準 ……………標準の速度で読み上げます

ゆっくり ……………ゆっくり読み上げます

設定が終わったら、**完了** にタッチします。

メ
イ
ン
メ
ニ
ュ
ー

●本機のスイッチでの操作



	スイッチ	機 能
①	AUDIO・PWRボタン	コンテンツの読み上げを停止します。
②	VOLボタン	コンテンツの読み上げ音量を調整します。 + ……音量が大きくなります。 - ……音量が小さくなります。
③	TUNE・TRACKボタン	コンテンツの読み上げの開始位置を変更します。 ▶▶ ……次の項目の先頭から読み上げをはじめます。 ◀◀ ……読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめます。 前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは ◀◀ を押してから1秒以内に再度押します。

●ステアリングスイッチでの操作※

ブラウザ画面はステアリングスイッチからも操作することができます。
ステアリングスイッチの操作については、P.6-1の「ステアリングスイッチ」を参照してください。
※ステアリングスイッチ装着車

3 閲覧履歴からコンテンツを表示するには

閲覧履歴には、これまでにブラウザで閲覧したコンテンツのタイトルが、閲覧した日付が新しいものから順に保存されています。以前に閲覧したコンテンツを再度閲覧したい場合に使用すると便利です。

閲覧履歴は、最大100件まで登録されます。100件以上になると、古いものから順に削除されます。

■ 閲覧履歴からコンテンツを表示するには

- (1) メインメニュー画面（P.3-98参照）で **閲覧履歴** にタッチします。



- (2) 閲覧したいコンテンツにタッチします。

- リストは最近閲覧したコンテンツの順に表示されます。
- リストの先頭に移動するときは **最新** にタッチします。

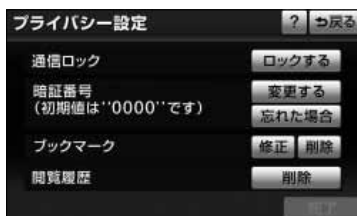
3
G-BOOK
機能

メ
イ
ン
メ
ニ
ュ
ー

■閲覧履歴を削除するには

閲覧履歴は100件以上になると古いものから順に削除されますが、任意で履歴を削除することもできます。

- (1)  を押します。
- (2) **G-BOOK** にタッチします。
- (3) **プライバシー設定** にタッチします。
- (4) 閲覧履歴の **削除** にタッチします。



- (5) 削除したい閲覧履歴にタッチします。
● すべての履歴を削除するときは **全削除** にタッチします。
- (6) **はい** にタッチします。

4 ブックマークを使うには

ブラウザで表示しているページをブックマークに登録することができます。
ブックマークは、閲覧履歴のように古いものから順に削除されることがありません。
そのため、再度閲覧したいページがあるときなどに使用すると、ブックマーク画面から簡単にそのページを表示することができます。
また、登録したブックマークのタイトルは、あとで修正することができます。
ブックマークは最大50件まで登録できます。



アドバイス

ページによっては、ブックマークに登録できないことがあります。そのようなページでは、登録スイッチの色が反転し、タッチしても操作することができません。

■ブックマークに登録するには

(1) ブラウザ画面（P.3-99参照）で、ブックマークに登録したいページを表示します。

(2) **登録** にタッチします。



(3) 同じブックマークが登録されているときはメッセージが表示されます。
置き換えてもよければ、**はい** にタッチします。



■ブックマークしたコンテンツを見るには



(1) メインメニュー画面 (P.3-98参照) で

ブックマーク にタッチします。



(2) 希望のブックマークにタッチします。

- リストは登録順と閲覧順の2種類の並べ方をさせることができます。

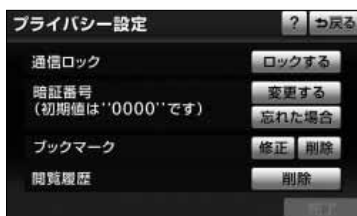
登録順 ……ブックマークに登録した日時が新しいものから順に並べます。

閲覧順 ……コンテンツを最後に閲覧した日時が新しいものから順に並べます。

■ブックマークの修正をするには

ブックマークのタイトルは、ブックマークを探しやすくするなどの目的で、お好みのタイトルに変更することができます。

- (1)  を押します。
- (2) **G-BOOK** にタッチします。
- (3) **プライバシー設定** にタッチします。
- (4) ブックマークの **修正** にタッチします。



- (5) 修正したいブックマークにタッチします。



- (6) **タイトル** にタッチします。



- (7) タイトルを修正します。

- ソフトウェアキーボード (P.1-12参照) で入力します。



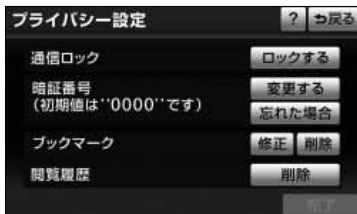


- (8) **完了** にタッチします。

■ブックマークを削除するには

ブックマークは、最大50件まで登録できます。最大登録件数を超えて登録しようとした場合はメッセージが表示されます。この場合は、不要なブックマークを削除してから登録してください。

- (1)  を押します。
- (2) **G-BOOK** にタッチします。
- (3) **プライバシー設定** にタッチします。
- (4) ブックマークの **削除** にタッチします。

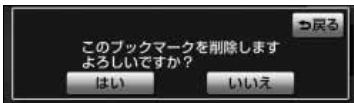


- (5) 削除したいブックマークにタッチします。

- すべてのブックマークを削除するときは **全削除** にタッチして、(7) の手順を操作します。



(6) **削除** にタッチします。



(7) **はい** にタッチします。

G-BOOKの設定をするには

1 設定・編集画面（G-BOOK）を表示するには

G-BOOKオンラインサービスを利用するときの各種設定は、設定・編集画面から行います。

- (1)  を押します。

- (2) **G-BOOK** にタッチします。

設定・編集画面で、次の項目を設定することができます。

- | | |
|-------------|---------|
| ●プライバシー設定 | 下記参照 |
| ●通信設定※ | P.3-117 |
| ●G-BOOK詳細設定 | P.3-120 |
| ●Myリクエスト編集 | P.3-130 |
| ●G-SOUND削除 | P.3-139 |
| ※携帯電話使用時 | |



設定・編集画面（G-BOOK）

2 プライバシー設定をするには

プライバシーに関する各種設定をすることができます。

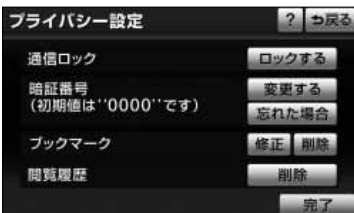
- (1) 設定・編集画面（G-BOOK）で **プライバシー設定** にタッチします。



- (2) 各項目を設定します。

- | | |
|------------------|---------|
| ●暗証番号を変更する | P.3-112 |
| ●通信ロックを使う | P.3-115 |
| ●ブックマークの修正と削除をする | P.3-108 |
| | P.3-109 |
| ●ブラウザ閲覧履歴を削除する | P.3-105 |

- (3) 設定が終わったら、**完了** にタッチします。



●暗証番号

暗証番号は、通信ロック（P.3-115参照）したときに、ロックを解除するために入力が必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

- **暗証番号は4桁の数字です。**初期設定は「0000」になっています。

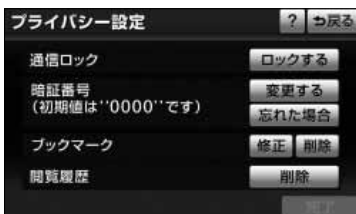
暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

- **質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。**（P.3-114参照）

質問とその回答は、お客様以外にわかりにくい内容にしておいてください。

暗証番号を変更するときも、同様の操作で行なうことができます。

■暗証番号を変更するには



- (1) プライバシー設定画面で、暗証番号の **変更する** にタッチします。

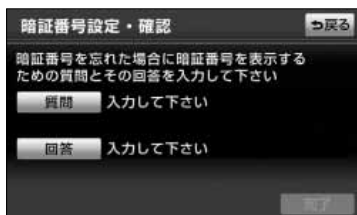


- (2) 現在の暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。
 - はじめて設定するときには「0000」を入力します。
 - 変更するときには設定してある暗証番号を入力します。
 - 間違えたときは **修正** にタッチします。
 - 暗証番号を忘れたときはP.3-114の「**暗証番号を忘れたとき**」を参照してください。



(3) 新しく設定したい暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。

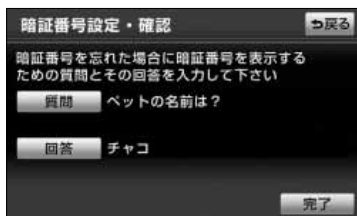
(4) 新しい暗証番号の確認のため、再度新しく設定したい暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。



(5) **質問**、**回答** にタッチして、それぞれ入力します。



(6) ソフトウェアキーボード (P.1-12参照) で入力します。



(7) **完了** にタッチします。

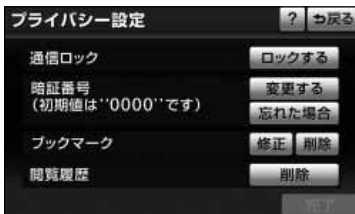


アドバイス

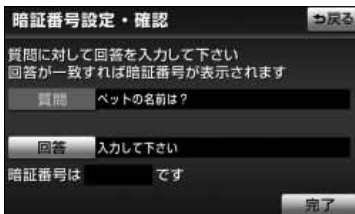
完了 にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。

- エンジンスイッチをOFF (LOCK) にする。
- エンジンをかけなおす。

■暗証番号を忘れたとき



- (1) プライバシー設定画面で、暗証番号の **忘れた場合** にタッチします。

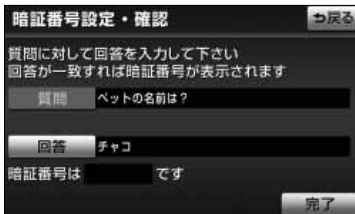


- (2) **回答** にタッチします。



- (3) 回答を入力します。

- ソフトウェアキーボード (P.1-12参照) で入力します。



- (4) **完了** にタッチします。

- 回答が一致すると、暗証番号が表示されます。

- (5) 暗証番号を確認したら、**完了** にタッチします。

●通信ロック

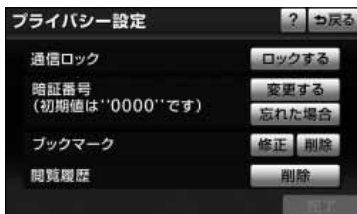
通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限することができます。
他人に車を貸す場合など、G-BOOKオンラインサービスを触らせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。

○：利用できます。
×：利用できません。

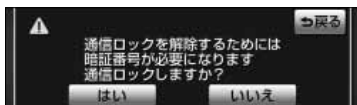
機 能		動 作
ヘルプネット		○
メインメニュー	G-BOOK.com	×
	閲覧履歴	×
	ブックマーク	×
Myリクエスト		×
オペレーターサービス		×
G-SOUND	G-SOUND（試聴・利用手続き）	×
	G-SOUNDコピー	○
CDタイトル情報取得		×
G-BOOKと ナビの連携機能	渋滞予測	×
	Gルート探索	×(プローブコミュニケーション交通情報を含む)
	Gメモリ地点	○(保存済みデータのみ)
	ドライブプラン	×
	Gで設定	×
	施設情報表示	×
	G情報マーク連動サービス	○(情報の読み上げのみ)
マップオンデマンド（地図更新）※		×(携帯電話または通信モジュールで更新するとき)

※「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「地図データの更新について」を参照してください。

■ロックするには



- (1) プライバシー設定画面で、通信ロックの **ロックする** にタッチします。



- (2) **はい** にタッチします。



アドバイス

- 通信ロックを使用するような場合は、ハンズフリーの発信制限も合わせてご利用ください。(P.2-64参照)
- 通信ロックを解除するときは、暗証番号が必要になります。暗証番号については、P.3-112の「**暗証番号を変更するには**」を参照してください。

■解除するには



- (1) プライバシー設定画面で、通信ロックの **解除する** にタッチします。



- (2) 暗証番号を入力し、 **完了** にタッチします。

3 通信設定をするには

携帯電話でデータ通信を行う場合、通信に関する各種設定をすることができます。



- (1) 設定・編集画面（G-BOOK）（P.3-111参照）で
通信設定 にタッチします。



- (2) 各項目を設定します。

- 使用する携帯電話の通信設定をする P.3-118
- 通信接続時の確認 P.3-118
- 自動通信の設定 P.3-119

- (3) 設定が終わったら、**完了** にタッチします。



アドバイス

- **完了** にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
 - ・ エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする。
 - ・ エンジンをかけなおす。
- 次の項目は携帯電話毎に設定が保持されます。
 - ・ 使用する携帯電話の設定
 - ・ 通信接続時の確認

■使用する携帯電話の設定をするには

次のような場合は、必ず使用する携帯電話の設定を確認してください。

- 携帯電話を初めて接続するとき
 - 携帯電話の機種を変更したとき
 - バッテリーの接続が断たれたとき
 - ハンズフリーで使用する携帯電話を変更したとき
- 通信事業者の設定が間違っていると、G-BOOKオンラインサービスを利用できません。



- (1) 通信設定画面で使用する携帯電話の通信事業者を選択します。

au	auのパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
FOMA	FOMAのパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
SoftBank	SoftBankのパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
通信に利用しない	携帯電話をハンズフリー通話のみに使用する場合

- ※auはKDDI株式会社の商標または登録商標です。
 ※「FOMA／フォーマ」は株式会社NTTドコモの商標です。
 ※SoftBankはソフトバンクモバイル株式会社の商標です。

■通信接続時の確認の設定をするには

携帯電話でG-BOOKセンターへ接続するときに、確認のメッセージを表示することができます。

- (1) 通信設定画面で通信接続時の確認の **する** にタッチします。

- 解除するときは **しない** にタッチします。



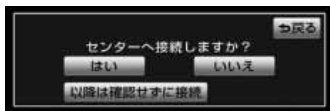


アドバイス

- 接続確認画面で **以降は確認せずに接続** にタッチすると、次回接続時以降は、接続確認画面が表示されません。

このとき、通信接続時の確認は **しない** に設定されます。

再度表示したいときは、通信接続時の確認を **する** に設定してください。



- 通信接続時の確認を **しない** に設定すると、画面に「自動で通信する場合があります」と表示されます。これは、自動で通信するサービスを利用したとき、お客様が気付かないところで通信料金が発生する場合がありますをご確認いただくためのものです。

3 G-BOOK 機能

■自動通信の設定をするには

携帯電話による自動通信をすることができます。

- (1) 通信設定画面で自動通信の **する** にタッチします。

- 解除するときは **しない** にタッチします。



アドバイス

電話機選択 (P.2-37参照) で携帯電話を変更すると、自動通信の設定も **する** に変更されます。

しない を選択していた場合は、設定しなおしてください。

自動通信の設定を **しない** に設定しても、Gルート情報自動継続の設定 (P.3-86参照) により自動で通信する場合があります。

4 G-BOOK詳細設定をするには

G-BOOKに関する各種設定をすることができます。



- (1) 設定・編集画面 (G-BOOK) (P.3-111 参照) で、**G-BOOK詳細設定** にタッチします。



- (2) 各項目を設定します。

- ブラウザの自動読上げ P.3-102
- 読上げ速度の選択 P.3-102
- 単語の編集 下記参照
- 定型文の修正 P.3-123
- 入力履歴の削除 P.3-123
- 予測変換候補の表示設定 P.3-124
- 契約の解除手続き P.3-32

- (3) 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

■単語の編集をするには

読みと単語を指定して、本機の辞書に変換候補対象となる単語を追加することができます。また、追加した単語を修正・削除することができます。

●単語を追加するには



- (1) G-BOOK詳細設定画面で、単語の編集の **追加** にタッチします。



- (2) **読み** および **単語** にタッチして、それぞれ入力します。

- ソフトウェアキーボード (P.1-12参照) で入力します。
- 句読点などの読みの先頭に使用できない文字を入力したときは、メッセージが表示され、読みを登録できません。



- (3) **完了** にタッチします。

●単語を修正するには



- (1) G-BOOK詳細設定画面で、単語の編集の **修正** にタッチします。

- (2) 修正したい単語の右側にある **修正** にタッチします。



(3) **読み** および **単語** にタッチして、修正します。

- ソフトウェアキーボード (P.1-12参照) で入力します。
- 句読点などの読みの先頭に使用できない文字を入力したときは、メッセージが表示され、読みを修正できません。

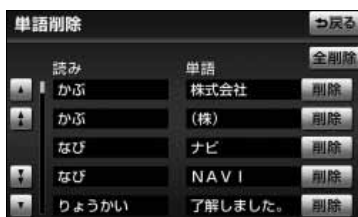


(4) **完了** にタッチします。

- 引き続き単語の修正をするときは (2) ~ (4) を繰り返します。

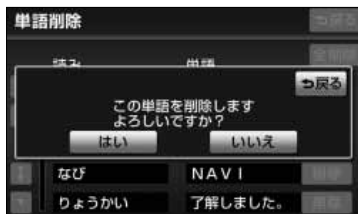
●単語を削除するには

(1) G-BOOK詳細設定画面で、単語の編集の **削除** にタッチします。



(2) 削除したい単語の右側にある **削除** にタッチします。

- すべての単語を削除するときは **全削除** にタッチします。



(3) **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると、元の画面にもどります。

■定型文を修正するには

本機に登録されている定型文を修正することができます。ただし、新規の文章を追加で登録することはできません。



- (1) G-BOOK詳細設定画面で、定型文の修正の

修正する にタッチします。

- 定型文修正画面が表示されます。



- (2) 修正したい定型文にタッチします。

- (3) 定型文を編集して、**完了** にタッチします。

- ソフトウェアキーボード (P.1-12参照) で入力します。
- 定型文は全角で最大17文字まで入力することができます。

■入力履歴を削除するには

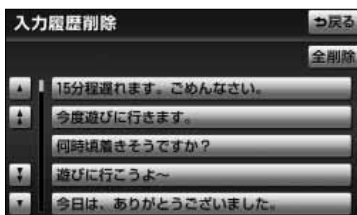
入力した単語や文章の履歴を削除することができます。



- (1) G-BOOK詳細設定画面で、入力履歴の削除の

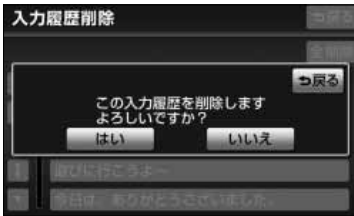
削除する にタッチします。

- 入力履歴削除画面が表示されます。



- (2) 削除したい入力履歴にタッチします。

- すべての入力履歴を削除するときは、**全削除** にタッチします。



(3) **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると、元の画面にもどります。

■予測変換候補を表示するには

単語や文章を入力する際に、予測変換候補を表示するかしないか設定することができます。



(1) G-BOOK詳細設定画面で、予測変換候補の表示の

する、または **しない** にタッチします。

(2) **完了** にタッチします。

3
G-BOOK
機能

G-BOOKの設定をするには

Myリクエスト

1 Myリクエストについて

Myリクエストでは、ニュースや天気予報などを簡単な操作でリクエストして、取得した情報を読み上げることができます。

- G-BOOK mXをWeb登録してご利用の方およびG-BOOK mX Proをご利用の方は、登録するメニューを変更したり、並べ替えることができます。
 - G-BOOK mXをWeb登録なしでご利用の方は、メニューが固定されます。
- 操作は、Myリクエスト画面をタッチする方法と、音声認識で行う方法があります。

2 Myリクエスト画面を操作するには

●Myリクエスト画面での操作



- (1) **情報** を押します。
- **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。
- (2) **Myリクエスト** にタッチします。

	スイッチ	機 能
①	音量調整スイッチ	コンテンツの読み上げ音量が調整できます。 ▼VOL ……音量が小さくなります。 VOL▲ ……音量が大きくなります。
②	前項目/次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更できます。 ◀ ……読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめます。 前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、◀ にタッチしてから約1秒以内に再度タッチしてください。 ▶ ……次の項目の先頭から読み上げをはじめます。
③	停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどります。
④	ポーズ/再開スイッチ	⏸ ……コンテンツの読み上げを一時停止します。 (読み上げ中に表示されます。) ▶ ……読み上げていた項目の頭から読み上げを再開します。 (読み上げ一時停止中に表示されます。)

	スイッチ	機 能
⑤	切断スイッチ※1	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 切断されているときは、スイッチの色が反転し、タッチしても操作できなくなります。
⑥	中止スイッチ※2	G-BOOKセンターとのデータ通信を中止する。

※1 携帯電話使用時

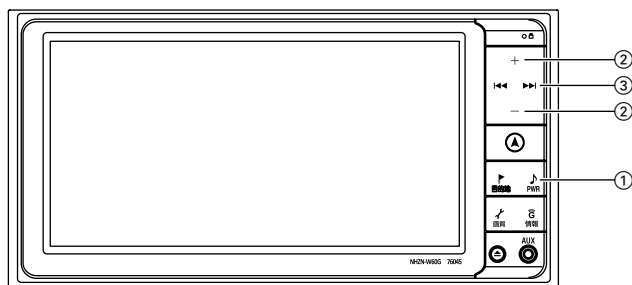
※2 通信モジュール使用時



アドバイス

G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できない場合があります。

●本機のスイッチでの操作



	スイッチ	機 能
①	AUDIO・PWRボタン	コンテンツの読み上げを停止します。
②	VOLボタン	コンテンツの読み上げ音量を調整します。 + ……音量が大きくなります。 - ……音量が小さくなります。
③	TUNE・TRACKボタン	コンテンツの読み上げの開始位置を変更します。 ▶▶ ……次の項目の先頭から読み上げをはじめます。 ◀◀ ……読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめます。 前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは ◀◀ を押してから1秒以内に再度押します。

3
G-BOOK
機能

MY
リクエスト

●ステアリングスイッチでの操作※

Myリクエスト画面はステアリングスイッチからも操作することができます。

ステアリングスイッチの操作については、P.6-1の「ステアリングスイッチ」を参照してください。

※ステアリングスイッチ装着車

3 Myリクエストを使うには



- (1) Myリクエスト画面 (P.3-125参照) でリクエストしたいコンテンツにタッチします。

通信中マーク



- (2) ナビ画面に切り替わります。

- データ取得後、コンテンツの読み上げ、または地図上へのアイコン表示などが行われます。
- ネットワーク接続中は、通信中マークが表示されます。

■読み上げ中に操作するには

読み上げ中に音量調整などの操作をしたいときは、VOLボタン (P.3-126参照) で調整するか、Myリクエスト画面を表示させて行います。(P.3-125参照)

読み上げを中止したい場合は、AUDIO・PWRボタン (P.3-126参照) を押します。



アドバイス

- 走行中はリストを動かすことができません。2ページ目以降に登録してあるコンテンツをリクエストしたときは、音声認識でリクエストしてください。(P.3-130参照)
- コンテンツの読み上げ中に別の読み上げコンテンツを受信したときは、読み上げ中のコンテンツを中止し、次の読み上げコンテンツに切り替わります。
- リクエストによっては、画面上にメッセージが表示されることがあります。状況によって、次のようになります。
 - ・ 運転補助画面（交差点案内などの運転を補助する画面）が表示されているときは、運転補助画面が優先されるため、運転補助画面の終了後にメッセージが表示されます。
 - ・ ハンズフリーなど優先度の高い機能の割り込みがあると、メッセージは破棄されます。
- コンテンツの読み上げ中にナビの音声案内が出力されたときは、読み上げを一時停止します。なお、音声案内が終了すると読み上げが再開されます。
- コンテンツの読み上げ中にハンズフリーの着信があったときは、読み上げを終了します。
- リクエストによるコンテンツの読み上げは、ブラウザの自動読上げの設定（P.3-102参照）に関係なく行われます。

■情報を見るには

リクエストによって、地図上にアイコンが表示されたときは、その施設の情報を看ることができます。

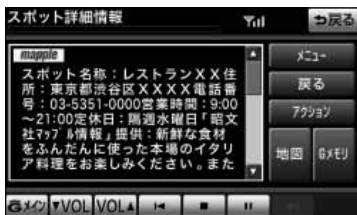
(1) アイコンにタッチします。



(2) **情報** にタッチします。



- ブラウザ画面または施設情報画面に切り替わり、情報が表示されます。



(3) スポット詳細情報が表示されます。

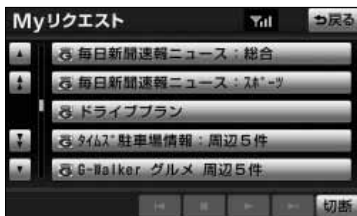


アドバイス

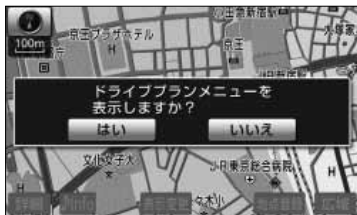
- アイコンが表示されるコンテンツにもかかわらず、アイコンが画面に表示されていないときは、地図縮尺の切り替えや地図の移動をすると、アイコンが確認できます。
- リクエストで地図上に表示されたアイコンの表示／非表示を設定することができます (P.3-95参照)

■ドライブプランを利用するには

Myリクエストからもドライブプランを利用できます。



(1) Myリクエスト画面 (P.3-125参照) で、ドライブプランにタッチします。



(2) **はい** にタッチします。

(3) 情報取得後の操作については、P.3-89の「ドライブプランを利用するには」を参照してください。

4 音声認識でリクエストをするには

音声認識でリクエストすると、登録してあるすべてのコンテンツを、走行中でもリクエストすることができます。リクエストのしかたについてはP.5-7の「**Myリクエストを操作するには**」を参照してください。リクエストしたあとの操作については、Myリクエスト画面からタッチスイッチでリクエストした場合と同様です。

5 Myリクエストの編集をするには

Myリクエストに登録するコンテンツの変更や並べ替えをすることができます。
G-BOOK mXをWeb登録してご利用の方、およびG-BOOK mX Proをご利用の方のみ操作できます。

- (1)  を押します。
- (2) **G-BOOK** にタッチします。
- (3) **Myリクエスト編集** にタッチします。



- (4) **登録替** にタッチします。



- (5) 画面の指示にしたがって、リクエストしたいコンテンツを登録します。



G-SOUND

1 G-SOUNDについて

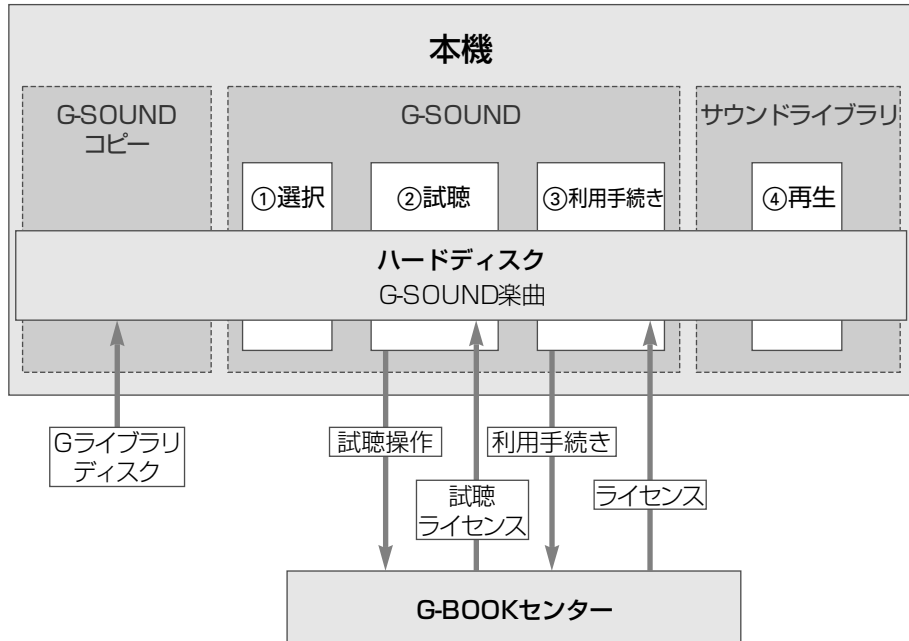
G-SOUNDは、本機のハードディスクに保存されている曲（G-SOUND楽曲）を、利用手続きをしてG-BOOKセンターからライセンスを取得することにより、再生可能にするサービスです。

有料カプセルおよび単曲は、G-BOOK mXをWeb登録してご利用の方およびG-BOOK mX Proをご利用の方のみ利用できます。

次のようにして利用します。

- ①G-SOUNDで、希望の楽曲を選択します。
- ②楽曲を試聴します。（試聴は省略してもかまいません。）
- ③利用手続きをします。
- ④サウンドライブラリ（「オーディオ取扱書 詳細版」の「サウンドライブラリを聞くには」参照）で、楽曲を再生します。

なお、Gライブラリディスクを入手された場合は、G-SOUNDコピーを利用して本機のハードディスクにコピーすることで、同様に再生することができます。



●G-SOUND楽曲について

G-SOUND楽曲には、「カプセル」と「単曲」があります。

カプセル……………複数の曲が収録されています。タイトルに「無料」と表示されているカプセルは、無料で再生できます。

単曲……………1曲のみ収録されています。

本機のハードディスク内に保存されているG-SOUND楽曲は、G-SOUNDを利用して、試聴および利用手続きができます。

単曲は、いろいろな検索条件を設定することで、保存されている楽曲の中から聴きたい楽曲を絞り込むことができます。

また、「オススメ情報」では、季節やドライブコースに合ったカプセルの紹介をしています。

G-SOUND楽曲は、本機のハードディスクにプリインストールされていますが、次の方法で入手することもできます。

- ・Gライブ러리ディスクを入手して、ハードディスクにコピーする。
- ・G-BOOKセンターから楽曲を取得する。

■ライセンスについて

G-SOUND楽曲を再生するときは、利用手続きをして、その楽曲のライセンスを取得する必要があります。

ライセンスに有効期限が設定されている場合は、有効期限までその楽曲を再生することができます。

本サービスにて提供された著作物データを、個人的な利用の目的以外で複製、頒布すること、または改変、インターネットなどによる公衆送信などの行為を行うことは、法律により禁止されています。



アドバイス

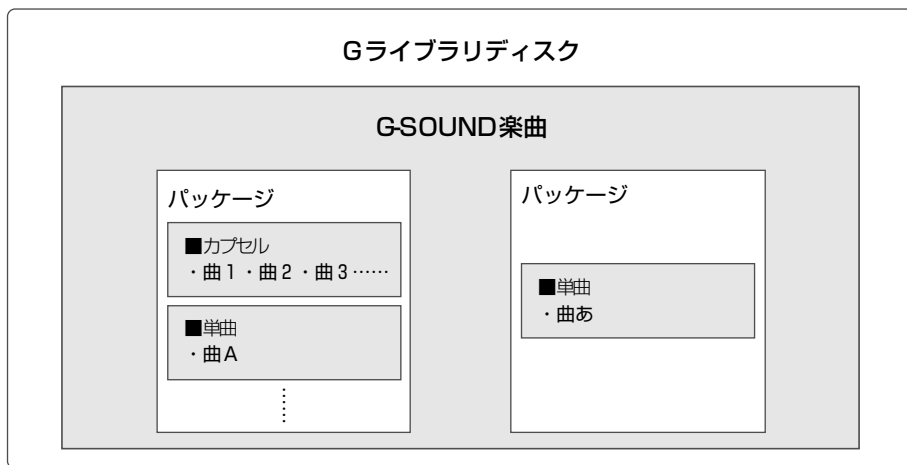
- G-BOOKオンラインサービスの利用登録・契約の解除をしても個人情報の初期化をしなければ、ライセンス取得済みのG-SOUND楽曲はそのままご利用いただけます。
- 本機に保存できるG-SOUND楽曲は、最大5000曲※です。
※ハードディスクの空き容量などにより、異なることがあります。

●Gライブラリディスクについて

Gライブラリディスクに収録されている楽曲は、G-SOUNDコピーを利用して、本機のハードディスクにコピーすることができます。

■Gライブラリディスクに含まれる内容

Gライブラリディスクには、G-SOUND楽曲（P.3-132参照）が収録されています。コピーをするときは、パッケージ単位でコピーされます。



2 G-SOUND画面の使い方



(1)  を押します。

- **情報** または **BTナビ** が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

(2) **G-SOUND** にタッチします。



3
G-BOOK
機能

G-SOUND

	スイッチ	機能
①	カプセル／単曲スイッチ	リストの表示を切り替えます。 カプセル ……カプセルを一覧表示します。 単曲 ……単曲を一覧表示します。
②	絞り込み検索スイッチ (単曲一覧表示時のみ)	ハードディスク内のG-SOUND楽曲の中から、検索条件を変更して希望の楽曲を検索します。
③	Gオススメスイッチ	オススメするカプセルと直接配信コンテンツの紹介ページを表示します。

3 楽曲を試聴するには

G-SOUND画面から聴きたい楽曲を選択して、利用手続きの前に試聴することができます。

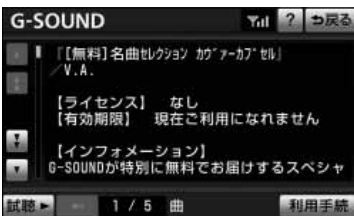
楽曲の試聴をするには、「試聴ライセンス」が必要です。

試聴ライセンスには、試聴期限または試聴回数が設定されており、それらを超えた楽曲は試聴することができません。



(1) G-SOUND画面 (P.3-134参照) または絞り込み検索結果画面 (P.3-136参照) で、聴きたい楽曲にタッチします。

- 単曲を選択するときは、絞り込み検索をするとう便利です。



(2) **試聴** にタッチします。

- 試聴は単曲3回、カプセル3回まで可能です。



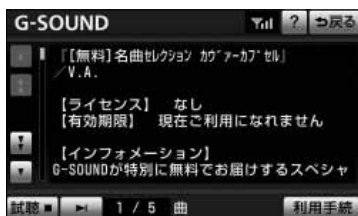
(3) 試聴ライセンスを取得していない場合は、試聴ライセンスの取得を開始します。

- 中止するときは **中止** にタッチします。



アドバイス

- 1回の試聴時間は、1曲あたり約30秒です。
- カプセルの試聴は、カプセル単位での試聴になります。
- **試聴** にタッチしたら、その時点で試聴回数は1回と計算されます。
- 次の場合は、ライセンスの取得が中止されます。
 - ・ 試聴ライセンスを取得中に他の画面に切り替えたとき
 - ・ ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったとき



(4) 試聴再生を開始します。

- 試聴再生を停止するときは **試聴** にタッチします。
- 次の曲を試聴再生するときは **▶** にタッチします。
- サウンドライブラリ操作画面を表示するときは **♪** を押します。

■希望の楽曲を検索するには

単曲を選択する場合、いろいろな検索条件を設定して希望の楽曲を検索することができます。



(1) 単曲一覧表示で、**絞り込み検索** にタッチします。



(2) 検索条件に設定したい項目にタッチします。

- 検索条件を解除するときは項目の右側にある **解除** にタッチします。
- すべての検索条件を解除するときは **全解除** にタッチします。



(3) 検索条件に設定したい項目にタッチします。



検索条件表示欄

- (2) で **アーティスト** を選択したときは、希望のアーティストにタッチします。



(4) **完了** にタッチします。



(5) 絞り込み検索結果が表示されます。

- 絞り込みを解除するときは **絞り込み解除** にタッチします。
- 楽曲の試聴・利用手続きをするときはP.3-135の「楽曲を試聴するには」、P.3-138の「利用手続きをするには」を参照してください。



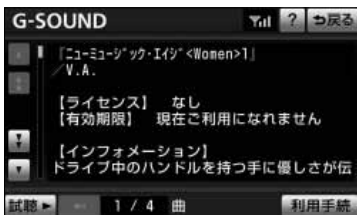
アドバイス

設定した検索条件は検索条件表示欄に表示されます。◀ または ▶ にタッチしてスクロールさせると、設定した検索条件をすべて確認することができます。

4 利用手続きをするには

試聴してみて、継続して聴きたい楽曲の場合は、利用手続きをしてライセンスを取得します。

ライセンスは最大1000個まで購入することができます。

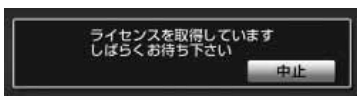


- (1) G-SOUND画面（試聴、利用手続）で、**利用手続**にタッチします。



- (2) **購入** にタッチします。

- 無料カプセルの場合は **次へ** にタッチして、(4) の手順を操作します。



- (3) G暗証番号を入力し、**決定** にタッチします。

- (4) ライセンスの取得を開始します。

- 中止するときは **中止** にタッチします。

- (5) ライセンスの取得が完了すると、再生を開始します。

- サウンドライブラリ操作画面を表示するときは



を押します。



アドバイス

- 購入金額は、G-SOUND楽曲、ライセンス利用期限により異なります。
- ライセンス取得に失敗した場合は、再度手続きを行ってください。
- ライセンスの取得を中断したときは、次のG-SOUND起動時に利用手続きの再開確認メッセージが表示されます。**はい**にタッチすると、利用手続きを再開します。ただし、ライセンス取得に失敗した楽曲を削除すると、その楽曲のライセンスは取得できません。

●ライセンスを取得できないとき

サウンドライブラリの再生可能曲数を超える場合は、メッセージが表示され、ライセンスを取得できません。

この場合、サウンドライブラリ編集メニュー画面から不要なライセンス取得済みの楽曲を削除してください。（「オーディオ取扱書 詳細版」の「サウンドライブラリを編集するには」参照）

5 G-SOUND楽曲を再生するには

ライセンスを取得したG-SOUND楽曲は、サウンドライブラリ（「オーディオ取扱書 詳細版」の「サウンドライブラリを聞くには」参照）で再生することができます。

G-SOUND楽曲の操作方法是、次の「サウンドライブラリで録音した曲との相違点」を除いては、サウンドライブラリで録音した曲と同様です。

●サウンドライブラリで録音した曲との相違点

G-SOUND楽曲は、次の点がサウンドライブラリで録音した曲と異なります。

- ・タイトル情報の取得機能はありません。
- ・曲（トラック）単位で削除することができません。削除する場合は、コンテンツ単位での削除になります。

6 G-SOUND楽曲を削除するには

ライセンスのない不要なG-SOUND楽曲は削除することができます。

- (1)  を押します。
- (2) **G-BOOK** にタッチします。

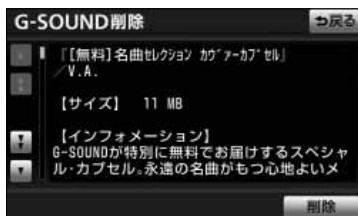


(3) **G-SOUND削除** に10秒以上タッチし続けます。

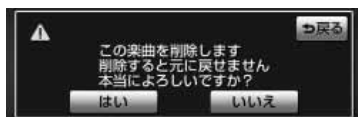


(4) 削除したい楽曲にタッチします。

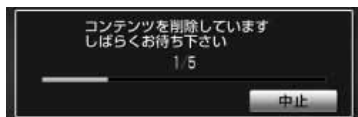
- 単曲またはカプセルの、すべての楽曲を削除するときは**全削除**にタッチして(6)の手順を操作します。
- 単曲を削除するときは、絞り込み検索をしてから削除することができます。(P.3-141参照)



(5) **削除** にタッチします。



(6) **はい** にタッチします。



(7) **全削除** を選択した場合、途中で削除を中止するときは**中止** にタッチします。



アドバイス

- すべてのG-SOUND楽曲を削除すると、G-SOUND楽曲はすべて利用できなくなります。
- 本機にプリインストールされているG-SOUND楽曲を削除する場合は、本当に削除してもよいかご確認ください。削除した楽曲をもとにもどすことはできません。
- 全削除の途中で削除を中止しても、すでに削除処理が終了した楽曲をもとにもどすことはできません。
- ライセンス取得済みの楽曲は、削除画面のリストに表示されません。削除する場合は、サウンドライブラリ編集メニュー画面(「オーディオ取扱書 詳細版」の「サウンドライブラリを編集するには」参照)から削除してください。

■楽曲を絞り込んで削除するには

単曲を削除する場合、いろいろな検索条件を設定して絞り込むことができます。



(1) G-SOUND削除画面の単曲一覧表示で

絞り込み検索 にタッチします。

(2) P.3-136の「希望の楽曲を検索するには」の(2)～(4)と同様の操作を行います。

(3) 削除したい楽曲にタッチします。

● 絞り込んだ楽曲をすべて削除するときは

絞り込み削除 にタッチしてP.3-139の「G-SOUND楽曲を削除するには」の(6)の操作を行います。

● 絞り込みを解除するときは **絞り込み解除** にタッチします。

(4) P.3-139の「G-SOUND楽曲を削除するには」の手順(5)～(6)と同様の操作をします。

7 G-SOUNDコピー

Gライブ러리ディスクに収録されているパッケージを本機のハードディスクにコピーできます。



アドバイス

本機の時刻データが更新されていないと、コピーできないことがあります。この場合は、GPS信号が受信できる場所に車を移動し、 を押して地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

■パッケージをコピーするには

(1) Gライブラリディスクを本機に差し込みます。

(2) コピーしたいパッケージにタッチします。



(3) メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。

- コピーを開始します。

- コピー中は進行状況が表示されます。

- コピーを中止するときは **中止** にタッチします。



(4) メッセージが表示され、コピーが完了します。



アドバイス

- Gライブラリディスクを挿入してからG-SOUNDコピー画面が表示されるまでは、少し時間がかかります。
- コピー中に通信ロック (P.3-115参照) をすると、コピーが中止されます。
- パッケージによっては、コピーをするのに非常に時間がかかる場合があります。(20MBコピーするのに、約1分かかります。)
- コピー中は、他の機能の動作が遅くなることがあります。
- コピー中に他の画面に切り替えても、コピーは継続されます。この場合、情報・G・BTナビ画面 (G-BOOK) で **G-SOUND** にタッチすると、コピーの進行状況が確認できます。
- 他の画面に切り替えているときにコピーが終了すると、メッセージが表示されます。このとき **はい** にタッチすると、再度G-SOUNDコピー画面を表示することができます。
- コピー中はGライブラリディスクを取り出さないでください。コピーが中止されます。
- Gライブラリディスクを挿入したままエンジンスイッチをOFF (LOCK) にしないでください。コピー中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にすると、コピーが中止されます。そのままエンジンスイッチをACCまたはONにすると、G-SOUNDコピー画面が表示されることがあります。
- その他の原因によりコピーが中止された場合は、自動的にコピーを再開することができません。この場合は、最初からコピー操作をやり直してください。
- パッケージをコピーする場合、コピーを中止しても、既にコピーが終了した楽曲はG-SOUND画面に表示されます。

■ディスクの収録内容を確認するには

Gライブラリディスクからコピーする前に、パッケージの詳細情報を確認することができます。

- (1) Gライブラリディスクを本機に差し込みます。
- (2) 確認したいパッケージの **情報** にタッチします。



※実際にはコンテンツ名が表示されます。

- (3) 収録されているコンテンツが一覧表示されます。確認したいコンテンツにタッチします。

■コピーできなかったとき

次のような場合はメッセージが表示され、パッケージをコピーできません。

- ハードディスクの空き容量が不足しているとき
- コンテンツの最大保存数が超過するとき

この場合、G-SOUND削除画面から不要な楽曲を削除してください。(P.3-139参照)

CDタイトル情報を取得するには

1 タイトル情報を取得するには

サウンドライブラリでは、音楽CDから内蔵のハードディスクへ録音した楽曲のタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、ジャンル名など）を、ハードディスクに収録されているデータベースから取得することができます。ただし、新しい曲などはデータベースにタイトル情報がないものもあります。G-BOOKオンラインサービスを利用すると、最新のCDタイトル情報をG-BOOKセンター経由でGracenoteメディアデータベースから取得することができます。

サウンドライブラリについては、「オーディオ取扱書 詳細版」の「サウンドライブラリ」を参照してください。

- (1) サウンドライブラリ操作画面で、タイトル情報を取得したい楽曲を表示します。



- (2) **タイトル入力** にタッチします。



- (3) **Gで検索** にタッチします。
- (4) 表示された画面の指示にしたがって、希望のタイトルを選択・登録します。



アドバイス

- 該当するCDタイトル情報が見つからなかった場合は、メッセージが表示されたあとにアルバム修正画面にもどります。
- ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CDタイトル情報の取得を中止します。

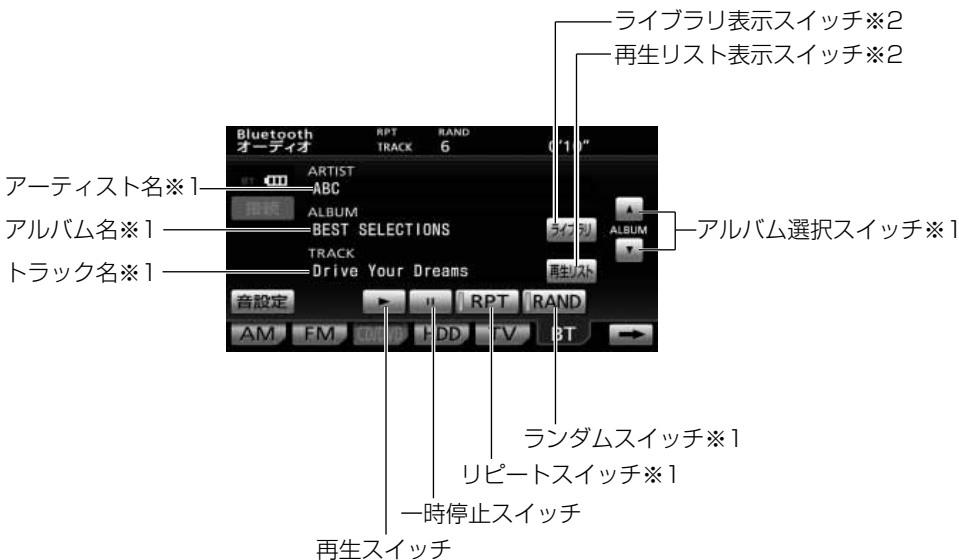
3
G-BOOK
機能

CDタイトル情報を取得するには

Bluetoothオーディオの操作

Bluetooth (A2DPプロファイル) を搭載したポータブルオーディオを接続すると、ポータブルオーディオに収録された音楽を再生することができます。また、AVRCP Version 1.3以上に対応したポータブルオーディオを接続すると、アルバムからの選曲などを本機で操作することができます。ポータブルオーディオを再生中は、その他のオーディオとは別に音量を調整することができます。音量調整のしかたは、「**オーディオ取扱書 詳細版**」の「電源の入れ方・音量調整のしかた」を参照してください。

※本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことを確認のうえお使いください。



※1 AVRCP Version 1.3以上対応ポータブルオーディオ接続時

※2 AVRCP Version 1.4以上対応ポータブルオーディオ接続時
機器によっては表示されない場合があります。



AVRCP Version 1.3非対応ポータブルオーディオ接続時

1 ポータブルオーディオを登録するには

Bluetoothオーディオを使用するためには、ポータブルオーディオを本機に登録する必要があります。

ポータブルオーディオは、最大4台まで登録することができます。操作の前にポータブルオーディオの電源をONにするなど、本機と接続できる状態にします。

- (1)  を押します。
- (2) **オーディオ** にタッチします。



- (3) **Bluetoothオーディオ設定** にタッチします。



- (4) Bluetoothオーディオ設定の **登録** にタッチします。





(5) Bluetoothオーディオ接続中画面が表示されたら、ポータブルオーディオ側からBluetooth登録を行います。

- ポータブルオーディオ本体で、画面に表示されている接続名称を選択し、パスキーを入力します。
- ポータブルオーディオ側の登録操作は、Bluetoothオーディオ接続中画面が表示されているときに行なってください。
- **中止** にタッチすると、登録が中止されます。
- 登録が完了すると、メッセージが表示されます。



アドバイス

- パスキーとは、Bluetoothオーディオを本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。P.4-13の「**パスキーを変更するには**」を参照してください。
- ポータブルオーディオを登録すると、一番新しく登録したポータブルオーディオが使用するポータブルオーディオとして選択されます。複数登録している場合は、使用するポータブルオーディオを選択（P.4-10参照）することができます。
- ポータブルオーディオ登録時の操作方法は、ポータブルオーディオ機器の取扱書をご覧ください。

2 ポータブルオーディオを接続するには

■自動で接続するには

ポータブルオーディオを登録すると、自動で接続される状態になります。これにより、エンジンスイッチをACCまたはONにするたびに、本機に選択されているポータブルオーディオ（P.4-10参照）と自動的に接続します。

- (1) ポータブルオーディオの電源をONにするなど、本機と接続できる状態にします。

(2) エンジンスイッチをACCまたは、ONにします。

- 自動で、ポータブルオーディオとの接続が始まります。
- 接続が完了すると接続完了のメッセージが表示されます。
- 接続に失敗したときは、メッセージが表示されます。画面の案内にしたがってやり直してください。
- 接続に失敗したときや自動Bluetooth接続の設定（P.4-14参照）が「しない」に設定されているときは、手動で接続することができます。（下記参照）



Bluetoothオーディオ設定画面

■手動で接続するには

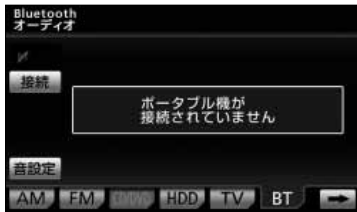
ポータブルオーディオとの自動接続に失敗したときや自動Bluetooth接続の設定（P.4-14参照）が「しない」に設定されているときは、手動で接続することができます。

(1) ポータブルオーディオの電源をONにするなど、本機と接続できる状態にします。

(2) 、**BT** の順にタッチします。

(3) **接続** にタッチします。

- Bluetoothオーディオ接続中画面が表示され、ポータブルオーディオとの接続が始まります。
- 接続が完了すると接続完了のメッセージが表示されます。



アドバイス

機器により自動接続では、接続できない場合があります。この場合は、手動で接続してください。

●接続中の表示について

ポータブルオーディオと接続中、Bluetooth操作画面左上に接続状態と電池残量が表示されます。(電池残量は、AVRCP Version 1.3以上対応のポータブルオーディオのみ表示されます。)

電池残量表示



Bluetooth接続状態表示

●Bluetooth接続状態表示

Bluetoothの接続状態を表示しています。接続の状態により、次のように表示されます。

- ・ **青色表示**：Bluetooth接続状態が良好であることを示します。
- ・ **黄色表示**：この状態では、音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、ポータブルオーディオを移動してください。
- ・ **切断表示**：ポータブルオーディオがBluetooth接続されていない状態を示します。この状態では、Bluetoothオーディオを使用することができません。再度ポータブルオーディオの選択を確認してください。(P.4-10参照)

●電池残量表示

ポータブルオーディオの電池残量の目安を表示しています。電池残量は、ポータブルオーディオの表示と一致しない場合があります。また、機種によっては、AVRCP Version 1.3以上に対応していても表示されない場合があります。

表示				
残量	無	少	←	→ 多



注意

- 本機でBluetoothオーディオを使用しているときにポータブルオーディオのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- ポータブルオーディオを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- ポータブルオーディオを本機に近づけすぎないでください。音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。



アドバイス

- 次のような場所や状態でBluetoothオーディオを使用すると、Bluetooth接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth接続ができないことがあります。
 - ・ポータブルオーディオがディスプレイから隠れる場所にあるとき（シートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるとき）
 - ・ポータブルオーディオが金属製のものに接したり、覆われているとき上記の場合、青色の表示がでるように、ポータブルオーディオを移動させてください。
- Bluetoothオーディオ再生中に携帯電話の接続動作を行った場合、Bluetoothオーディオの音声途切れることがあります。
- ポータブルオーディオと他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth接続により、ポータブルオーディオの電池が早く消耗します。
- Bluetoothオーディオは、充電機能はありません。
- ポータブルオーディオを接続しても充電されません。

3 Bluetoothオーディオを聞くには



(1) 本機とポータブルオーディオが接続されているときに、、**BT** の順にタッチすると再生を始めます。

-  を押すと、Bluetoothオーディオ操作画面が表示されます。
-  にタッチすると、再生を一時停止します。
-  にタッチすると、再生を再開します。

■早送り・早戻しするには

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

- (1) 、または  を“ピツ”と音がするまで押します。
-  : 曲を進めるとき
 -  : 曲を戻すとき

■聞きたい音楽ファイルを選ぶには

- (1) 、または  を押します。
-  : 曲を進めるとき
 -  : 曲を戻すとき

■アルバムを切り替えるには

アルバムごとに切り替えることができます。この機能は、AVRCP Version 1.3以上でアルバム操作に対応したポータブルオーディオのみ表示・操作できます。

(1) ALBUMの▲、または▼にタッチします。

● ▲（上側）：次のアルバムを選ぶとき

▼（下側）：前のアルバムを選ぶとき



■ライブラリから音楽ファイルを選ぶには

ポータブルオーディオに収録されたフォルダから聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。この機能は、AVRCP Version 1.4以上に対応したポータブルオーディオのみ表示・操作できます。

(1) **ライブラリ**にタッチします。

(2) 音楽ファイルが表示されるまでフォルダにタッチします。

● **TOP**にタッチすると、Bluetooth オーディオ操作画面に戻ります。

(3) 聞きたい音楽ファイルにタッチします。



■再生リストから音楽ファイルを選ぶには

現在再生中のフォルダから聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。この機能は、AVRCP Version 1.4以上に対応したポータブルオーディオのみ表示・操作できます。

- (1) **再生リスト** にタッチします。
- (2) 聞きたい音楽ファイルにタッチします。



- **TOP** にタッチすると、Bluetooth オーディオ操作画面に戻ります。

■同じ音楽ファイルを繰り返して聞くには

- (1) **RPT** にタッチします。

- 作動表示灯が点灯します。
- 現在、再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。
もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。



作動表示灯

■音楽ファイルの順番をランダムに聞くには

- (1) **RAND** にタッチします。

- 作動表示灯が点灯します。
- 任意にファイルを選び出し再生します。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。



作動表示灯



アドバイス

- リストが6個以上ある場合は、▲・▼、⬆・⬇にタッチするとリストを切り替えることができます。
 ▲・▼：1項目ずつ切り替えるとき
 ⬆・⬇：ページごとに切り替えるとき
- ポータブルオーディオに収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- アーティスト名や曲名（トラック名称）などは、アルファベット・記号の半角文字では、最大25文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では、12文字まで表示されます。（AVRCP Version 1.3以上に対応したポータブルオーディオのみ）
- ポータブルオーディオ機器によっては、操作ができなかったり、別動作をする場合があります。

4 Bluetoothオーディオの設定をするには

Bluetoothオーディオの設定をすることができます。

項目	機能	ページ
ポータブルオーディオの選択	使用するポータブルオーディオを選択します。	下記参照
機器名称の変更	Bluetoothネットワーク内での本機の名称を変更します。	4-12
パスキーの変更	ポータブルオーディオを本機に登録する際のパスキーを変更します。	4-13
自動接続の設定	Bluetooth自動接続の設定をします。	4-14
詳細情報の表示	現在使用しているポータブルオーディオの情報を表示・変更します。	4-15
ポータブルオーディオの登録削除	登録したポータブルオーディオを削除します。	4-17

■ポータブルオーディオを切り替えるには

使用するポータブルオーディオを選択することができます。本機には、一番新しく登録したポータブルオーディオが使用するポータブルオーディオとして選択されます。

- (1) 使用するポータブルオーディオの電源をONにするなどして、本機と接続できる状態にします。

- (2)  を押します。



(3) **オーディオ** にタッチします。



(4) **オーディオプレイヤー切替** にタッチします。

- オーディオプレイヤー切替画面が表示されます。



(5) 使用するオーディオプレイヤーにタッチします。

- **詳細情報表示** にタッチすると、選択したポータブルオーディオの機器名称などの情報を表示することができます。(P.4-15参照)

(6) **完了** にタッチします。

- 自動Bluetooth接続が **する** に設定 (P.4-14参照) されているときは、本機との接続が始まります。
- 自動Bluetooth接続が **しない** に設定 (P.4-14参照) されているときは、Bluetoothオーディオ操作画面で、手動での接続 (P.4-4参照) が必要になります。

■機器名称およびパスキーを変更するには

機器名称やパスキーを任意に変更することができます。

(1)  を押します。

(2) **オーディオ** にタッチします。



(3) **Bluetoothオーディオ設定** にタッチします。

- Bluetoothオーディオ設定画面が表示されます。



●機器名称を変更するには

(1) 機器名称の **変更** にタッチします。

- 機器名称変更画面が表示されます。



(2) ソフトウェアキーボード（P.1-12参照）で入力します。



(3) 入力後、**完了** にタッチします。

● Bluetoothオーディオ設定画面にもどります。

(4) Bluetoothオーディオ設定画面で、**完了** にタッチします。



アドバイス

機器名称を変更しても、ポータブルオーディオ側は変更されません。

●パスキーを変更するには

(1) パスキーの**変更** にタッチします。

● パスキー変更画面が表示されます。



(2) 数字に1文字ずつタッチして、4～8桁の数字を入力します。

● 間違えた場合は、**修正** にタッチすると、1文字ずつ削除されます。



(3) 入力後、**完了** にタッチします。

● Bluetoothオーディオ設定画面にもどります。

(4) Bluetoothオーディオ設定画面で、**完了** にタッチします。

■Bluetooth自動接続を設定するには

初期状態では、エンジンスイッチをACC、またはONにしたとき、ポータブルオーディオを自動で接続するように設定されています。自動で接続するか、しないかを選択することができます。

(1)  を押します。

(2) **オーディオ** にタッチします。



(3) **Bluetoothオーディオ設定** にタッチします。

- Bluetoothオーディオ設定画面が表示されます。



(4) 自動Bluetooth接続の **する**、**しない** にタッチします。

- **しない** にタッチすると、それ以降Bluetoothオーディオ操作画面で、手動での接続（P.4-4参照）が必要になります。



(5) **完了** にタッチします。

■詳細情報を表示するには

(1)  を押します。

(2) **オーディオ** にタッチします。



(3) **オーディオプレーヤー切替** にタッチします。





(4) **詳細情報表示** にタッチします。

- Bluetoothオーディオ詳細情報画面が表示されます。
- Bluetoothオーディオ詳細情報画面では、次の情報表示や設定を行うことができます。



項目	内容
機器名称	現在使用中のポータブルオーディオの名称が表示されます。 変更 にタッチすると、機器名称変更画面が表示されて、名称を変更することができます。(P.4-12参照)
機器アドレス	ポータブルオーディオ機器特有のアドレスが表示されます。アドレスの変更はできません。
接続方法	接続方法を選択することができます。本機側から接続する場合は、 車載機から接続 にポータブルオーディオから接続する場合は、 ポータブル機から接続 にタッチします。

■ポータブルオーディオの登録を削除するには

現在使用中のポータブルオーディオの登録を削除します。使用中でないポータブルオーディオの登録を削除するには、ポータブルオーディオを切り替え（P.4-10参照）が必要になります。

(1)  を押します。



(2) **オーディオ** にタッチします。



(3) **Bluetoothオーディオ設定** にタッチします。

● Bluetoothオーディオ設定画面が表示されます。



(4) Bluetoothオーディオ設定の **削除** にタッチします。



(5) 削除するポータブルオーディオを選択して、**完了** にタッチします。

(6) **はい** にタッチします。

● ポータブルオーディオの登録が削除されます。

■初期設定にもどすには

Bluetoothオーディオの設定を初期設定の状態にもどすことができます。

(1)  を押します。

(2) **オーディオ** にタッチします。



(3) **Bluetoothオーディオ設定** にタッチします。

● Bluetoothオーディオ設定画面が表示されます。



(4) **初期状態** にタッチします。



(5) **はい** にタッチします。

● 初期状態にもどります。

5 Bluetoothオーディオについて

Bluetoothオーディオは、本機とポータブルオーディオの通信を無線（Bluetooth）を使用して行うポータブルオーディオです。従来のポータブルオーディオを本機に接続するには、別途接続ケーブルなどを用意して、接続する必要がありました。これに対しBluetoothオーディオでは、接続ケーブルなど必要なく再生することができます。例えば、ポケットにポータブルオーディオを入れたままでも通信範囲内であれば、使用することができます。

●対応Bluetooth仕様および対応プロファイルについて

- ・対応Bluetooth仕様：Bluetooth Specification Ver.1.1以上（Ver.2.0+EDR以上を推奨）
- ・対応プロファイル：
 - ・A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) Ver.1.0以上
 - ・AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) Ver.1.0以上（Ver.1.4を推奨）



注意

- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・化学・医療用機器のほか、工場製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します。）

本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合は、速やかに場所を変更して電波干渉を回避してください。

- 本機の使用周波数は2.4GHz帯です。
- 変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。
- 想定干渉距離は10m以下です。
- 本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。
- 証明シールをはがしたり、本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。



アドバイス

Bluetooth  Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

メモ

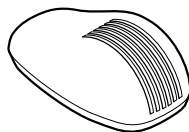
4
Blue
tooth
オーディオ

メモ

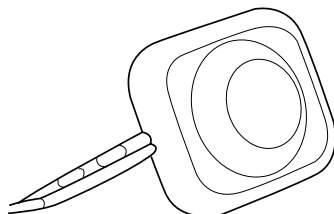
音声操作システムについて

音声操作は音声認識用マイクと音声入力ボタンを使い、音声でハンズフリー、G-BOOKの操作を行うことができる機能です。

1 音声操作システムの構成



音声認識用マイク
(音声入力を認識します)



音声入力ボタン
(音声操作への切り替えや解除に使用します)

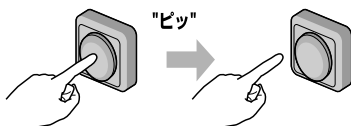
2 音声を正しく認識するために

音声操作システムは、音声認識コマンドを正しく発声しないと認識されないことがあります。使用上は、以下の点に留意してください。

- 音声入力を行う際に、発声以外の音があると認識されにくくなったり、誤って認識されることがあるため、自動車の窓はできるかぎり閉めてから行ってください。窓を開けていることにより風切り音や外からの騒音など、周囲の音により認識しない場合があります。
- 方言や言い方の違いには対応していません。音声入力コマンドの指定された読みで発音してください。
- 地名や施設名称などの通称名や略称には対応していません。
必ず検索リスト（タッチスイッチ）に表示される施設や住所の名称または音声入力コマンド一覧表を参考に発声してください。

音声操作の使いかた

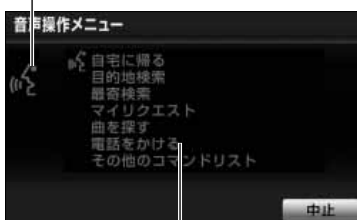
1 音声入力を行うには



(1) 音声入力ボタンを短く押します。

- 音声入力ボタンを押すと、「ピッ」と鳴ったらお話しください」という音声ガイドのあとに「ピッ」と鳴ります。

音声認識中マーク

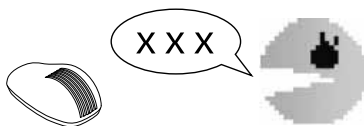


音声操作説明画面

- 音声認識中を示すマーク  と音声操作の説明画面が表示されます。

(2) 「ピッ」という音が鳴ったあと、およそ6秒以内にマイクに向かって音声入力コマンドを発声します。

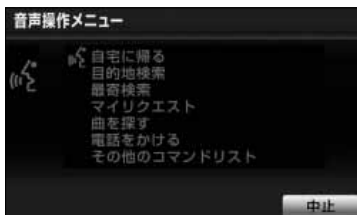
- 入力した音声为正しく認識されると音声ガイドが聞こえ、コマンドが実行されます。



アドバイス

- 音声入力コマンドは、ハンズフリー、G-BOOKの状態によって操作できるものとできないものがあります。音声入力コマンドの詳細については、P.5-9の「**音声入力コマンド一覧**」を参照してください。
- 音声入力時、マイクから近すぎたり遠すぎたりすると正しく認識されないことがあります。
- コマンドは、力まず滑らかに連続して発声してください。
- 発声時間が長過ぎると、正しく認識されないことがあります。

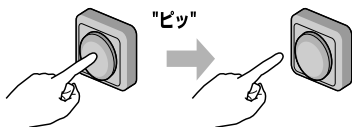
2 音声入力を中止するには



(1) 音声認識中に音声入力ボタンを1秒以上長く押すか、音声操作説明画面上の「中止」にタッチします。

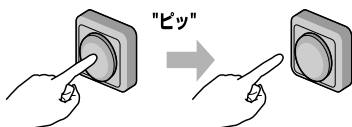
- 音声認識中マークが消え、音声入力を中止します。
- 音声認識中に「中止」を音声入力しても中止できません。

3 音声操作を再開するには



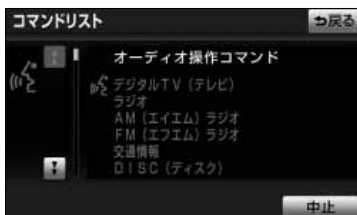
(1) コマンドを認識できなかったときや、またはにタッチしたときは、音声操作を中断します。音声操作を再開したいときは、音声入力ボタンを短く押します。

4 音声操作を省略するには



(1) 音声ガイド出力時に音声入力ボタンを短く押すと、音声ガイドが途中で次の動作を行うことができます。

5 コマンドリストを表示するには



(1) 「その他のコマンドリスト」と音声入力します。

- コマンドリスト画面が表示されます。
- 表示されているコマンドを入力して操作することができます。

6 知っておいてください

●こんな音声が出たときは

音 声 ガ イ ド	原 因	処 置 方 法
認識できませんでした	ピッという音がしてから話し始めるまでの時間が長すぎる時	ピッという音が聞こえてから6秒以内に話し始めてください。
	ピッという音が鳴る前に話し始めているとき	ピッという音を聞いてから話し始めてください。
	音声が大きすぎる時	もう少し小さな声でお話ください。
	音声が小さすぎる時	もう少し大きな声でお話ください。
	音声の発声時間が長いとき	もう少し短い時間でお話ください。
	音声が正しく認識できないとき	正しい発音ではっきりお話ください。

●故障とお考えになる前に

症 状	確 認 項 目	処 置 方 法
発声内容を認識しない	音声コマンドの読み方は正しいですか？	音声コマンドを確認の上、正しい読みかたで発声してください。
認識間違いが多い	車外の雑音を音声として認識していませんか？	窓を閉めてお使いください。
	車内の音を音声として認識していませんか？	車内の音を止めてお使いください。
	マイクに口を近付けていませんか？	マイクに口を近付けずに、助手席の人と会話をする程度のはやさで滑らかに話してください。
	早口で話していませんか？	
音声認識に時間がかかる	認識する言葉の候補数に応じて認識時間が長くなります。	反応の時間が遅くても故障ではありません。

音声操作システムの操作例

1 電話をかけるには

いろいろな方法で電話をかけることができます。

ここでは代表して、「番号でかける（ダイヤル発信）」場合で説明します。



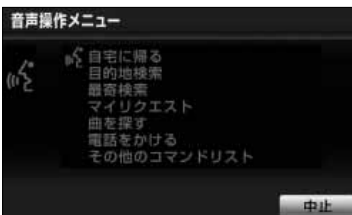
アドバイス

- 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。
この場合、切り替え中は現在地画面が表示されますので、電話画面に切り替わるまではナビの操作をしないでお待ちください。
- データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

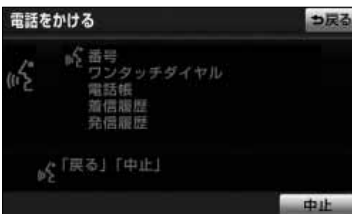
●番号でかけるには（ダイヤル発信）

- 一例として「03-1234-5678」に電話をかけます。

(1) ピッと鳴ったあとに「電話をかける」と音声入力します。



(2) ピッと鳴ったあとに「番号」と音声入力します。





(3) ピッと鳴ったあとに「03-1234-5678」と音声入力します。



(4) ピッと鳴ったあとに「発信」と音声入力します。

●その他の発信方法について

電話をかける方法を発声するときには次のコマンドを発声すると、希望の方法で発信できます。操作方法は「番号」と同様です。
ここでは、それぞれの発信方法を使用するときの注意点を説明します。

発信方法	機能	ページ
コマンド		
ワンタッチ発信	ワンタッチダイヤルで電話をかけます。	下記参照
「ワンタッチダイヤル」		
電話帳発信	本機の電話帳から電話をかけます。	5-7
「電話帳」		
着信履歴発信	着信履歴から電話をかけます。	5-7
「着信履歴」		
発信履歴発信	発信履歴から電話をかけます。	5-7
「発信履歴」		

<ワンタッチ発信するとき>

- 発信できる電話番号は、**ワンタッチ1**（1ページ目）に登録してある電話番号だけです。（P.2-24参照）
- ワンタッチダイヤルを指定するときは、コマンドリストに表示されている「番号」を発声します。



アドバイス

ワンタッチダイヤルが登録されていない番号は、コマンドリストに表示されません。

<電話帳発信するとき>

- 発信できる電話番号は、電話帳（P.2-47参照）に登録してある電話番号の内、次の設定をしてある電話番号です。
 - ・ 認識読み（P.2-52参照）
 - ・ 音声認識の設定（P.2-54参照）
- 電話帳に登録されている名称は、「認識読み」を発声します。

<着信履歴発信／発信履歴発信するとき>

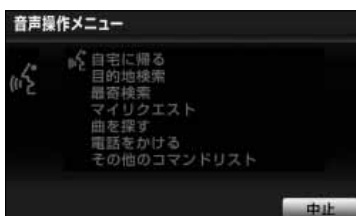
- 発信できる電話番号は、着信履歴・発信履歴（P.2-23参照）に記憶されている電話番号です。
- 履歴を指定するときは、コマンドリストに表示されている「番号」を発声します。

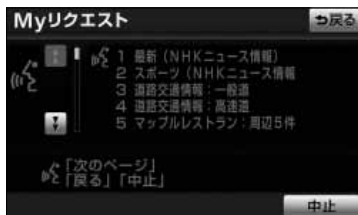
2 My リクエストを操作するには

●コンテンツをリクエストするには

- 一例として「道路交通情報：一般道」をリクエストします。

(1) 「マイリクエスト」と音声入力します。





(2) ピッと鳴ったあとに「道路交通情報一般道」と音声入力します。

- 交通情報一般がリクエストされます。

●他のページのコンテンツをリクエストするには

他のページに登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、次のいずれかの操作を行います。

■音声操作でページを切り替えるには

- ・「前のページ」または「次のページ」と音声入力します。
- ・「コンテンツ名」または「番号」を音声入力します

■タッチスイッチでページを切り替えるには

- (1) ▲、または ▼ にタッチします。
- (2) トークスイッチを押し、「コンテンツ名」または「番号」を音声入力します。

音声入力コマンド一覧

ここではG-BOOK・ハンズフリー機能を音声操作するときの音声入力コマンド一覧を紹介します。
ナビゲーションを操作する音声入力コマンドについては「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「音声入力コマンド一覧」を参照してください。
また、オーディオを操作する音声入力コマンドについては「オーディオ取扱書 詳細版」の「音声入力コマンド一覧」を参照してください。

●音声入力コマンド一覧の見かた

<読みについて>

- ・「I」の記号は「I」の前後のどちらかのコマンドを発声すると認識できます。
例）：チャンネルアップ|ツギノチャンネル…「チャンネルアップ」または「ツギノチャンネル」と発声します。
- ・「[○○○]」の記号は「[○○○]」内のコマンドを発声しても、発声しなくても認識できます。

●音声入力コマンド一覧

音声操作するときの音声入力コマンド一覧を紹介します。

1 ハンズフリーを音声認識で操作するコマンド

音声操作コマンド	読み	機能
電話をかける	でんわをかける	電話をかける方法の選択画面を表示する。
番号	ばんごう	電話番号を入力する。
ワンタッチダイヤル	わんたっちだいやる	ワンタッチダイヤルを選択する。
電話帳	でんわちょう	電話帳に登録されている名称読みから選択する。
着信履歴	ちゃくしんりれき	着信履歴から選択する。
発信履歴	はっしんりれき	発信履歴から選択する。
発信	はっしん	電話番号入力欄に入力されている番号に発信する。

2 G-BOOKを音声認識で操作するコマンド

音声操作コマンド	読み	機能
オペレーターサービス	オペれーたーさーびす	オペレーターサービスに接続する。
マイリクエスト	まいりくえすと	Myリクエスト画面を表示する。
○○○（コマンドはG-BOOKセンターが指定）	○○○（コマンドはG-BOOKセンターが指定）	G-BOOKセンターが指定するコマンドの動作を実行する。

3 Bluetoothオーディオを音声認識で操作するコマンド

音声操作コマンド	読み	機能
Bluetoothオーディオ	ぶーとーすおーでいお	Bluetoothオーディオにする

ステアリングスイッチ

ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリング部スイッチでハンズフリーなどの主要操作をすることができます。

車種・グレードによっては、スイッチが異なる場合や一部の機能が操作できない場合があります。

●各部の機能名称と概要

1 共通操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(+) ・ (-)	音量スイッチ	押すごとに1ステップずつ音量が変わります。 押し続けると音量が連続して変わります。※ ※ハンズフリー中は操作できません。	「着信音量を調整するには」 …P.2-29 「受話音量を調整するには」 …P.2-30 「ブラウザ画面を操作するには」 …P.3-99 「Myリクエスト画面を操作するには」 …P.3-125

2 ハンズフリーの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(OFF HOOK)	オフフック スイッチ	着信中や応答保留中に押すと、通話を開始することができます。 また電話の待ち受け時にスイッチを押すと、ハンズフリーの電話番号入力画面が表示されます。	「電話をかけるには」 …P.2-18 「電話を受けるには」 …P.2-27
(ON HOOK)	オンフック スイッチ	通話中や応答保留中に押すと、通話を終了することができます。	「通話を終了するには」 …P.2-31 「電話を保留するには」 …P.2-28

3 G-BOOKの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(MODE)	モード切り替え スイッチ	コンテンツの読み上げを解除します。	「ブラウザ画面を操作するには」 …P.3-99 「Myリクエスト画面を操作するには」 …P.3-125
(V) ・ (ハ)	コンテンツ 切り替え スイッチ	コンテンツの読み上げ開始位置を切り替えます。	「ブラウザ画面を操作するには」 …P.3-99 「Myリクエスト画面を操作するには」 …P.3-125

4 音声操作システムの使い方

スイッチ	名称	機能	操作説明
(音声 トリガ)	音声入力 スイッチ	音声入力スイッチを押すと、“音声認識状態”に切り替わります。	「音声操作システムについて」 …P.5-1

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
ヘルプネットのサービス開始操作を行ってください	●G-BOOK mXのWeb登録で、ヘルプネットを利用選択したが、サービス開始操作※が実施されていない。 ●G-BOOK mX Proの利用手続きで、ヘルプネットのサービス開始操作※が実施されていない。	サービス開始操作※の方法を選択してください。 ●すぐに操作をするときは 開始する にタッチします。 ●あとで操作をするときは あとで にタッチします。
まもなく、ヘルプネットの利用期間が終了します	G-BOOK mX利用の場合で、ヘルプネットの利用登録更新時期が近づいている。	継続手続きの状況により選択してください。 ●継続手続きが済んでいるときは 了解 にタッチします。 ●継続手続きが済んでいないときは 説明を読む にタッチします。
G-BOOKの利用手続きが必要です 情報・G・BTナビのメインメニューのG-BOOK.comから手続きできます	G-BOOKオンラインサービスの利用手続きがされていない。	利用手続きを行ってください。 (P.3-14参照)
G-BOOKの利用手続きを行ってください	G-BOOK mX Proに申し込んだが、本機で利用開始操作が実施されていない。	利用開始操作の方法を選択してください。 ●すぐに操作をするときは 開始する にタッチします。 ●あとで操作をするときは あとで にタッチします。
電話機選択が必要です 設定・編集の電話から設定できます	使用する電話機が選択されていない。	使用する電話機を選択してください。 (P.2-37参照)
携帯電話の通信設定が必要です 設定・編集のG-BOOKから設定できます	使用する携帯電話の設定がされていない。	使用する携帯電話の設定を行ってください。 (P.3-118参照)
Bluetooth設定が必要です 設定・編集の電話から設定できます	Bluetoothの設定がされていない。	Bluetoothの設定を行ってください。 (P.2-10参照)
緊急通報中です G-BOOKサービスをご利用できません	ヘルプネットの緊急通報中のため。	緊急通報が終了してから、ご利用ください。 ●誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
オペレーターと通話中です 終了してからご利用下さい	オペレーターサービスを利用中のため。	オペレーターサービスが終了してからご利用ください。
センター接続中は変更 できません 回線を切断して再度操 作して下さい	通信中のため。	通信が終了してから再度操作する、 または 切断 にタッチして通信を終了 してください。
電話機が使用中です 通話を終了してからご 利用下さい	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
通話中は操作できませ ん		
これ以上登録できませ ん 設定・編集のG-BOOK のプライバシー設定で 削除して下さい	ブックマークの最大登録数を超過したた め。	不要なブックマークを削除してください。 (P.3-109参照)
携帯電話が接続されて いません 保守点検はできません	携帯電話が接続されていないため。	携帯電話を接続してください。(P.2-12 の「 携帯電話を接続するには 」参照)
通話中は試聴できませ ん	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
これ以上ライセンスを 取得できません 設定・編集のオーディ オから手続済の G-SOUND楽曲を削除 して下さい	ライセンスの最大保存数を超過したため。	不要なライセンス取得済みG-SOUND 楽曲を削除してください。(「 オーディオ 取扱書 詳細版 」の「サウンドライブラリ を編集するには」参照)
これ以上楽曲を追加で きません 設定・編集のG-BOOK のG-SOUND削除で 楽曲を削除して下さい	●G-SOUND楽曲の最大保存数を超過し たため。 ●ハードディスクの空き容量が不足して いるため。	①不要なG-SOUND楽曲を削除してくだ さい。(「 オーディオ取扱書 詳細版 」の 「サウンドライブラリを編集するには」 参照) ②削除できるG-SOUND楽曲が無く、ハ ードディスクの空き容量が不足してい る場合は、ハードディスクに録音した 曲を削除してください。
これ以上コピーできま せん 設定・編集のG-BOOK のG-SOUND削除で楽 曲を削除して下さい		

こんなメッセージが表示されたとき

7
知っ
てお
いて
くだ
さい

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
これ以上Gメモリ地点を登録できません 設定・編集のナビから不要なGメモリ地点情報を削除して下さい	Gメモリ地点の最大保存数を超過したため。	不要なGメモリ地点を削除してください。 (「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「メモリ地点を登録・修正・消去するには」参照)
通信ロック中です ロックを解除してからお使い下さい	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を忘れた場合は、プライバシー設定画面で暗証番号の 忘れた場合 にタッチして確認してください。
回線が混み合っている等により表示できません しばらく待ってから操作して下さい	●サービスエリア圏外いる。 ●認証に失敗した。 ●通信環境が悪い。 ●通信機器の接続状態に異常がある。	① 携帯電話について、次の点を確認してください。 ●携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ●携帯電話単体で正常に動作するか。 ●携帯電話の異常でないか。 (携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障) ② 携帯電話とBluetooth接続ができているか確認してください。 ③ 他の携帯電話に変えて試してみてください。
時刻データが古いため使用できません GPSを受信して下さい	GPSが受信できていない。	GPSが受信できる場所に移動してください。
電話機をご確認下さい	●携帯電話がBluetooth接続されていない。 ●携帯電話に異常がある。(携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障) ●携帯電話が動作確認済みの機種ではない。	次の点を確認してください。 ●携帯電話とBluetooth接続されているか。 ●携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ●携帯電話の充電は十分であるか。
回線が混雑しています しばらく待ってお使い下さい	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通信エリア外です 通信エリアに移動してご利用下さい	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
回線が込み合っている等により情報を取得できませんでした	●サービスエリア圏外いる。 ●認証に失敗した。 ●通信環境が悪い。 ●通信機器の接続状態に異常がある。 ●通信設定に誤りがある。	①しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。 ②使用する携帯電話の設定を確認してください。

こんなメッセージが表示されたとき

7
知
っ
て
お
い
て
く
だ
さ
い

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなった時は、下表にしたがって確認していただき、それでも作動しない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

万一異常（ヒューズ熔断など）が起きましたら、必ずお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。ご自身でヒューズの取りかえや修理をされますと故障範囲を大きくするおそれがありますので特にご注意ください。

症 状	確 認 項 目
画面が次の何れかの状態になっている場合 ●真っ暗で全く光らない ●光っているが、画面が表示されない ●画像が乱れる ●画像の色がおかしい ●ライトを点灯しても夜画面にならない	画面消に設定されていませんか？ ⇒  などを押してください。 画質の設定は適切ですか？ ⇒  を押して、設定を確認してください （「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「画面の調整」参照） 解消されないときは、エンジンスイッチをOFF→ACC またはONにしてください。それでも解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
タッチスイッチを操作しても、画面が変わらない場合	しばらくお待ちください。 解消されないときは、エンジンスイッチをOFF→ACC またはONにしてください。 それでも解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
ディスクを差し込めない場合	車の電源スイッチは入っていますか？ ⇒エンジンスイッチをACCまたはONにしてください。
ディスクを取り出せない場合	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
ハードディスクに書き込みができない場合	ハードディスク空き容量が不足していませんか？ ⇒ハードディスク内の不要なデータを消去してください。 解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
片側のスピーカーしか音が出ない場合	音量の調節は正しいですか？ ⇒左右の音量調節をして確認してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある場合	液晶特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや異常点灯するものが生じることがあります。 故障ではありませんので安心してお使いください。
エンジンスイッチをONにしたあと、しばらく画面にムラがある、または画面が暗い場合	寒冷時、液晶のバックライトの特性上、光ムラが発生することもあります。エンジンをかけて温度が上がるまでしばらくお待ちください。

G-BOOKサポートセンターのご案内

G-BOOKサポートセンターでは、G-BOOKオンラインサービスに関する問い合わせや、操作方法についてのご相談をお受けしております。
次のような場合は、G-BOOKサポートセンターまでご相談ください。

- G-BOOKオンラインサービスの契約について
- G-BOOKオンラインサービスの操作方法について

G-BOOKサポートセンター
電話番号 0120-104-370
受付時間 9:00～18:00
(年中無休)

用語さくいん

【あ行】

アラーム通知	3-66
暗証番号	3-112
閲覧履歴	3-104
エンジン始動通知	3-67
応答保留	2-28
オペレーターサービス	3-71
音声操作システム	5-1
音声入力コマンド一覧	5-9
音声入力ボタン	5-1
音声認識用マイク	5-1
オンラインサービス	3-1

【か行】

各種設定	
ハンズフリー	2-35
Bluetoothオーディオ	4-10
G-BOOK	3-111
簡易画面	2-34
漢字変換	1-15
緊急通報	3-45
車を手放すとき	2-6、3-4
携帯電話の接続	2-12
携帯電話の登録	2-10
携帯電話の登録削除	2-43
携帯電話本体からの発信	2-26
警備員の派遣	3-67
個人情報の初期化	2-6

【さ行】

サポートアドレス	3-28
施設情報表示	3-94
車両の位置確認	3-67
渋滞予測	3-79
受話音量調整	2-30、2-36
受話音量の設定	2-36
情報・G・BTナビ画面 (G-BOOK)	3-3
ステアリングスイッチ	6-1
セキュリティ	2-62
設定・編集画面 (電話)	2-35
設定・編集画面 (G-BOOK)	3-111
操作ボタン	1-9
ソフトウェアキーボード	1-12

【た行】

ダイヤル画面	2-18
ダイヤル発信	2-20
タッチスイッチ	1-10
着信音量設定	2-29、2-36
着信拒否	2-29、2-41
着信履歴発信	2-23
通話の転送	2-32
中古で入手されたとき	3-23
通信機器	3-5
通信機器の選択	2-37
通信設定	3-117
通信モジュール	2-1、3-1
通信モジュールの選択	2-16
通信ロック	3-115
電話詳細設定	2-44
電話帳の編集	2-47
電話帳発信	2-21
電話帳の転送	2-48
10キー入力	2-31
ドライブプラン	3-89

【な行】

ナビ連携機能3-77

【は行】

発信履歴発信2-23

ハンズフリー2-1

ブックマーク3-106

プライバシー設定3-111

ブラウザ3-99

ブラウザの自動読上げ3-102

プローブコミュニケーション交通情報3-78

ヘルプネット3-35

ヘルプネットサービス開始操作3-42

保守点検3-49

ポータブルオーディオの接続4-3

ポータブルオーディオの登録4-2

【ま行】

ミュート2-32

メッセージ7-1

【や行】

ユーザー画面3-25

予測変換候補の表示3-124

読上げ速度3-102

【ら行】

ライセンス3-132

利用登録・契約の解除3-32

履歴の削除2-61

履歴発信2-23

ロックNo.2-62

【わ】

ワンタッチ発信2-24

【アルファベット/数字】

Bluetoothオーディオ4-1

Bluetoothの設定2-42

CDタイトル情報3-144

G-BOOK.com3-1

G-BOOKオンラインサービス3-1

G-BOOK契約更新3-29

G-BOOKサポートセンター7-6

G-BOOK詳細設定3-120

G-BOOKメインメニュー3-98

G-BOOK利用開始操作3-19

G-BOOK利用登録・契約の解除3-32

G-BOOK利用手続き3-14

G-Security3-60

G-SOUND3-131

G-SOUND利用手続き3-138

G暗証番号3-69

G情報マーク3-94

G情報マーク連動サービス3-96

Gで設定3-90

Gメモリ地点3-87

Gライブラリコピー3-141

Gルート探索（プローブ情報付）3-85

Myリクエスト3-125

Web登録3-27

メモ

メモ

7
知って
おいて
ください

